株式会社 TOSEI

取扱説明書

コイン式 洗濯乾燥機

SF-155C/SF-275C/SF-355C

■このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■ご使用の前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

目　次

重要なお知らせ ―― 1
安全上のご注意 ―― 2
1 機械の仕様 ―― 6
1.1 SF-155C ―― 6
1.2 SF-275C ―― 7
1.3 SF-355C ―― 8
2 据付工事について ―― 9
2.1 運搬・搬入 ―― 9
2.2 機械の据付 ―― 10
2.3 電気工事について ―― 13
2.4 配管工事について ―― 15
2.5 ガス配管工事について ―― 18
2.6 給気口（ガラリ） ―― 20
2.7 排気筒工事 ―― 21
2.8 付属品 ―― 27
2.9 オートグリス取付方法 ―― 28
2.10 洗剤・柔軟剤　取付方法 ―― 29
2.11 排油ホースについて ―― 29
3 お使いになる前に ―― 30
4 取扱上の注意 ―― 31
5 機械の概要 ―― 32
5.1 主要構成部の名称 ―― 32
5.2 「ナノイー X」発生装置について ―― 38
6 運転操作方法 ―― 39
6.1 表示部・操作部について ―― 39
6.2 操作設定方法 ―― 45
6.3 日時の設定方法 ―― 47
6.4 コースの金額、運転時間変更方法 ―― 49
6.5 機能の設定方法 ―― 53
6.6 プログラム設定方法 ―― 59
7 標準プログラム ―― 67
7.1 標準プログラム（SF-155C） ―― 67
7.2 標準プログラム（SF-275C） ―― 69
7.3 標準プログラム（SF-355C） ―― 71
8 トラブル表示について ―― 73
8.1 トラブルモニター表示 ―― 73
8.2 エラーの内容と解除方法 ―― 73
8.3 停電時の処置 ―― 76
9 点検・整備 ―― 77
9.1 日常点検 ―― 77
9.2 定期点検 ―― 80
保守・点検項目（日常点検） ―― 83
保守・点検項目（定期点検） ―― 84
10 保証とアフターサービス ―― 85
11 アフターサービスについて ―― 86

重要なお知らせ

本製品について

- 本製品は『火災予防条例準則第44条、第6号』に該当します。
  最寄りの消防署に届けを出してください。
- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。
  本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格などには適合しておりません。
  本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。
  また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。

本書について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、
  お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。

移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者またはお買い上げの販売店までご相談ください。
  据付不備があると故障および感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。
  専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるか、または物的損害(※3)の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ オーナー様へ

- 「安全上のご注意」の中でご使用になる方への項目は、本機の注意ラベルで表示してあります。
  お客様や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、使用するように管理、指導してください。
- 本機に表示してある「安全上の注意ラベル」が破れたり、はがれた場合は新しい注意ラベルに必ず貼り換えてください。
- 本機は労働安全衛生法の「遠心機械」および「乾燥設備」に該当します。「1年に1回の自主定期検査」が必要です。また、その記録を3年間保管するよう義務付けられております。
  (労働安全衛生法　第45条1項、労働安全衛生規則　第141条3項、第299条)
- 本機は『火災予防条例準則第44条 第6号』に該当します。
  所管の消防署に届出をしてください。

⚠ 危険

◆ 引火物はドラムに入れない
『水洗い衣類専用』の洗濯乾燥機
『火災や爆発の危険性があります』
・ガソリン、灯油、ベンジン、シンナー、アルコールなどや、それらの付着した洗濯物は入れない。
・食用油、動物系油、機械油、アロマ、エステ系オイルなどが付着した衣類は乾燥しない。
・石油系ドライ機および合成溶剤でドライクリーニングした衣類は乾燥しない。
・ゴム製品などは絶対に乾燥しない。火災や有毒ガスが発生するおそれがあります。

引火物禁止

◆ 子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない
『やけど、感電、けがの危険性があります』
・子供だけで操作、または取り扱いに不慣れな方に操作させない。
・子供など、ドラム内に入って遊ばせない。
・思わぬ不注意で、やけど、感電、けがをするおそれがあります。

禁止

◆ 充分な換気をする
『ガス中毒・酸欠事故の危険性があります』
・本機の設置状況に応じた給気口および排気口を設けてください。
燃焼排ガスの充満や酸素不足によりガスの不完全燃焼、酸欠事故のおそれがあります。

換気実施

◆ 機械の異常に気付いたらガス栓を閉めてから電源を切る
『火災や爆発の危険性があります』
・煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、
ガス栓を閉めて電源を切り、販売店に修理を依頼してください。
地震や火災発生時は運転を停止してください。

ガス栓閉める

◆ ガス漏れの点検
『火災や爆発の危険性があります』
・ガス配管の接続部の緩みなどによるガス漏れの点検を行う。
万一ガス漏れした場合は、すぐに使用を中止し元栓を閉じ、窓を開け換気を行い、
電源を切ってガス事業者にご連絡ください。

ガス漏れ点検

⚠ 警告

◆ 周辺では『火気厳禁』
『火災の危険性があります』
・本機の周辺にはボイラ、ストーブ、電熱器などの火気機器を絶対に置かない。
また、周辺では禁煙にし灰皿の設置や、火気を取り扱わない。

火気厳禁

◆ 周囲に引火物を近づけない
『火災の危険性があります』
・本機の周辺、上部には可燃物を置かない。
また、店内では本機の上に新聞・雑誌、衣類などを置かない。
・本機の周辺にガソリン、シンナー、灯油、アルコールなどの引火物を持ち込まない。

引火物禁止

◆ 洗濯、乾燥以外の用途に使用しない
『機械故障の危険性があります』
・本機を衣類の洗濯や乾燥以外に使用すると、
故障や事故につながるおそれがあります。

用途外使用禁止

◆ ドラム内に衣類以外の物は入れない
『火災・感電・けがの危険性があります』
・ドラム内には衣類以外の物や動物を入れて運転しない。

衣類以外は
運転禁止

⚠ 警告

◆ 本機のカバーを開けたまま運転しない
『やけど、けがの危険性があります』
・本機の各カバー(リントボックスカバー・コインボックス等)を開けて運転をしない。
・ 本機の各パネル類(前面、上部、背面)を開けて運転をしない。
(お客様がやけどやけがを負うおそれがあります)
・「回転部」および「加熱部」、「ドア部」に触れるとやけどやけがをするおそれがあります。

カバーを開け
運転しない

◆ ドアまわりのすきまに手を入れない
『やけどやけがの危険性があります』
・高温部分や振動部分などへの接触による、やけどやけがのおそれがあります。

やけど、けが注意

◆ やけどに注意する
『やけどの危険性があります』
・ 乾燥中はドラム、ドアなどの本体が高温になっています。
乾燥中および乾燥終了直後に手などが触れるとやけどをするおそれがあります。

やけど注意

◆ 衣類の取り出しはドラムが停止してから
『衣類が巻きつき、けがの危険性があります』
・衣類の取り出しは、必ずドラムの回転が完全に停止したことを確認してから行ってください。
・ ドラム回転中は、ドアを開いて手を入れないでください。
やけどや、回転部の巻き込まれによるけがの危険性があります。

回転中
取り出し禁止

◆ ドラム内の清掃に可燃物を使用しない
『爆発、火災の危険性があります』
・ ドラム内の清掃にシンナー、石油系溶剤などの可燃物を使用しないでください。

可燃物使用禁止

◆ バーナおよび燃焼室の掃除
『火災の危険性があります』
・バーナおよび燃焼室の掃除は定期的(1年/1回)に行ってください。
燃焼室周辺や点火プラグにほこりが付着していると、バーナの炎やスパークでほこりが発火するおそれがあります。

燃焼室清掃

◆ 排気筒の掃除
『火災の危険性があります』
・ 火災事故防止のため接続部分のゆるみ、外れ、および排気筒トップの破損などがないか、またそれらにほこりがたまっていないか毎日の始業前に点検してください。
・ 排気筒の掃除は定期的(1年/1回)に行ってください。
また、リントフィルタを取り外した状態で運転しないでください。
排気筒周辺にほこりがたまり、乾燥性能が低下します。
たまったほこりを放置すると、排気の熱により発火のおそれがあります。

排気筒掃除

◆ 分解・改造・修理をしない
『火災、感電、けがの危険性があります』
・お客様ご自身で本機の分解・改造・修理をしない。
・ 修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。
また、警告ラベルの取り外し、破損、改造はしないでください。

分解禁止

◆ 長期間ご使用にならない時は
『火災、感電、けがの危険性があります』
・ドラム内、給排水配管内の水気を除去し十分に乾燥させ、電源を切りガスの元栓、給水の元栓を閉める。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。また、ガス漏れ事故のおそれがあります。

ガス栓
電源確認

◆ 廃棄処分するときは
『閉じ込め事故の危険性があります』
・ 本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のためドアを取り外してください。

廃棄時ドア分解

◆ ドラム外周の掃除
『火災の危険性があります』
・ ドラム外周の掃除は定期的(1年/1回)に行う。
ドラム周辺にホコリがたまり、能力が低下します。
たまったホコリを放置しますと、乾燥の熱により発火のおそれがあります。

ドラム外周掃除

⚠ 警告

◆ **乾燥後の衣類は放置しない**
『火災の危険性があります』
・ 乾燥した衣類は、速やかに本機ドラム内より取り出す。
・ 取り出した乾燥衣類は、熱いまま積み置きしない。
ポリプロピレン系の衣類や油汚れが残っている衣類は、余熱により自然発火する場合があります。

乾燥後の衣類を放置しない

◆ **衣類を確認する**
『火災や発煙の危険性があります』
・ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。
また熱に弱い素材のもの(薄手衣類、顔料プリント衣類、綿衣類など)は乾燥しないでください。

衣類確認

◆ **水などが入った場合**
『感電・火災の危険性があります』
・ 万一本機内部または電装部に水が入ったときは運転を停止し、電源を切り販売店にご連絡ください。

電源を切る

◆ **水(湯)が入ったままで停止したとき**
『感電・漏電・やけどの危険性があります』
・水(湯)が入った状態で機械が停止したときは、ドアを開けずに電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

⚠ 注意

◆ **衣類は充分に脱水する**
『感電・火災の危険性があります』
・ しずくのたれるような衣類を入れない。

禁止

◆ **洗濯物を入れすぎない**
『洗濯物を痛めてしまうおそれがあります』
・衣類は洗濯乾燥機の適量ライン以内で、ドアに衣類を挟まないように入れてください。

入れすぎ注意

◆ **和ふとん、木綿わたふとんや大きすぎるふとんは洗濯しない**
『洗濯物が破れてしまう危険性があります』
・厚手のふとんは洗濯中に破れるおそれがあるので洗濯しないでください。
(キルティング加工したこたつふとんや化学繊維のふとんは洗濯できます。)

厚手の布団洗濯禁止

◆ **防水性のシート等を入れない**
『機械の破損・洗濯物の損傷の危険性があります』
・防水シートや袋など、水が溜まるものは洗濯をしないでください。

防水物禁止

◆ **塩素系漂白剤は直接衣類にかけない**
『衣類変色のおそれがあります』
・塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。

塩素系漂白剤使用禁止

◆ **濡れた手で操作しない**
『感電、漏電の危険性があります』
・濡れた手で本機を操作したり、水をかけない。
故障や感電のおそれがあります

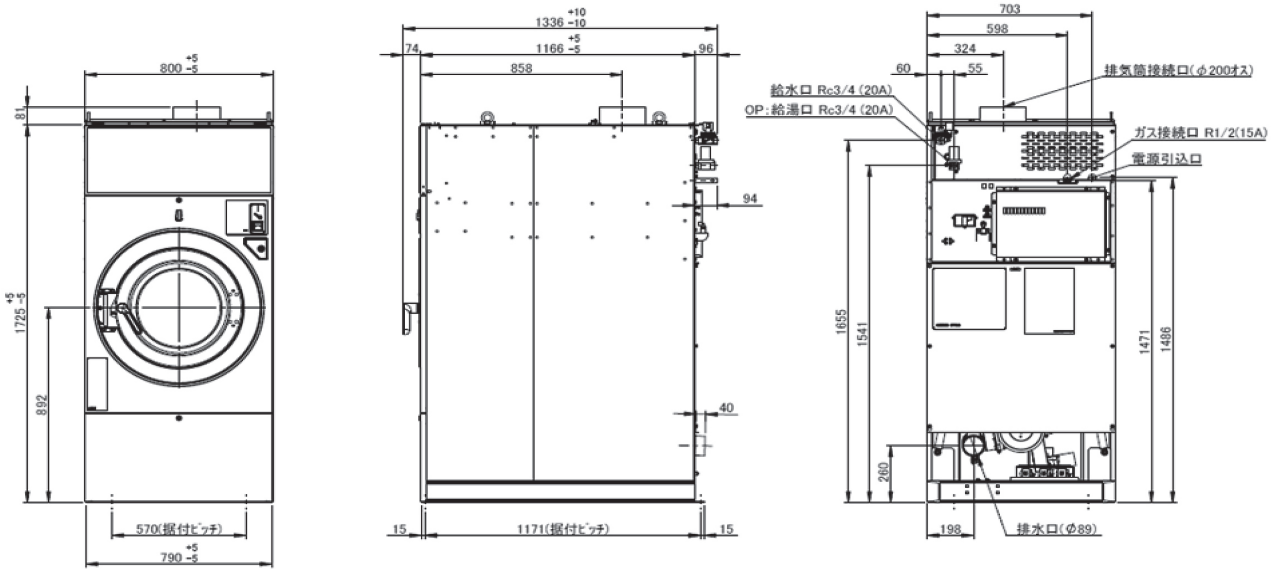
水かけ禁止

◆ **各パネルやボタンは手で操作する**
『機械故障の危険性があります。』
・各パネルやボタンを先のとがったもの(えんぴつ・ボールペン等)で操作すると、故障や事故のおそれがあります。

禁止

1 機械の仕様

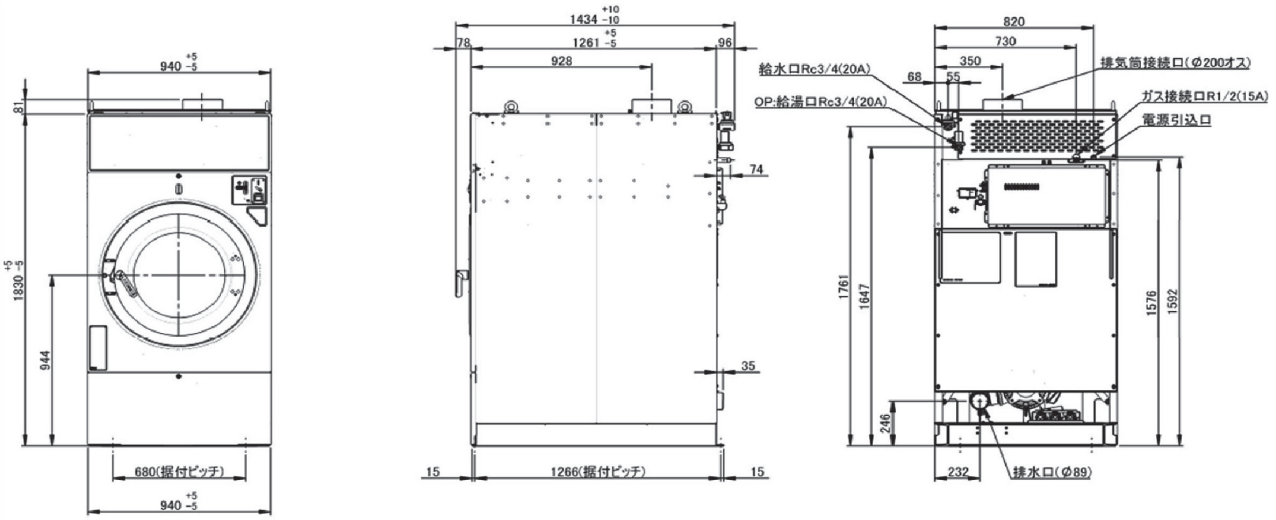
1.1 SF-155C



No.	項目		単位	SF-155C
1	電源			AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	W	1100
		乾燥		450
3	電動機容量 (インバータ駆動)	ドラム	kW/Pole	2.2/4
		ファン		0.4/2
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	kg	15/9.6
		乾燥		11/6.0
5	ドラム寸法(径×奥行mm)		mm	Φ630×480
6	洗浄方式			ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	乾燥方式			オープン乾燥方式
8	乾燥熱源			ガスバーナー加熱 (入口/出口温度制御)
9	ガス消費量	LPG	kW/(kg/h)	11.5/0.82
		13A	kW/(kcal/h)	11.5/9900
		12A	kW/(kcal/h)	10.7/9200
10	ファン風量		㎥/min	9
11	排気筒径		mm	Φ200
12	制御マイコン			CL6マイコン
13	ドラム回転数	洗濯(5段階)	rpm	44・46・48・50・52
		バランス		85
		予備脱水		350
		脱水(5段階)		550・700・750・800・850
		乾燥(5段階)		53・55・57・59・61
14	配管口径	給水/(給湯)		20A/(20A)
		ガス供給		15A
		排水	mm	89(75A)
15	機械寸法(巾×奥×高)		mm	800×1,336×1,725
16	機械質量		kg	550
17	保存条件(温度/湿度)		℃/%	−25〜60/10〜80
18	運転条件(温度/湿度)		℃/%	5〜40/10〜80
19	安全装置	ドアSW/自動ロック装置		リミットスイッチ、ソレノイドロック方式
		アンバランス検出		リミットスイッチ
		乾燥風温度過昇防止		サーミスタ検出
20	洗剤投入			液体洗剤用ポンプ 3連
21	コイン投入器仕様			つり銭機能なし、返却機能なし
22	金額設定範囲			100〜9900・100円単位 (100円・500円)

※ 本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

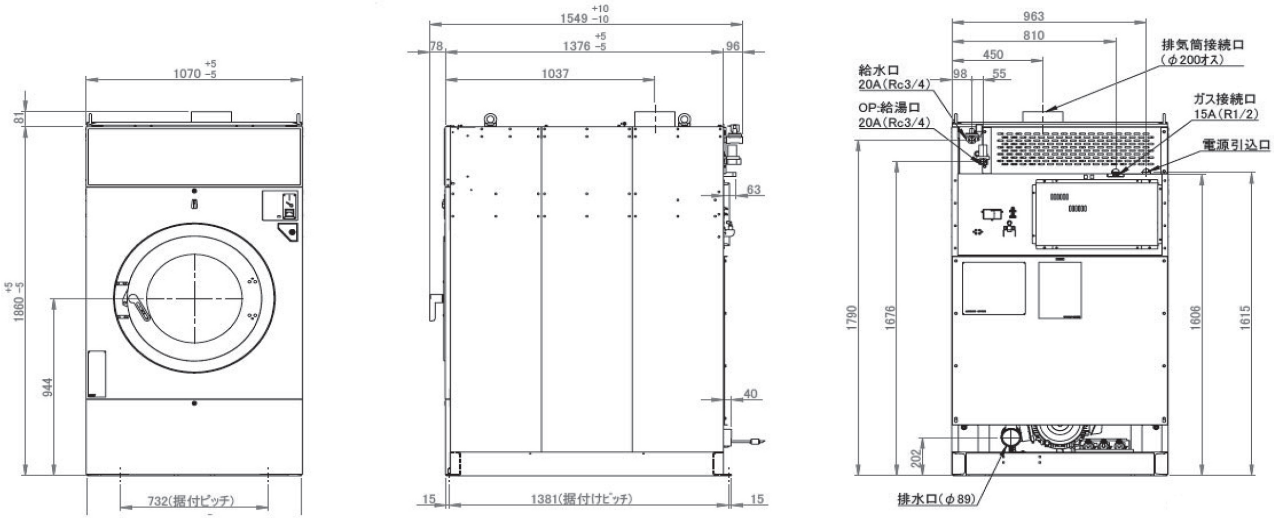
1.2 SF-275C



No.	項目		単位	SF-275C
1	電源			AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	W	1400
		乾燥		1050
3	電動機容量 （インバータ駆動）	ドラム	kW/Pole	3.7/4
		ファン		0.75/2
4	負荷量 呼称/JIMS	洗濯	kg	27/18.3
		乾燥		18/10.8
5	ドラム寸法（径×奥行mm）		mm	Φ760×595
6	洗浄方式			ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	乾燥方式			オープン乾燥方式
8	乾燥熱源			ガスバーナー加熱 （入口/出口温度制御）
9	ガス消費量	LPG	kW/(kg/h)	20.9/1.49
		13A	kW/(kcal/h)	20.9/18000
		12A	kW/(kcal/h)	19.4/16700
10	ファン風量		m³/min	16
11	排気筒径		mm	Φ200
12	制御マイコン			CL6マイコン
13	ドラム回転数	洗濯（5段階）	rpm	37・39・41・43・45
		バランス		75
		予備脱水		300
		脱水（5段階）		550・650・680・730・770
		乾燥（5段階）		45・47・49・51・53
14	配管口径	給水/(給湯)		20A/(20A)
		ガス供給		15A
		排水	mm	89（75A）
15	機械寸法（巾×奥×高）		mm	940×1,434×1,830
16	機械質量		kg	820
17	保存条件（温度/湿度）		℃/%	−25～60/10～80
18	運転条件（温度/湿度）		℃/%	5～40/10～80
19	安全装置	ドアSW/自動ロック装置		リミットスイッチ、ソレノイドロック方式
		アンバランス検出		リミットスイッチ
		乾燥風温度過昇防止		サーミスタ検出
20	洗剤投入			液体洗剤用ポンプ 3連
21	コイン投入器仕様			つり銭機能なし、返却機能なし
22	金額設定範囲			100～9900・100円単位 （100円・500円）

※ 本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

1.3 SF-355C



No.	項目		単位	SF-355C
1	電源			AC200V 三相 50/60Hz
2	定格消費電力	洗濯	W	2200
		乾燥		1450
3	電動機容量 (インバータ駆動)	ドラム	kW/Pole	5.5/4
		ファン		0.75/2
4	負荷量　呼称/JIMS	洗濯	kg	35/24.5
		乾燥		26/14.0
5	ドラム寸法 (径×奥行mm)		mm	Φ840×630
6	洗浄方式			ドラム回転による被洗物たたき洗い
7	乾燥方式			オープン乾燥方式
8	乾燥熱源			ガスバーナー加熱 (入口/出口温度制御)
9	ガス消費量	LPG	kW/(kg/h)	29.3/2.09
		13A	kW/(kcal/h)	29.3/25200
		12A	kW/(kcal/h)	27.2/23400
10	ファン風量		㎥/min	17
11	排気筒径		mm	Φ200
12	制御マイコン			CL6マイコン
13	ドラム回転数	洗濯(5段階)	rpm	39・41・43・47・49
		バランス		65
		予備脱水		300
		脱水(5段階)		500・600・650・700・730
		乾燥(5段階)		45・47・49・51・53
14	配管口径	給水/(給湯)		20A(20A)
		ガス供給		15A
		排水	mm	89(75A)
15	機械寸法 (巾×奥×高)		mm	1,070×1.549×1,860
16	機械質量		kg	1110
17	保存条件 (温度/湿度)		℃/%	−25〜60/10〜80
18	運転条件 (温度/湿度)		℃/%	5〜40/10〜80
19	安全装置	ドアSW/自動ロック装置		リミットスイッチ、ソレノイドロック方式
		アンバランス検出		リミットスイッチ
		乾燥風温度過昇防止		サーミスタ検出
20	洗剤投入			液体洗剤用ポンプ 3連
21	コイン投入器仕様			つり銭なし、返却機能なし
22	金額設定範囲			100〜9900・100円単位 (100円、500円)

※　本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

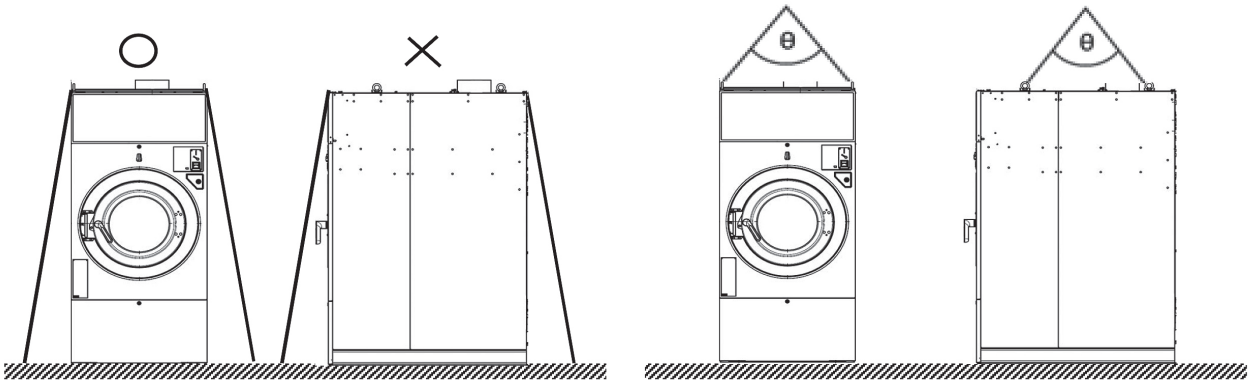
2 据付工事について

⚠警告	**◆据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』** 感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。	**専門業者へ依頼**
⚠警告	**◆製品を安全に使用していただくために本機の取扱説明書をよくお読みいただき十分に理解してください。** **◆本機は『火を使用する設備』に該当します。所轄の消防署の指導に従い『乾燥設備設置届け』を提出してください。**	**強制**

2.1 運搬・搬入

⚠注意	**◆運搬・搬入工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』** 本機が転倒してけがの危険性があります。	**専門業者へ依頼**

(1)本機への極度の衝撃、損傷を与えないよう取り扱ってください。
(2)降雨の場合は、必ず本機にビニールシート類を掛けて、雨水が機械内(特に制御ボックスの中)に入らないよう注意してください。
(3)クレーンなどで機械を吊り上げる場合には、機械上部の「吊上げフック」に掛けてください。
(4)玉掛作業は、資格習得者が行ってください。
(5)機械重量に見合ったワイヤ類を選定して玉掛作業を行ってください。
(6)ワイヤを使用する場合は「玉掛用」ワイヤを使用してください。
(7)吊り上げの際は、4本吊り、吊り角度θは60度未満にて行ってください。



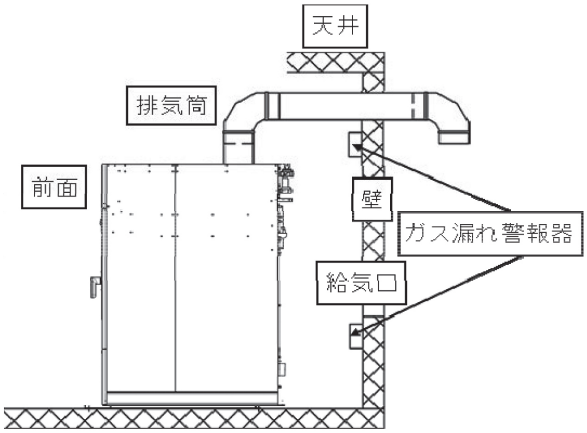
(8)輸送する際、ロープ掛けし本体が傷まないように注意してください。
特に、ロープの締めすぎには充分注意してください。
※ロープは左右から掛けてください。【前後に掛けないでください。】

2.2 機械の据付

⚠注意	**◆本機の据付工事は、『専門の工事業者へ依頼してください』** 据付工事をされる方は本機の取扱説明書に従って工事を行ってください。	専門業者へ依頼

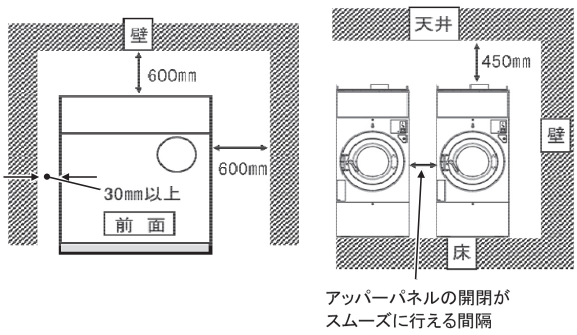
（1）使用場所について

⚠警告	**◆本機は室内専用です。必ず屋内に設置してください。** 屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となります。 **◆年間を通して40℃以下の環境が保たれる場所に設置してください。** 周辺温度が高い場所に設置すると故障の原因になります。 **◆ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。** 爆発、火災が起こるおそれがあります。 **◆湿気の多い場所には設置しないでください。** 機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。	禁止



・密閉されたところでは使用しないでください。
（必要な面積の給気口を取り付けてください）
給気口取付については、P20「2.6 給気口（ガラリ）」を参照してください。
・強い風の吹き込む所では使用しないでください。
・ガス漏れ警報器を本機と同室内に取り付けてください。
※ ガス漏れ警報器の取付は、専門の業者へ依頼してください。

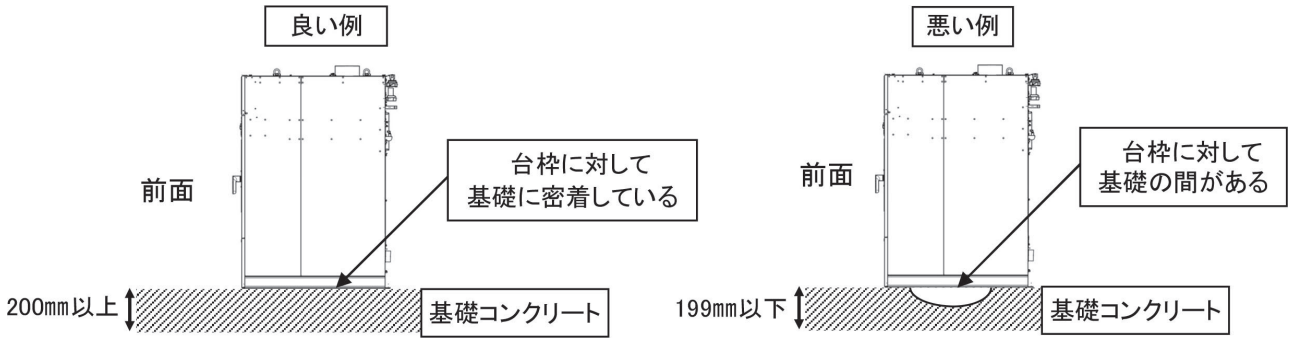
（2）セッティングスペース



・メンテナンス性、安全性、配管、配線などを考慮したスペースです。『必ず確保してください』
・上部高さ方向は450㎜以上のスペースを取ってください。
・本機を２台以上並べて使用する場合、アッパーパネルの開閉がスムーズに行える間隔を取ってください。
・本機は燃焼排ガス、放射熱などによってガスメーター、ガス配管、電気設備等に悪影響を与えない位置に設置してください。

（3）据付

・地震やその他の振動、衝撃により容易に転倒、亀裂、破損しないように、十分な強度を有する床に付属のアンカーボルトで堅固に固定してください。
・近隣への騒音や、機械の異常振動のおそれがあるため、基礎の深さは地盤により異なりますが、基礎コンクリートは200㎜以上の厚さを確保してください。
・機械の水平（前後・左右方向にガタつきがないこと）を確認してください。



※基礎コンクリートの厚さは200㎜以上確保してください。
※基礎コンクリートに対して、中空部（排水口、溝など）によって台枠が完全に密着していない場合、振動の原因になる事があります。

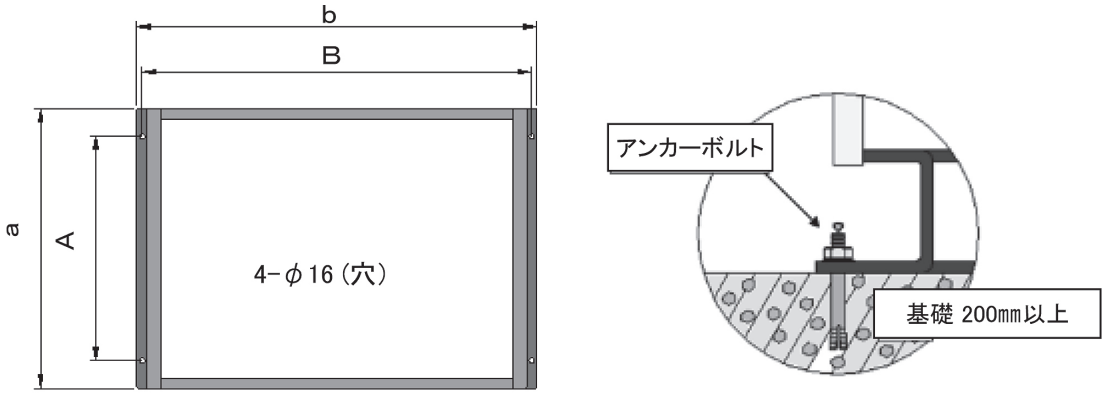
・付属のアンカーボルトで前後４ヵ所を固定してください。

据付寸法表

機種	A（mm）	a（mm）	B（mm）	b（mm）
SF-155C	570	790	1,171	1,201
SF-275C	680	940	1,266	1,296
SF-355C	732	1,060	1,381	1,411

φ12×6吋のアンカーボルト使用の場合

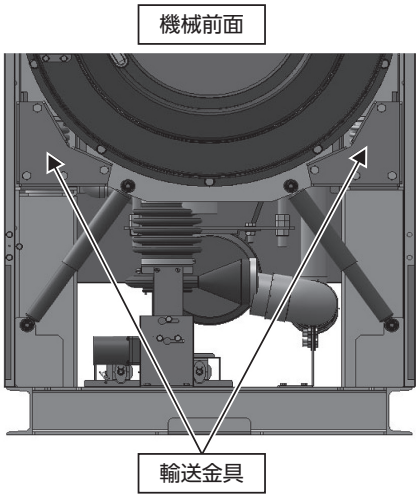
基礎コンクリートの厚さは200㎜以上を確保してください。

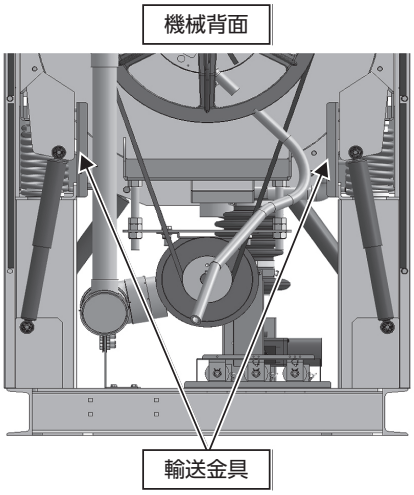


（4）輸送金具の取り外しについて

⚠警告	**◆機械試運転前に輸送金具を取り外してください。** この機械の輸送金具は機械前面と機械背面に２個ずつあります。（計４個） 輸送金具を付けたまま運転すると、機械を破損してしまいます。 輸送金具を取り外す時は、必ず手袋、長袖等の保護具を着用してください。	強制

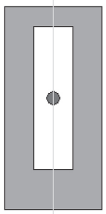
①機械前面のパネルセンター、機械背面のリアパネルを取り外します。
②機械前面と機械背面の輸送金具各２個ずつを取り外します。

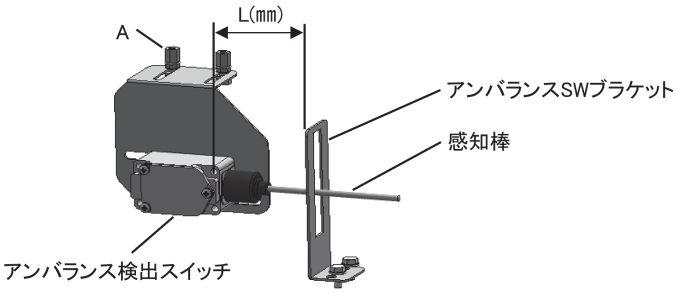


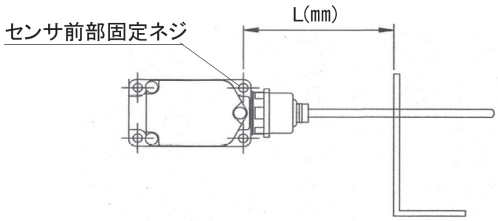


（5）アンバランス検出スイッチの調整

①機械据付終了後、試運転前にアンバランス検出スイッチの
　感知棒の位置を確認してください。
※機械前側のパネルセンターを外した中のシェルAssy上部にあります。
②感知棒がアンバランスSWブラケットの左右の中心にない場合は、感知棒の深さ(L寸法)を
　変えないように(A)部のボルトを緩めて、中心にくるように調節してください。







機種	L(mm)
SF-155C	70
SF-275C	78
SF-355C	78

2.3 電気工事について

本機はインバータを使用しております。下記「電気工事の注意事項」に添った施工をしてください。

◆電気工事は必ず「電気工事士の資格」を有する者が行ってください。
感電、火災の危険性があります。

◆据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適用しているか確認してください。
電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

◆電気配線とガス管は近づけないでください
電気配線はガス配管から15㎝以上離してください。
また、電気配線は金属管または合成樹脂管で保護してください。
爆発事故のおそれがあります。

◆本機を据え付けるときは過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。
故障し、漏電または過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。

◆故障などの理由により電源コードを交換する場合はお買い上げの販売店または専門の工事業者に工事を依頼してください。

◆故障、修理時や落雷の可能性がある場合は元電源を切ってください。
感電もしくは機械の故障の原因になります。

強制

① 電気容量

機種	ブレーカー容量	引込みコード
SF-155C	15A	より線 2.0㎟
SF-275C	20A	より線 3.5㎟
SF-355C	30A	より線 3.5㎟

②土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは、漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。

③主幹に使用する漏電遮断器(ELB)はインバータ専用(感度電流100mA)のものを使用してください。

※上記以外の漏電遮断器では、高調波漏洩電流により誤動作し、使用不能となります。

④機械毎に漏電遮断期(ELB)を取り付ける場合は感度電流30mAのものを使用してください。

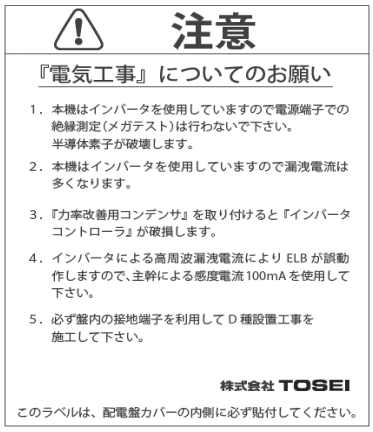
⑤本機はインバータを使用しておりますので、電源端子での絶縁測定(メガテスト)は行わないでください。
半導体素子が破損します。
この内容を記載した『電気工事』についてのお願いラベルを配電ボックスに貼りつけてください。

※ラベルは本体ドラム内の保存袋に同封してあります。

⑥力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けないでください。

※コンデンサを取り付けると、インバータが破壊します。

⑦電気配線は、出来るだけ金属管または合成樹脂管で保護してください。


注意

『電気工事』についてのお願い

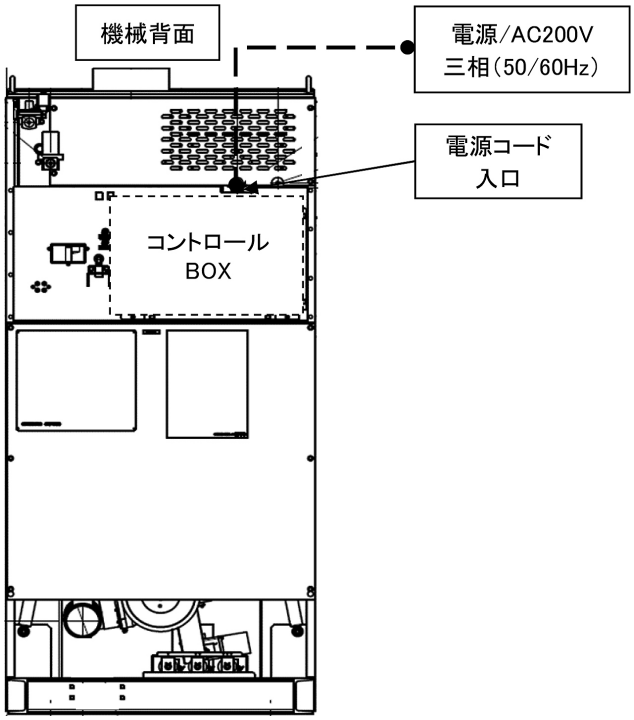
1. 本機はインバータを使用していますので電源端子での絶縁測定(メガテスト)は行わないで下さい。半導体素子が破壊します。
2. 本機はインバータを使用していますので漏洩電流は多くなります。
3. 『力率改善用コンデンサ』を取り付けると『インバータコントローラ』が破損します。
4. インバータによる高周波漏洩電流により ELB が誤動作しますので、主幹による感度電流 100mA を使用して下さい。
5. 必ず盤内の接地端子を利用して D 種設置工事を施工して下さい。

株式会社 TOSEI

このラベルは、配電盤カバーの内側に必ず貼付してください。

配電盤貼付用ラベル《見本》

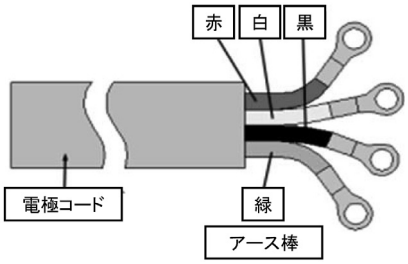
⑧電気配線は、高温部(燃焼部など)に接近させないでください。
(15㎝以上離す)
⑨電源コードはパネル類または水道、ガス配管に結束しないでください。
⑩機械の回転方向の確認をしてください。
※ドラム：機械正面から見て時計回り
　ファン：機械正面から見て時計回り
⑪電源コードの引き回し



⚠警告	**◆アース線は確実に取るため、必ず『専門の工事業者』へ依頼してください。** 火災、感電の危険性があります。 次のようなところはアース線を接続しないでください。 ・水道管…配管途中で塩化ビニル配管の場合、アースされません。 ・ガス管…爆発や引火の危険があります。 ・電話線のアースや避雷針 …落雷時、大きな電流が流れて危険です。	**アース線は確実に取る**
	◆機械の電源はアッパーパネルを閉じた状態で入れてください アッパーパネルを開いた状態で機械の電源を入れると、各操作パネルが誤動作を起こしてしまうおそれがあります。	**強制**

⑫万一の感電や落雷時における事故防止および、制御回路の耐ノイズ性を向上させるために接地工事『アース』は、盤内の接地端子を利用してD種接地工事(接地抵抗100Ω以下)を施工してください。

三相200V	
赤	R
白	S
黒	T
緑	⏚



2.4 配管工事について

（1）給水（給湯）配管工事

⚠注意

◆上下水道の配管工事は「市町村の指名業者」が行う必要があります。『指定給水装置工事事業者』へ依頼してください。

指定業者へ依頼

・給水圧力は、静止時水圧0.2MPa以上で接続してください。
・給水量は、42L/min以下（流速2m/s）で使用してください。
※給水（給湯）弁の破損または水漏れの原因になります。
①給水（給湯）配管と製品本体は、取り外しできるようにユニオンで接続してください。
②水圧が0.2MPa(2kgf/㎠)未満または、シスタンクを使用している場合は、給水（給湯）に時間がかかり、水位エラーが発生する場合があります。
③水圧が高い場合はウォーターハンマが起き、給水（給湯）弁あるいは配管を破損するおそれがありますので、別途防止対策を行ってください。
水圧が高い条件でご使用される場合は、必ずウォーターハンマ防止の配管を行ってください。
④凍結によりホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電の原因になりますので、冬場凍結のおそれがあるときは、ホース破裂防止の水抜き配管を行ってください。
※給湯配管も同様の工事を行ってください。

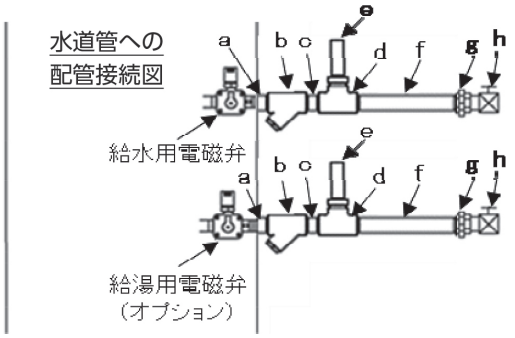
（2）水道配管への直結配管工事の場合

⚠注意

◆本機は、水道法第16条に基づき、水道法施工令第6条に規定する給水装置の自己認証をしております。
◆必ず水道法に基づき工事を実施してください。

指定業者へ依頼

・水道配管への直結配管工事の場合は下記施工工事を実施してください。
①水圧が高い場合はウォーターハンマが起き、給水（給湯）弁等を破損するおそれがある為、eの水撃防止器の取り付けをしてください。
②給水、給湯口にbのストレーナを接続してください。
③給水装置の自社検査証が必要な場合は弊社までご連絡ください。



No.	部品名	形式	No.	部品名	形式
a	ニップル	3/4	e	水撃防止器	3/4
b	ストレーナ	3/4	f	金属製フレキシブルチューブ	3/4
c	ニップル	3/4	g	ユニオン	3/4
d	チーズ	3/4	h	バルブ	3/4

※施工上の注意点
・本体と給水（給湯）管の間には必ず長さ300mm以上のフレキシブルチューブを使用してください。
機械の振動により配管の緩み、破損、または建物の振動の原因となります。
・建物の床下、天井および壁、柱等に添わせて配管する場合には、自重、水圧等による振動やたわみ等により損傷を受けやすいため、配管の管種、口径の適した支持金具を取り付け、建造物に支持固定してください。

（3）排水管工事について

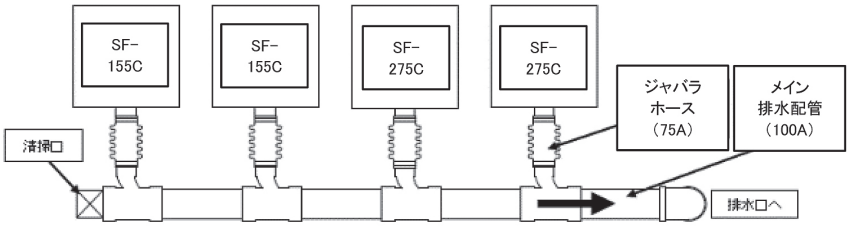
SF-155C・SF-275C・SF-355Cの集中排水配管、連結集中排水配管は下記の表に従って施工してください。

SF-155C 設置台数	SF-275C 設置台数	SF-355C 設置台数	合計設置台数	集中配管メインラインの配管口径
1	1	1	3	100A
1	2	1	4	
2	1	1	4	
2	2	1	5	
2	3	1	6	100A × 2
3	2	1	6	
4	4	0	8	

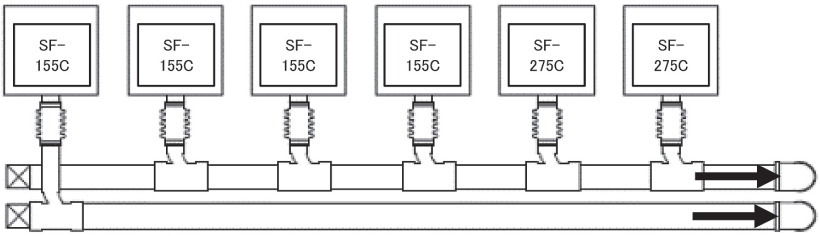
※その他の設置台数については、弊社にお問い合わせください。

・本体からメイン排水配管への接続はＹ型異径チーズを使用し、メイン配管は排水が流れやすいように適宜勾配をつけるように施工してください。
・本体からの配管接続は保守メンテナンスのため、ジャバラホース等で取り外しできるように施工してください。
　排水管が長い場合はエア抜きを取り付けてください。
・排水管の関係で先細りでないと接続できない場合は異径ソケットにて径をおとして接続してください。
　排水管にテープを巻きつけて接続すると、異物が排水管に引っかかってしまうおそれがあります。
・排水配管と排水ホースは、ホースバンドでしっかり接続してください。

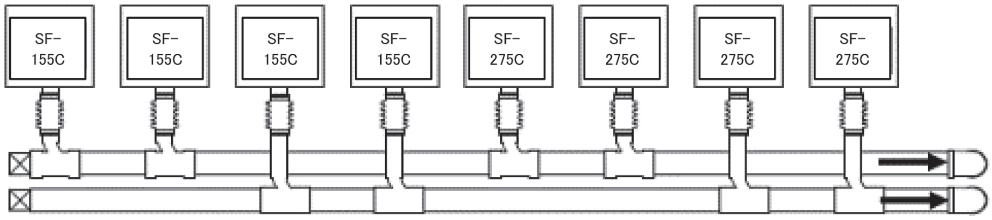
[設置施工例1]：SF-155Cを２台・SF-275Cを２台　合計４台の施工例



[設置施工例2]：SF-155Cを４台・SF-275Cを２台　合計６台の施工例

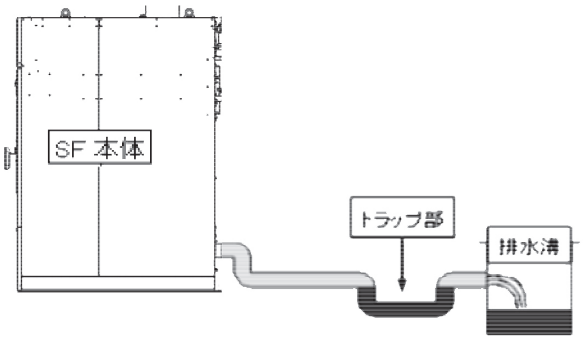


[設置施工例3]：SF-155Cを４台・SF-275Cを４台　　合計８台の施工例



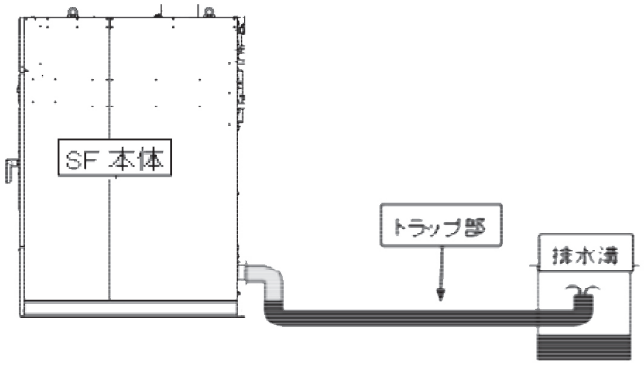
（4）メイン排水配管の末端処理

［例 1］



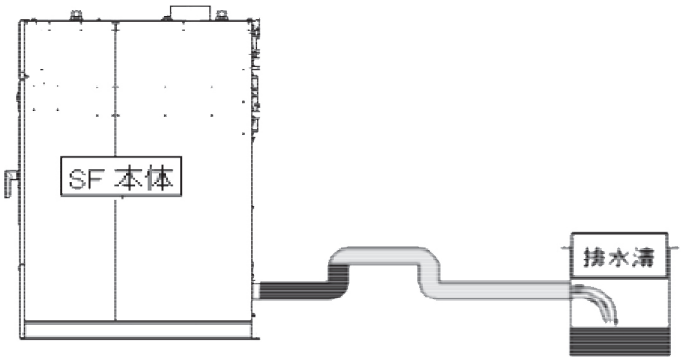
※浄化槽等よりの異臭がドラム内に流入することを防ぐために、水貯まり装置（トラップ）を付けてください。

［例 2］

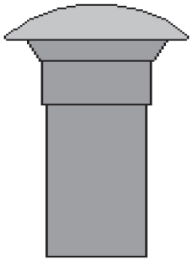


※排水配管の端末部にエルボを上側に向けて取り付け、水が貯まっているように施工してください。
但し、本体の排水口よりも低い位置で吹き出るようにしてください。

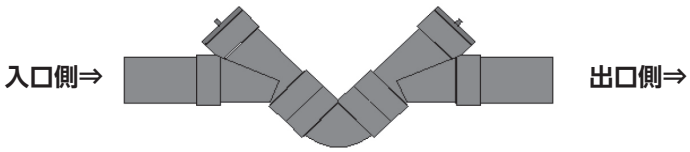
［排水配管の悪い例］



※機械本体の排水口出口配管より上側に向けて排水配管はしないでください。
排水ができなくなり、排水エラーなどのトラブルが発生します。



排水管用のエア抜き弁

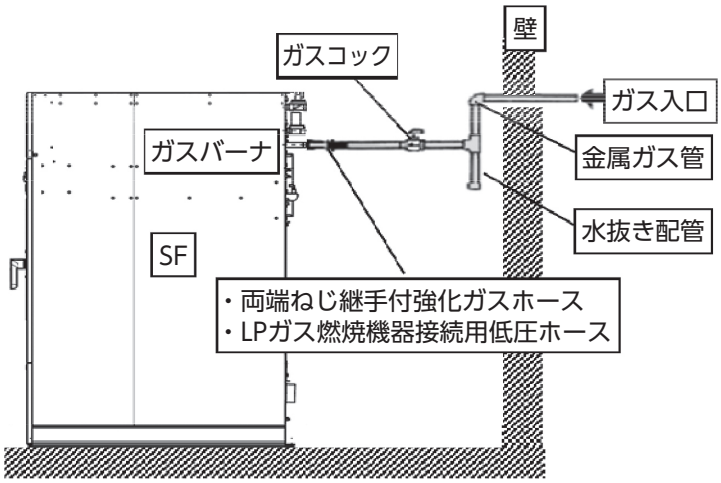


汚臭防止トラップの施工例

2.5 ガス配管工事について

⚠警告	**◆ガス配管工事は、必ず『専門の工事業者へ依頼してください』** 火災、ガス漏れの危険性があります。	専門業者へ依頼
	◆工事の際にはご使用のガスの種類とガスバーナの仕様が合っているか確認してください。 ガス仕様が異なっているとガスバーナが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。 また、洗濯乾燥機本体にエルボ、ソケットなどを介して配管を行う場合は、製品内部のガス配管を回転させないよう、パイプレンチで固定して接続してください。 内部配管を回転させたり、締め過ぎすると、各接続部に無理な力がかかり破損やガス漏れ事故の原因になります。	強制

①接続具はガス用接続材料として認められたものをご使用ください。
②強化ガスホース、LPガス燃焼器接続用継手付ホースは、機械を入れ替えるときには同時に取り替えてください。
③強化ガスホース、LPガス燃焼器接続用継手付ホースは火災や放射熱などにより高温になる場所、油脂溶剤等が付着するおそれのある場所、異常な外力が加わる場所には使用しないでください。
④ガス元配管と本体の配管接続は、必ず途中にホースを用いて可とう性を持たせてください。
振動により配管が破損しガス漏れの起こるおそれがあります。



	接続配管
都市ガス用	強化ガスホース
LPガス用	LPガス燃焼器接続用 継手金具付ホース

（1）都市ガスの場合

①強化ガスホースまたは機器接続ガス栓を用いて容易に外せないように接続してください。
②本機の保守、点検が容易にできるよう、操作しやすいところにガスコックを設けてください。
③金属管による接続工事は、ガス事業者に依頼してください。
④金属可とう管または、強化ガスホースによるねじ接続工事はガス可とう管接続工事監督者に依頼してください。

警告	**ガス仕様が異なっているとガスバーナが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります** また、洗濯乾燥機本体にエルボ、ソケットなどを介して配管を行う際は、製品内部のガス配管を回転させないよう、2台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さのガス管で接続してください。 これらが適切でないとガスが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。	強制

（2）LPガスの場合

①LPガス燃焼器接続用継手金具付ホース、または機器接続ガス栓を用いて容易に外せないように接続してください。
②本機の保守、点検が容易にできるよう操作しやすいところにガスコックを設けてください。
③接続工事は液化石油ガス設備士が行ってください。
④ガスボンベの設置、ガス配管はガス法や取扱基準などの法的な規定に従って工事を行ってください。

警告	**ガスを適切な状態で燃焼させるために** **◆本機接続部のガス入口圧力は2.80kPaになるように元圧を調整してください。** ガスはLPガス法による「い号」または「ろ号」液化石油ガスを用いて、容器は50Kgボンベまたはガスバルクを使用してください。 ただしこのガスボンベは、平均14.0kW(1.0kg/h)程度しかガスを取り出す事ができませんので、本機1台を運転するのに2本以上のガスボンベを連結してください。 **◆供給方法は低圧一般供給法としてください。** これは調整機器1個を用いて、容器内圧力から直ちに低圧2.80kPa(3/4B)まで減圧して供給する方法です。 **◆本機の近くまでガスを導く主管は、20A以上のガス管を使用してください。** また、本機を2台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さの配管にしてください。 これらが適切でないとガスが異常燃焼を起こし、火災や一酸化炭素中毒が起こるおそれがあります。	強制

2.6 給気口（ガラリ）

⚠警告	**◆設置室の状況に応じた給気口および排気筒を設けて十分な換気を行ってください。** 室内への燃焼ガスの充満や酸素不足によって、ガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。 **◆給排気設備を設置するにあたって、形状、設置方法、本機との関係および周囲の隣家への配慮などについては下記の方法を参照してください。**	**換気実施**

■ 1台当りの必要給気面積

SFシリーズ	315㎠以上（φ200㎜相当）

※給気口にガラリ等を設ける場合は開口率を考慮し、上記の開口面積を確保してください。
※複数台を設置するときは、各々の洗濯乾燥機に必要な断面積の合計以上の大きさにしてください。

■ 給気口について

①室内の空気の浄化、熱の排除、酸素の供給等の為、必ず給気口を設けてください。
②給気口は外気に面した壁に設けてください。ただし、給気経路が確保されている場合は隣室側の壁に設けてもかまいません。
③給気口の位置は炎の立ち消えなど本機への影響のない場所で、室内がよく換気され、さらに排気筒トップから排気ガスが流入しない位置に設けてください。
④給気口には雪、雨水の流入、またはねずみ、埃、その他有害なものの侵入に対応する為、ガラリ等を設けてください。
⑤給気口が確保できない場合は、不足分を補う流量の換気扇を取り付けてください。

※ガラリの開口率は下記の表にて計算してください。

スチール	50%
木製	40%
パンチング	30%

2.7 排気筒工事

◆排気筒は必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上のものを使用してください。
内径が小さすぎたり、長すぎる排気筒を使用すると、十分に排気できず乾燥が悪くなったり、トラブルの原因になります。

排気筒指示

（1）排気筒

①洗濯乾燥機の排気中には水蒸気、炭酸ガス、糸クズ等を含んでいます。
必ず排気筒によって屋外へ排出してください。

②排気筒は、SUS304または同等以上の「強度」「耐熱性」および「耐食性」を有する不燃材料を使用してください。

※ガス機器の設置については、自治体によって取り扱いが一部異なりますので、関係行政に事前確認してください。

③フレキシブルダクトは排気抵抗が大きく、また折れ曲がりによる損傷の可能性があり乾燥不良の原因となるばかりか、一酸化炭素中毒のおそれがある為、原則的に使用しないでください。

④機械からの排気は、指定口径によって必ず屋外へ排出してください。
・指定口径　「内径φ200（オス）」
（小さい管を使用しますと十分に排気できず、乾燥性能が大幅に低下します）

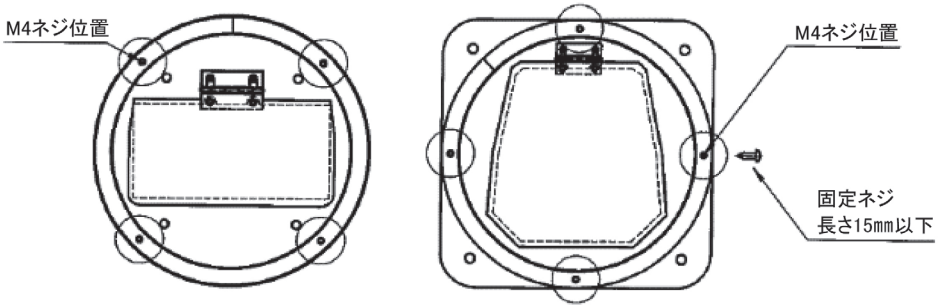
⑤排気筒は点検、維持が容易にでき、修理や取り替えに必要な範囲の隠ぺい部材の取り外しができるように配慮して設置してください。

⑥排気筒の長さはP26「（5）排気筒長さの計算」を参照し【計算長 20m以内】になるようにしてください。

⑦エルボの使用は3ヵ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。

⑧排気筒と機械本体との接続時、固定ネジ（長さ15㎜以下）の取り付けは、下記ダクト取付図のM4ネジ部位置（4ヵ所）を目印に取り付けてください。

※固定ネジの取り付け位置やネジの長さを指示以外にするとチャッキ弁の作動不良に繋がるおそれがあります。



⑨排気筒が可燃性壁体を貫通する場合は、めがね石などを用いてください。

⑩排気筒先端には風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けてください。
排気筒の先端に目の細かい金網を取り付けると綿ぼこりが蓄積して事故の原因になります。
「金網・ガラリ」は抵抗が少なく、16㎜の鋼球が入らない、細かすぎない適正な網目の大きさのものにしてください。

⑪排気筒が長く排気風量が不足し、強制排気システムを設ける場合は、法令に従って施工するよう専門業者にご相談ください。

⑫排気筒は必ず排気口の外側に挿入してください。
また、ネジ止めで固定する場合、ネジ位置は排気口ダンパー開閉の妨げにならないところにしてください。
排気口ダンパーの開閉ができないと、事故やトラブルの原因になります。

⑬本体との接続および排気筒同士の接続は自重、風圧、積雪荷重及び振動などに十分耐え、さらに排気筒を構成する接続部が容易に外れないよう、専用リベット、専用ボルトなどで堅固に取り付け、コーキングシール材を充填、または耐熱テープを巻き付けてください。

⑭防火ダンパは取り付けないでください。
(防火ダンパの作動(閉塞等)により重大なガス事故に繋がるおそれがあります)
防火ダンパの取り付けは法令で禁止されています。(建設省告示第1826号)

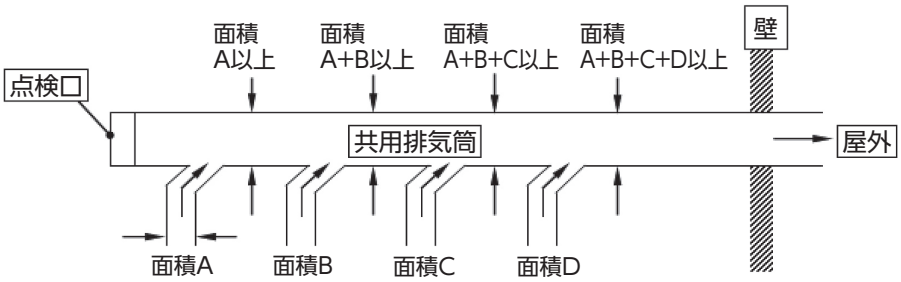
※排気筒が防火区画を貫通する場合や、延焼のおそれがある壁を貫通する場合は、関係行政に事前確認してください。

⑮排気筒は他の水洗専用機以外の共用排気筒に接続しないでください。
排気筒吹き出し口の流量

SF-155C	9.0㎥/min/台
SF-275C	16.0㎥/min/台
SF-355C	17.0㎥/min/台

（2）共用排気について

①2台以上で共用の排気筒を集合して設ける場合は下記のように行ってください。



②共用排気の場合、本機からの排気筒を主排気筒に接続するときは、出口方向への排気がスムーズにできるよう、45度傾ける等の配慮をしてください。（直角に接続すると排気が妨げられます）

③排気筒トップは、雨水の侵入しないよう配慮してください。

④共用排気の場合、排気筒を通じて稼働していない機器に逆流しないような措置を講じてください。

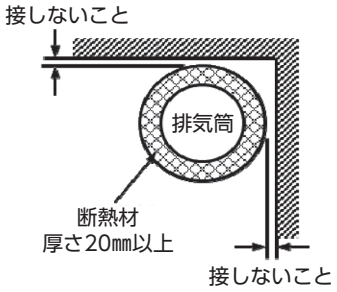
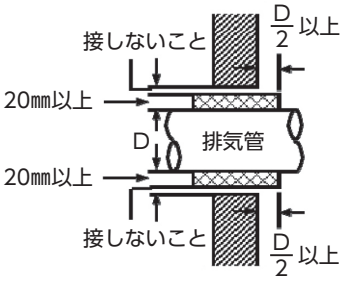
※各機械にチャッキ弁は標準装備しております

（3）建築物との隔離距離

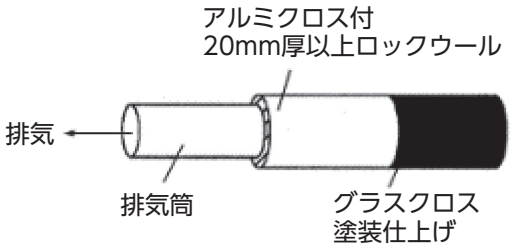
排気筒と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離について

①排気筒と「可燃材料、難燃材料、または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離はその排気筒の直径の1/2以上あけてください。

②天井裏などの隠ぺい部に排気筒を設置する場合は、接続部を排気漏れのない構造とし、堅固に接続するとともに金属以外の不燃材料で覆ってください。

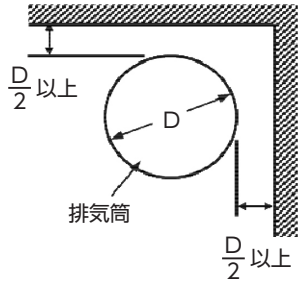
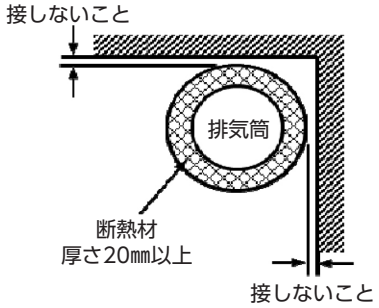
<table>
<tr><th colspan="4">排 気 筒</th></tr>
<tr><td>隠ぺい空間部</td><td>・20㎜以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合
 
</td><td>隠ぺい貫通</td><td>・20㎜以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合
 
</td></tr>
</table>

隠ぺい部での断熱施工例

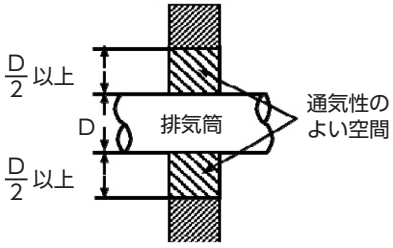
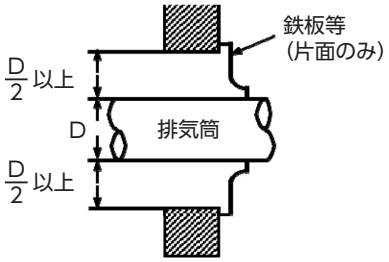
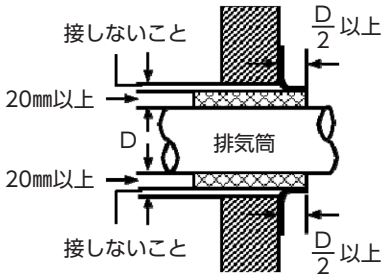


ロックウール保温筒1号（JIS A 9504）

建設大臣認定	不燃第1022号
熱 伝 導 率	0.037kcal/h･m･℃
密　　度	0.15g/㎤
安全使用温度	400℃

排気筒			
空間部	・断熱施工なしの場合  	空間部	・断熱施工をした場合 

※「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」(一財)日本ガス機器検査協会発行による

排気筒			
貫通部	・周囲排気筒径の1/2以上の空間  	貫通部	・鉄板製めがね板 
	・20㎜以上の金属以外の不燃材料で巻いた場合  		

※「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」(一財)日本ガス機器検査協会発行による

（4）排気筒トップ

	◆火災防止のため洗濯乾燥機排気口の周囲600㎜、吹き出し方向600㎜の範囲内に可燃物がないようにしてください	可燃物禁止

①排気筒頂部は、風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けてください。その位置は風雨の影響を受けない所に設置してください。

②排気筒の先端に細かい「金網」「排気用換気口」などを取り付けますと風路が妨げられ、排気不良や、綿ぼこりが蓄積して乾燥不良などの故障の原因になります。

③排気筒トップは、「金網・ガラリ」は抵抗が少なく、16㎜の鋼球が入らない、細かすぎない適正な網目の大きさのものをご使用ください。

④風の強く吹き込む所、通路、人通りのある所、屋内、床下などに排気口を向けないでください。

⑤排気の臭い、音、風などによって近隣に迷惑のかからないようにしてください。

⑥排気筒は水洗用の洗濯乾燥機以外の共用排気筒に接続しないでください。

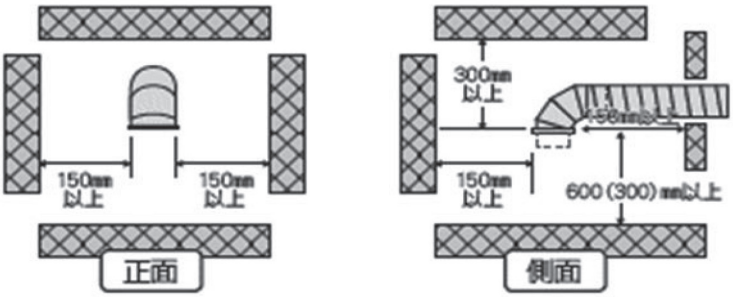
⑦排気筒の内部は掃除できるように配管してください。

⑧防火上からの離隔距離を定めたものであって、排気温度が260℃以下のガス機器に適用されます。

⑨排気筒トップの吹出し口周囲に「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」が無いように離隔距離を取ってください。

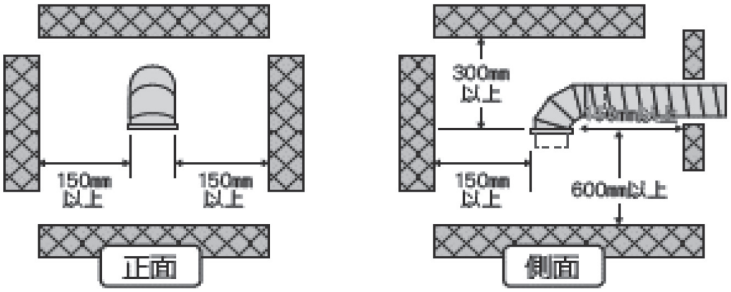
⑩排気筒トップの吹出し口周囲と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離（㎜）を示します。（排気温度が260℃以下のガス機器の場合）

※（　）内の数値は、防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物の部分等」との寸法を示します。

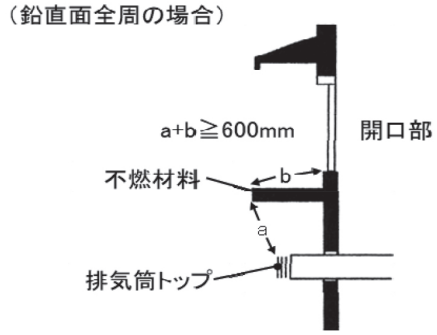


⑪排気筒トップの吹出し口周囲に燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（本機を使用する際に開ける窓や、ドア、および常時開放されている換気口、吸気扇など）が無いように離隔距離を取ってください。

⑫排気筒トップの吹出し口周囲と燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（本機を使用する際に開ける窓や、ドア、および常時開放されている換気口、吸気扇など）との隔離距離（㎜）を示します。（排気温度が260℃以下のガス機器の場合）

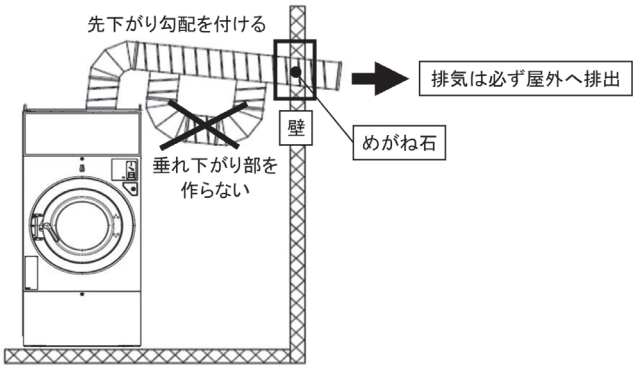


⑬排気筒トップの吹出し口上方に有効な遮へい物を設けた場合の開口部との離隔距離(㎜)の取り方を次図に示します。



上方に有効な遮へい物を設けた場合の離隔距離の取り方の例

⑭ 排気筒は横引き部の勾配を先下りとし、ドレン等を屋外に導く配管にしてください。



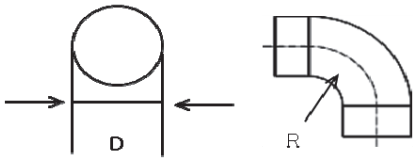
※「業務用ガス機器の設置基準及び実務方針」(一財)日本ガス機器検査協会発行による

(5) 排気筒長さの計算

⚠警告	**◆排気筒は必ず本機の排気口内径に相当する断面積以上のものを使用してください。** 内径が小さすぎたり、長すぎる排気筒を使用すると十分に排気できず、乾燥が悪くなったり、トラブルの原因になります。	換気指示

※直管は、そのままの寸法を加算します。

※曲折部、および先端は、表の値から直管長さに換算した値を加算してください。

	形状	条件による値の長さ		
円形の曲管		R/D	=1.0	2.6m
			=1.5	1.8m
			=2.0	1.5m

R：円形曲管の曲げ半径　D：円形曲管の直径

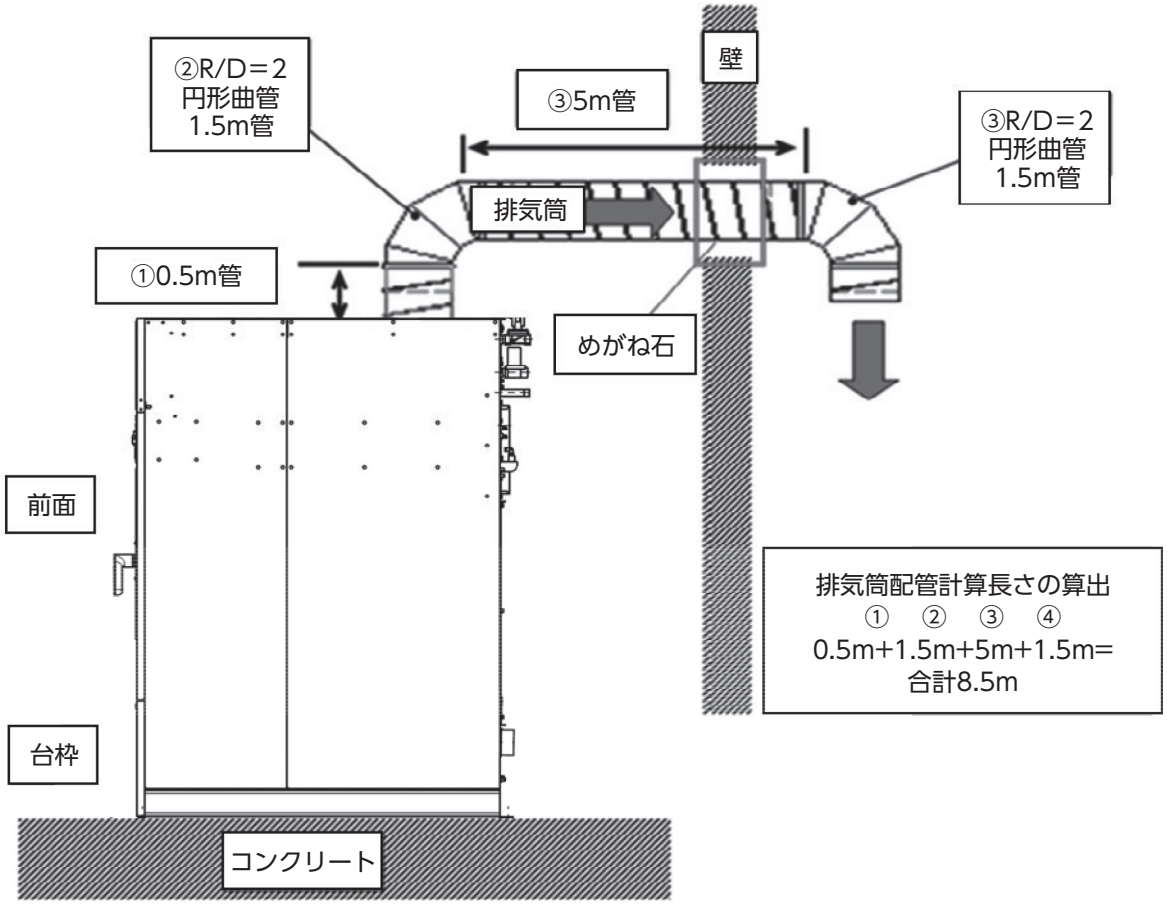
※ジャバラ形式の曲管は圧損抵抗が大きい為、使用しないでください。

①エルボの使用は3ヵ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。

②機械本体からの排気は、指定口径で必ず屋外へ排出してください。

③排気筒の配管の長さは、「計算長さ20m以内」になるようにしてください。

【推奨の施工例】



2.8 付属品

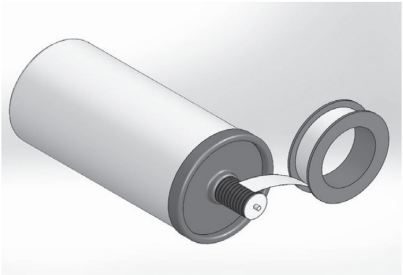
No.	名称	個数
1	取扱説明書	1
2	オートグリス	1
3	スペーサ t2.0	12
4	アンカーボルト (オールアンカ M12)	4
5	平座金 M12	4

No.	名称	個数
6	電気工事ラベル (E)	1
7	圧着端子	4
8	配線図	1
9	コース名シート	1
10	少量ラインラベル	1

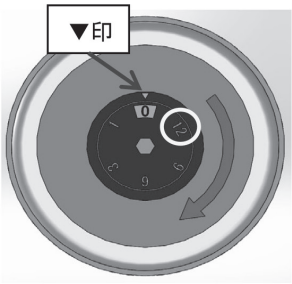
2.9 オートグリス取付方法

弊社洗濯乾燥機の軸受部には、「オートグリス」を使用しております。

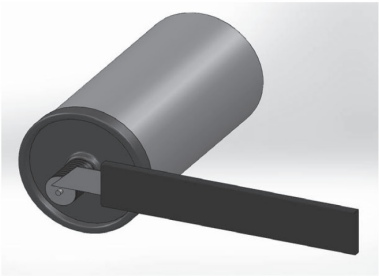
①オートグリス本体にシールテープを巻いてください。
②取付日と次回の交換予定日を記入してください。
③オートグリス本体「下部」のダイヤルを「3㎜の六角レンチ」で「下記」の数値【12】を ▼ 印の所まで時計回りで回して設定してください。
④オートグリス本体の先端突起部をカッター等でカットしてください。
先端突起部をカットした部分にグリス突出穴が開いているか必ず確認し、ソケットにねじ込み取り付けてください。
※先端突起部をカットするにあたって細心の注意をし、けがをしないようにしてください。
※オートグリス本体の交換は約12ヵ月です(25℃使用)
※取付より12ヵ月経過または内部のオイルがなくなった場合は交換してください。
※オイルの補給を怠りますと、オイルシールの早期摩耗、故障の原因となります。
※設置する場所の温度により吐出量が変わります。
※長期間使用しないときは本体下部ネジ込み部を「0」に戻してください。



ネジ部にシールテープを巻きつける

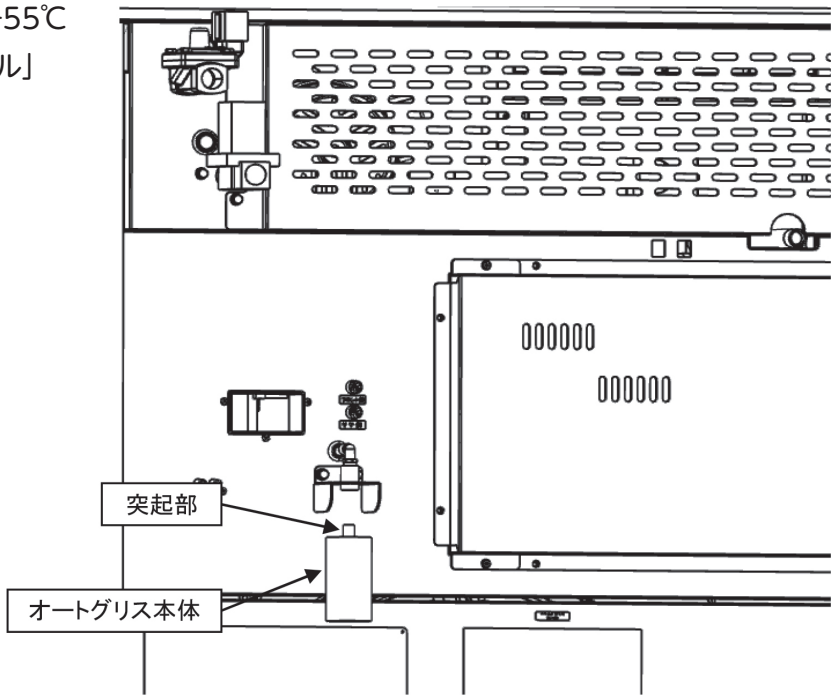


オートグリス下部
▼を『12』に合わせる

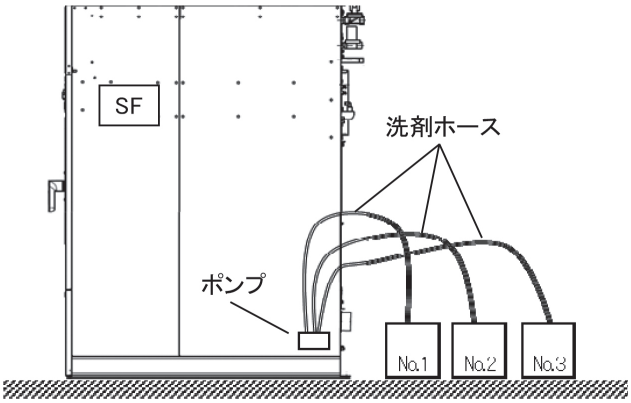


吐出部を切り落とす

＜仕様＞◆仕様温度範囲：-20～+55℃
◆オイル型名：「純正オイル」



2.10 洗剤・柔軟剤 取付方法



取付方法

・洗剤、柔軟剤等の缶にソープ投入ホースを差し込んでください。

No.	ポンプ
1	洗剤
2	柔軟剤
3	予備

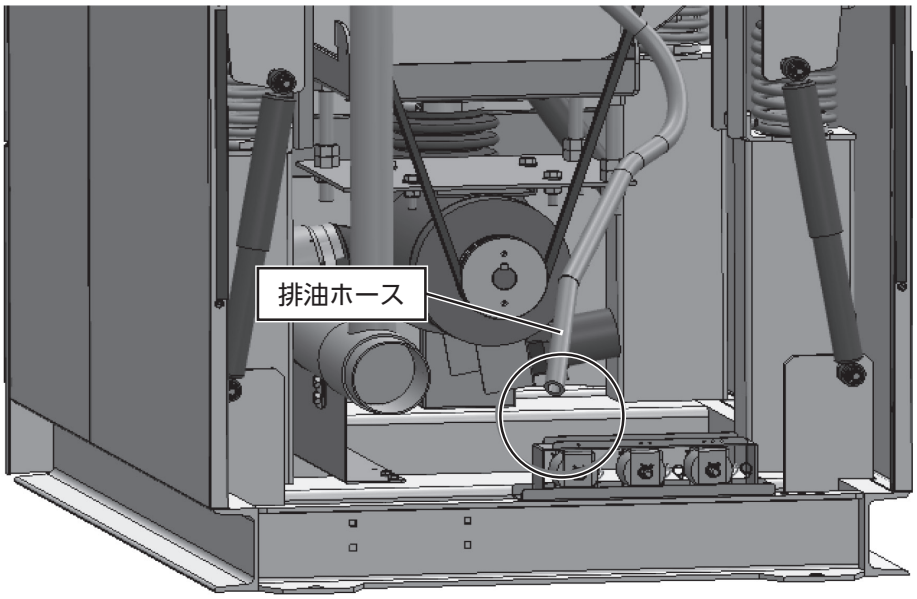
洗剤・柔軟剤 投入量(目安)

	投入量(cc)	
	1.0秒	5.0秒
水(参考)	14.4	72
どるふぃんW (TOSEI純正 洗剤)	11.1	55.5
どるふぃんS (TOSEI純正 柔軟剤)	11.1	55.5

・洗剤、柔軟剤は弊社の「純正品」のご使用をお奨め致します。
・弊社の純正品および推奨品以外の使用は本機のトラブルの原因になります。
・据付時またはソープポンプを交換したときは、ホース内のエア抜きを行ってください。

2.11 排油ホースについて

排油ホースから出た油を受けるため油受け容器を設置してください。



3 お使いになる前に

⚠警告	**◆操作開始の前に確認してください。** 「火災、漏電、けがの危険性があります」	確認

(1) 電気工事はよいか

①線の太さを確認する。

②本機は、インバータを使用していますので、電源に使用する漏電遮断器はインバータ専用のもので工事を施工してください。(感度電流 100mA)

③力率改善用コンデンサは、絶対に取り付けないでください。
(コンデンサを取り付けると、インバータを破壊します)

(2) アースはよいか

接地工事はしてあるか、D種接地工事確認。

※アース工事を行わないとガスバーナが着火しません。必ず行ってください。

(3) 排気筒の取り付けはよいか

(4) 電源の供給はよいか

電源を入れ、表示部点灯確認。

※機械の電源はアッパーパネルを閉じた状態で入れてください。

アッパーパネルを開いた状態で機械の電源を入れると、各操作パネルが誤動作を起こしてしまうおそれがあります。

(5) ガスの供給はよいか

ガスの元バルブを開いてください。

※ガスバーナ着火の確認……目視確認

最初は配管内のエアが抜けるまでに約50秒位かかります。スパークは9秒ですので9秒以内に着火しない時は運転を1度リセットし、再度乾燥運転を開始してください。

(確認窓を開け着火が確認できるまで繰り返してください。2回目以降は5～9秒位で着火します)

※運転中は、リントボックスおよびドアを開閉しないでください。

(6) 水(温水)の供給はよいか

給水の元バルブを開いてください。

(7) 排水口の取り付けはよいか

(8) リントフィルタの点検

機械前部のリントボックス内の「リントフィルタ」を確認し「ゴミ、ほこり」等の清掃を行ってください。

(9) 洗剤・柔軟剤などの準備はよいか

洗剤・柔軟剤などの容器にソープ投入ホースを差し込んでください。

4 取扱上の注意

警告	**◆操作開始の前に確認してください。** 「火災、漏電、けがの危険性があります」	確認

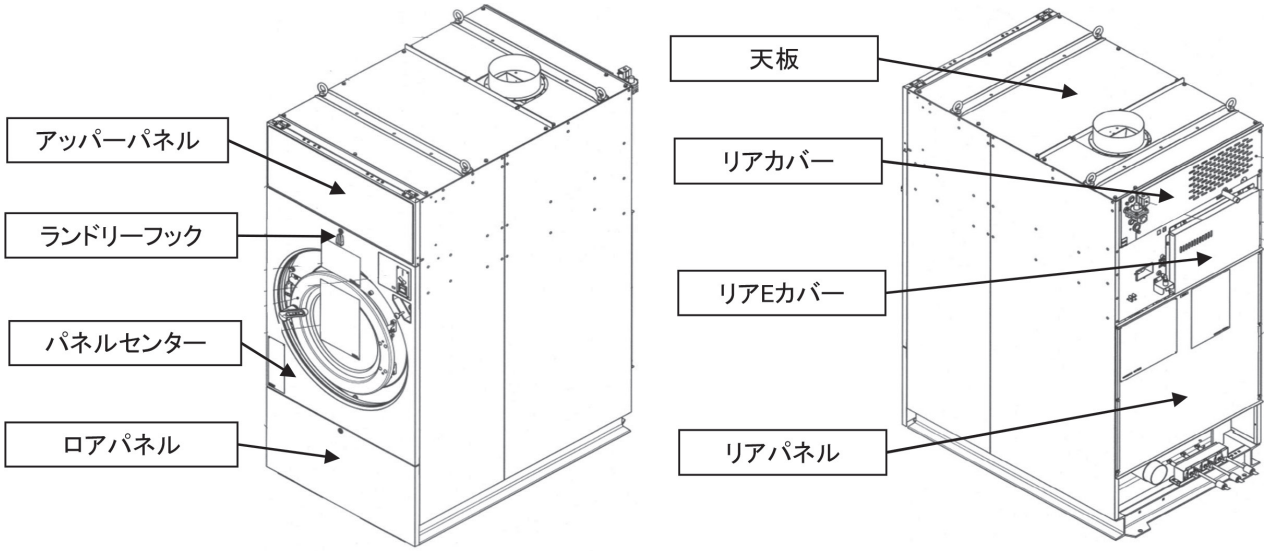
(1) 本機の近くで、絶対に火気を使用しないでください。
(2) 衣類は、定格負荷量以上入れないでください。
(3) ポリプロピレン系の繊維および食用油、動物系油、機械油、アロマ、エステ系オイルなどの油汚れが付着した衣類は自然発火することがありますので、洗濯、乾燥しないでください。
(4) 洗濯、乾燥した衣類は、速やかにドラム内より取り出してください。
(5) 運転中は、ドアの開閉はしないでください。

5 機械の概要

5.1 主要構成部の名称

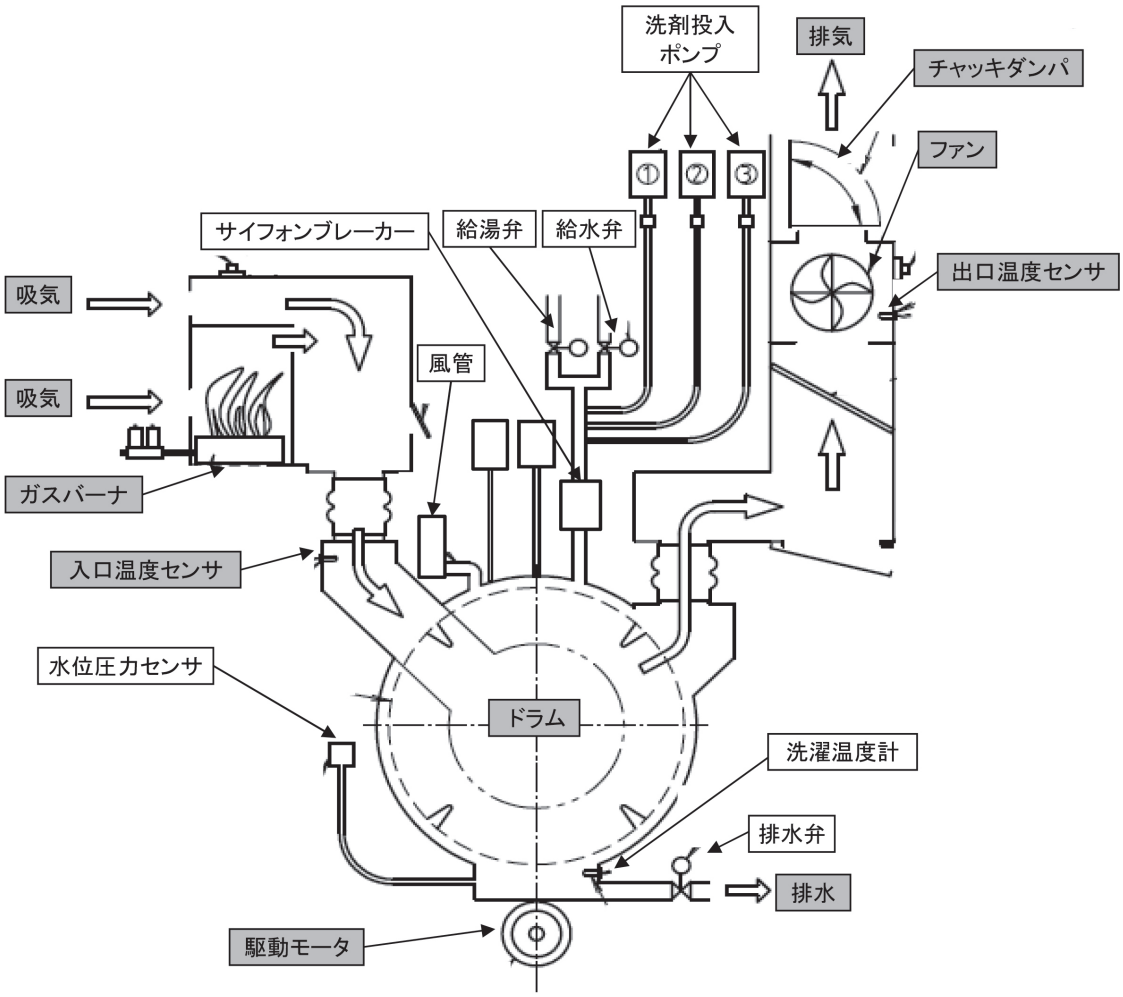
主な構成部と各々の役目と働きは次の通りです。

■ 各パネル



・アッパーパネル	:	操作部/表示部がある機械正面上部のパネルです。
・ランドリーフック	:	ランドリーバッグ等を掛けるフックです。
・パネルセンター	:	機械正面中央のパネルです。
・ロアパネル	:	機械正面下側のパネルです。
・天板	:	機械上部のパネルです。
・リアカバー	:	機械背面上部のパネルです。
・リアEカバー	:	機械背面中央のパネルです。
・リアパネル	:	機械背面のパネルです。

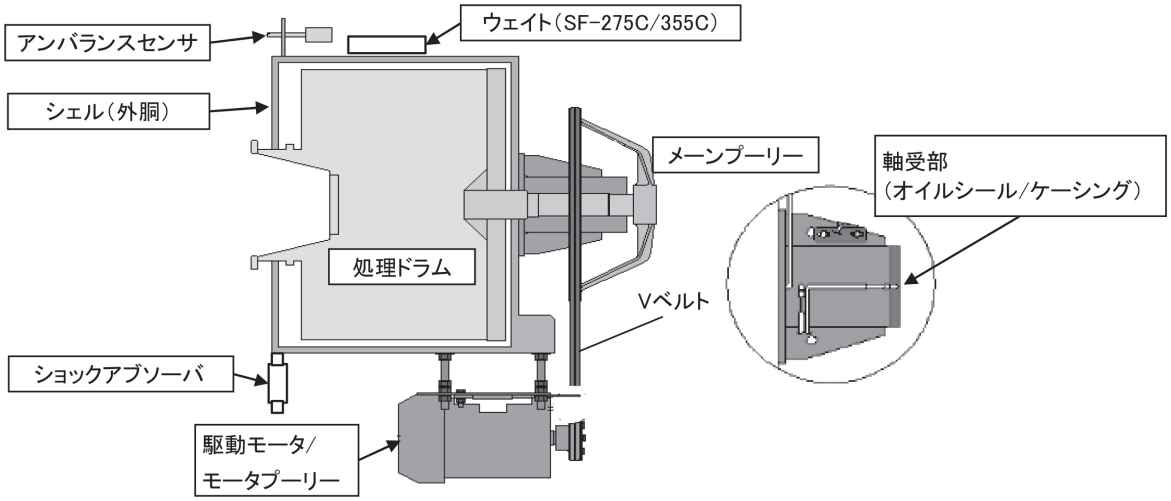
■ 給排水 系統



・水位圧力センサ	:	ドラム内の水量を検出するセンサです。
・洗濯温度計（オプション）	:	ドラム内の水温を検出するセンサです。
・排水弁	:	自動的にドラムの水を排水、停止する弁です。
・給水弁	:	自動的にドラムへ水を給水、停止する弁です。
・給湯弁（オプション）	:	自動的にドラムへ温水を給湯、停止する弁です。
・サイフォンブレーカー	:	給水、給湯の逆流防止装置です。
・風管	:	ドラム内部のエアー抜き、給水のオーバーフローです。
・洗剤投入ポンプ	:	ドラム内に①No.1洗剤、②No.2柔軟剤、③No.3予備を投入するポンプです。

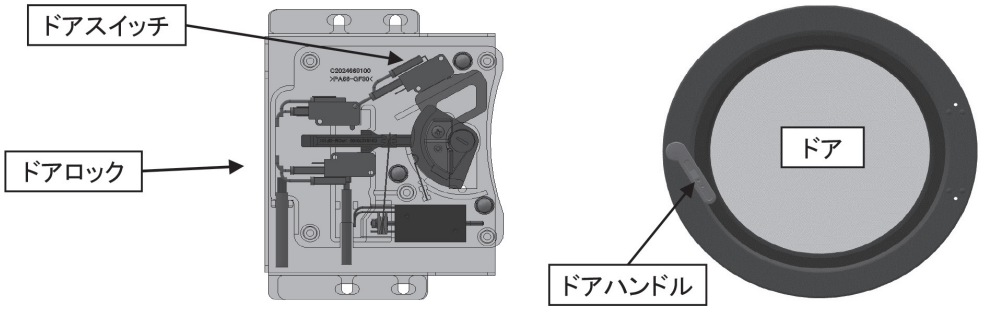
■ 動力 伝達部

警告	◆回転部につき、巻き込まれの危険性があります。 回転中は手を入れないこと。	禁止



・アンバランスセンサ	:	ドラム回転で異常を検知した場合、安全にドラムを止める装置です。
・ウェイト(SF-275C/355C)	:	シェルの振動振幅を抑制するためのウェイトです。
・シェル(外胴)	:	ドラムの外胴です。
・処理ドラム	:	洗濯または乾燥する衣類を入れるステンレス製のドラムです。
・ショックアブソーバ	:	シェルの振動振幅を抑制するアブソーバです。
・メーンプーリー	:	Vベルトでドラムを回転させるプーリーです。
・軸受部 (オイルシール/ケーシング)	:	ドラムシャフトを保護するオイルシール、ベアリングが収納されているケースです。
・駆動モータ	:	低速から高速回転をインバータ(周波数)にて行うモータです。

■ ドアフロント部

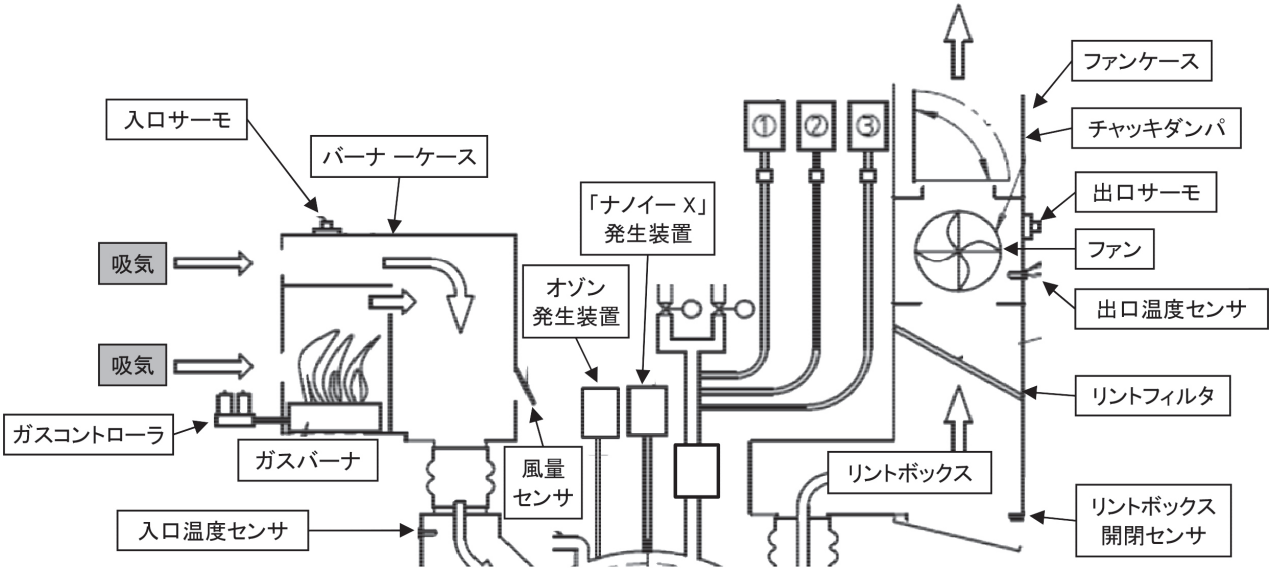


・ドアハンドル	:	ドアを開閉するハンドルです。
・ドアロック	:	ドアロックは機械運転中、またはドラム内に高水位まで水が入っている場合にドアロックします。
・ドアスイッチ	:	ドアの開閉を確認するスイッチで、ドアを閉めると自動運転が可能になります。 ※ドアハンドルの動作が不完全な場合、ドアスイッチが作動せず機械が運転できない場合があります。

■ 熱風 循環部

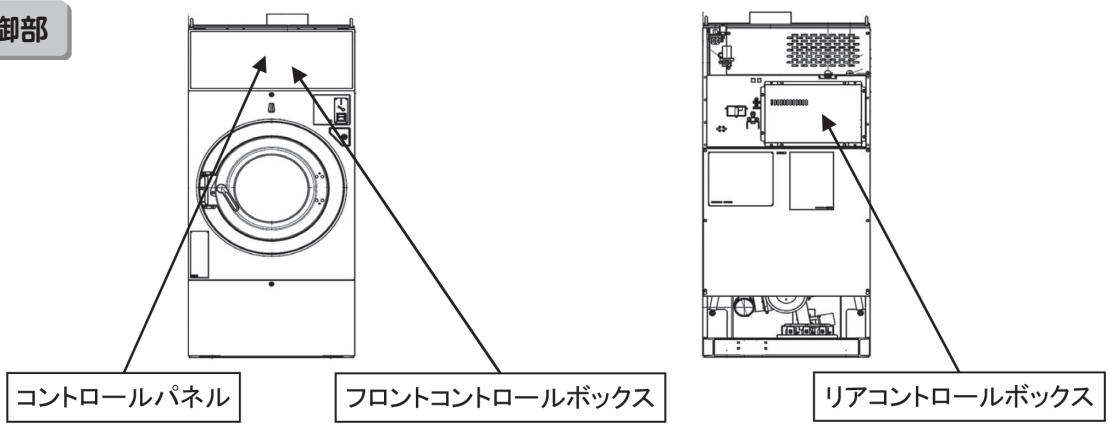
ワッシャー上部に連接した部分で、乾燥工程時の温風回路です。
洗濯物より蒸発した水分を排出します。

	◆火傷の危険性があるので触らないでください。	禁止



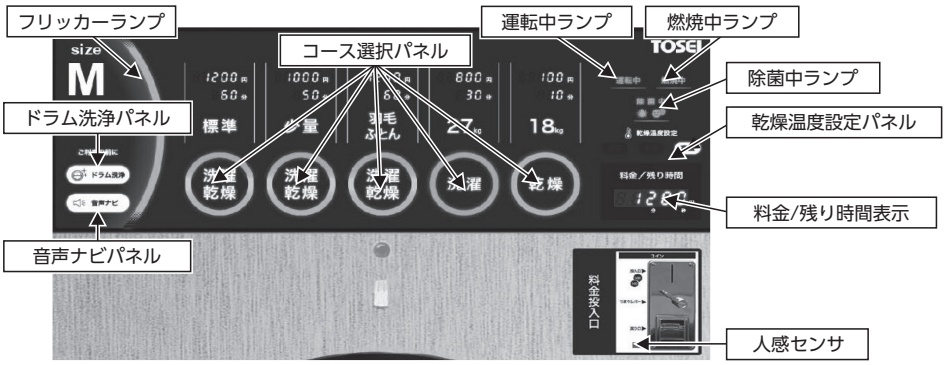
・リントボックス/リントフィルタ	:	洗濯物を乾燥させた空気はファンにより吸込まれ、移動されます。この空気には洗濯物より出る「糸くず」等を含んでいますので、これを除去回収する箱およびフィルタです。
・リントボックス開閉センサ	:	リントボックスの開閉を検知するセンサです。
・入口温度センサ	:	乾燥風温度の変化を検出するセンサです。
・オゾン発生装置(オプション)	:	ドラム内にオゾンエアを放出します。
・ガスコントローラ	:	ガスバーナの着火をコントロールするための基板です。
・バーナーケース	:	ガスバーナ、インナーバーナケースを収納してある箱です。
・ガスバーナ	:	本機の乾燥熱源です。外部空気をバーナで加熱し、加熱後ドラム内にファンにより吹き込み洗濯物を乾かします。
・サーモスタット	:	異常燃焼を検知する安全装置です。
・風量センサ	:	ファンが動作すると検知する安全装置です。このセンサが作動しないとガスバーナの着火はしません。
・ファンケース	:	外部へ排気するファンを収納してある箱です。
・チャッキダンパ	:	一方向しか風を通さない逆流防止ダンパです。
・出口温度センサ	:	乾燥風温度の変化を検出するセンサです。
・ファン/ファンモータ	:	ファンモータ用のインバータの指令によりファンを回転させ、乾燥風ダクト経路に空気の流れを作りだします。
・「ナノイー X」発生装置	:	ドラム内に「ナノイー」を放出します。

■ 電気制御部

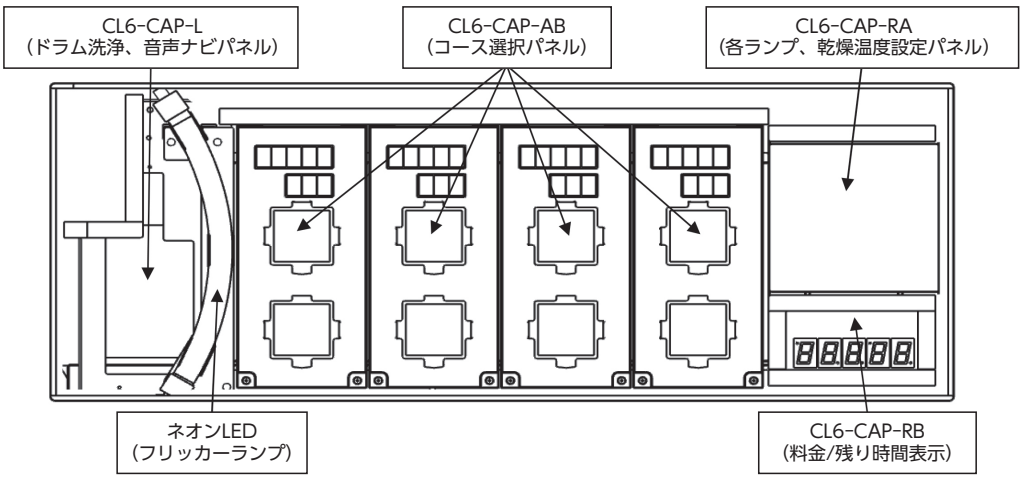


・コントロールパネル	:	お客様が機械を操作するための操作部です。 (お客様操作部・コイン/プリペ投入口)など
・フロントコントロールボックス	:	機械の動きを制御するための電装部品を収納してある箱です。 (CPUユニット)
・リアコントロールボックス	:	機械の動きを制御するための電装部品を収納してある箱です。 (リレーユニット・INVユニット・電源端子台・ガスコンローラー) など

●コントロールパネル

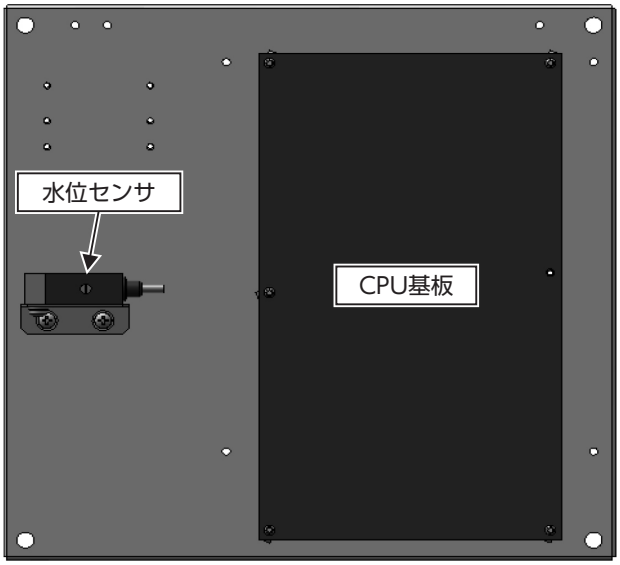


アッパーパネル



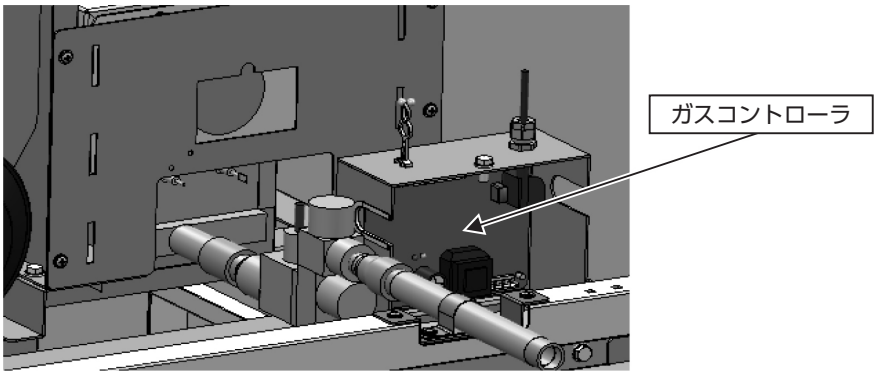
アッパーパネル内側

●フロントコントロールボックス

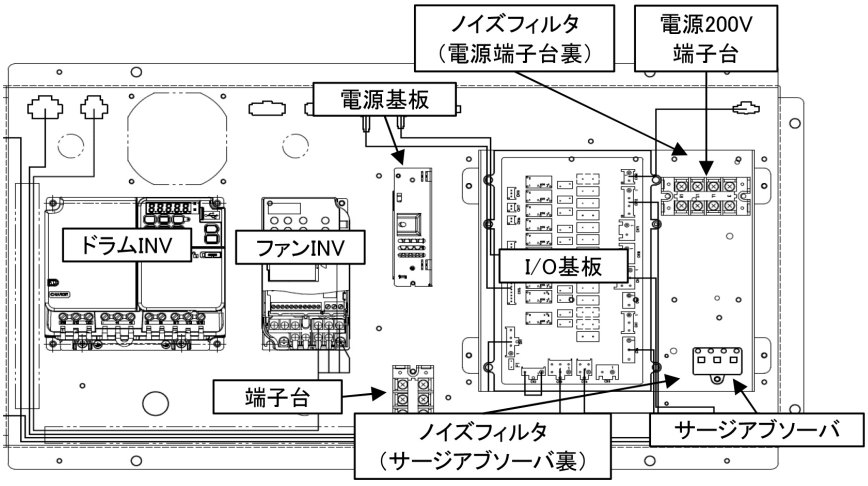


フロントEパーツ

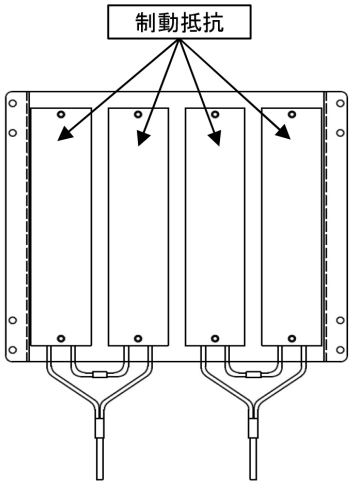
●リアコントロールボックス



ガスバーナユニット



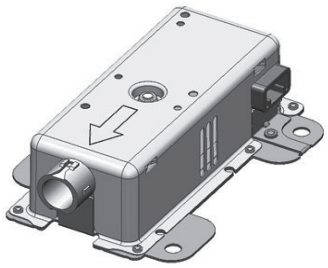
リアEパーツ

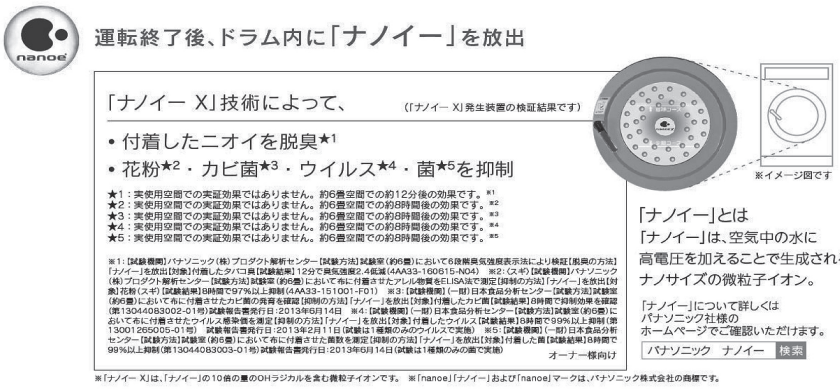


リアEパーツ裏側

5.2 「ナノイー X」発生装置について

ドラム内に「ナノイー」を放出し、ドラム内に付着したニオイの脱臭と、菌・カビ菌・花粉・ウイルスの抑制をします。
「ナノイー」とは、空気中の水分から生み出される微粒子イオンです。





※交換目安は「18000時間」です。
例：1日8時間稼働の場合　交換目安…5年
例：24時間稼働の場合　　交換目安…2年

・ソフトリンクル中または、ドアが開いている状態でも「ナノイー」は発生します。
・運転中、エラー発生時、遠隔操作で機械を調整中にした場合は、「ナノイー」がOFFになります。
・時刻22時～6時まで「ナノイー X」発生装置が稼働します。

6 運転操作方法

6.1 表示部・操作部について

（1）表示部・操作部の説明（例 SF-275C）

ドラム洗浄パネル

・ドラム洗浄を行います。

コース選択パネル

① 洗濯乾燥コース(標準)
② 洗濯乾燥コース(少量)
③ 洗濯乾燥コース（羽毛ふとん）
④ 洗濯コース
⑤ 乾燥コース
（SF-275C/355C）
から使用するコースを選択します。

運転中ランプ

・運転している時に
点灯します。

燃焼中ランプ

・ガスが燃焼している
時に、 点灯します。

除菌中ランプ

・出口温度が
60度以上に
なった時に点灯し、
オゾンエア発生中に
点滅します。

音声ナビパネル（OP）

・音声ナビが流れます。

フリッカーランプ

・待機中および運転中は
青色に点灯します。
・集中精算機で機械を
選択した際は緑色に
点滅します。
・トラブル発生時は
赤色に点灯します。

料金/残り時間表示

・選択したコースの
金額、硬貨投入金額を
表示します。
・運転中はコースの
運転残り時間を表示します。
・トラブル発生時は
エラーの内容を表示します。

乾燥温度設定パネル

・高温、中温、低温から
乾燥温度を選択します。

カード返却ボタン（OP）

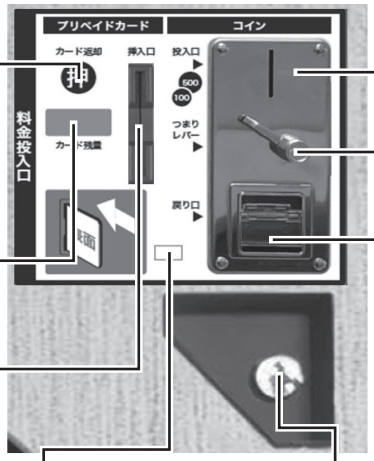
・カードが詰まったとき、
このボタンを押すと
カードが挿入口に戻ります。

カード残量表示（OP）

・カードの残度数を表示します。
・カード返却のときに、
残りの金額を表示します。

カード挿入口（OP）

・専用カードの挿入口です。



硬貨投入口

・100円、500円硬貨
専用の硬貨口です。

つまりレバー

・硬貨が詰まったとき、
このレバーを押すと、
戻り口に戻ります。

硬貨戻り口

・100円、500円以外
の硬貨を入れると
返却口に戻ります。
・1度投入した硬貨は
返却できません。

人感センサ

・人を感知すると
表示部および操作部が
点灯する人感センサです。

コインケース

・100円、500円硬貨を
収容するケースです
コインケースは、
専用の鍵で開きます。

OP…オプション部品となります。

①ドラム洗浄パネル

●ドラム洗浄パネルをタッチすると、洗濯の前にドラムを約2分間洗います。(2回まで使用できます)

②音声ナビパネル(オプション)

●使い方がわからないとき、音声で操作説明をするパネルです。
音声ナビパネルをタッチすると、使用状況に応じた音声ガイダンスが流れます。

③コース選択パネル

・SF-155C

・SF-275C/355C

SF-155C

●洗濯乾燥コース(標準)、洗濯乾燥コース(少量)、洗濯コース、乾燥コースの4つのコースから、使用するコースを選択します。

・硬貨投入後も指定金額に達するまでは、投入した合計金額を超える料金のコースへは選択を変更できます。〈乾燥コースを除く〉

例：SF-155C 洗濯乾燥コース(標準)を選択し、100円投入した場合
洗濯乾燥コース(少量)：1000円…変更できる　洗濯コース：800円…変更できる
乾燥コース：100円…変更できない

SF-275C/355C

●洗濯乾燥コース(標準)、洗濯乾燥コース(少量)、洗濯乾燥コース(羽毛ふとん)、洗濯コース、乾燥コースの5つのコースから、使用するコースを選択します。

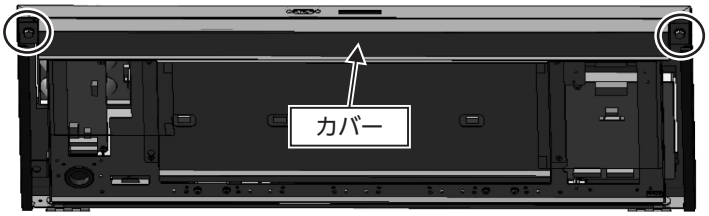
・硬貨投入後も指定金額に達するまでは、投入した合計金額を超える料金のコースへは選択を変更できます。〈乾燥コースを除く〉

例：SF-275C 洗濯乾燥コース(標準)を選択し、1300円投入した場合
洗濯乾燥コース(少量)：1300円…変更できない　洗濯乾燥コース(羽毛ふとん)：1500円…変更できる
洗濯コース：1100円…変更できない　乾燥コース：100円…変更できない

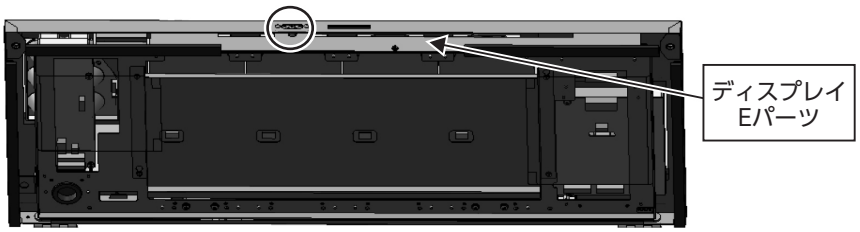
※SF-5Cでは、洗濯容量およびコース名をシートで表示します。
シートの交換方法については、次ページを参照してください。

・コース名シートの交換方法

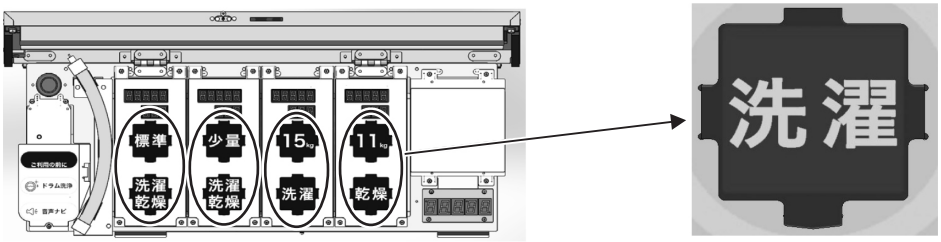
(1) アッパーパネルを開き、カバーのM6×16ボルト2ヵ所を外し、カバーを取り外します。



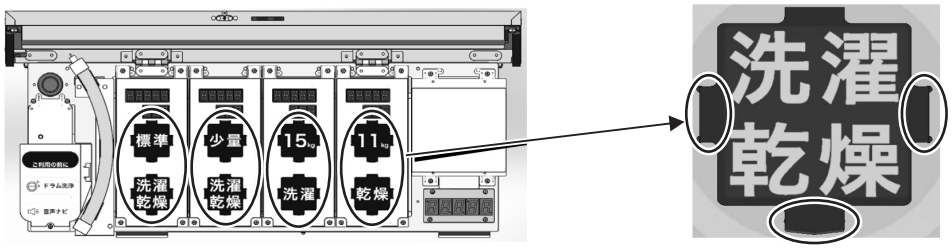
(2) ディスプレイEパーツが落下してしまわないように押さえながら、
アッパーパネルのM4×20ネジを緩めます。



(3) 変更するコースの洗濯容量またはコース名のシートを取り外します。

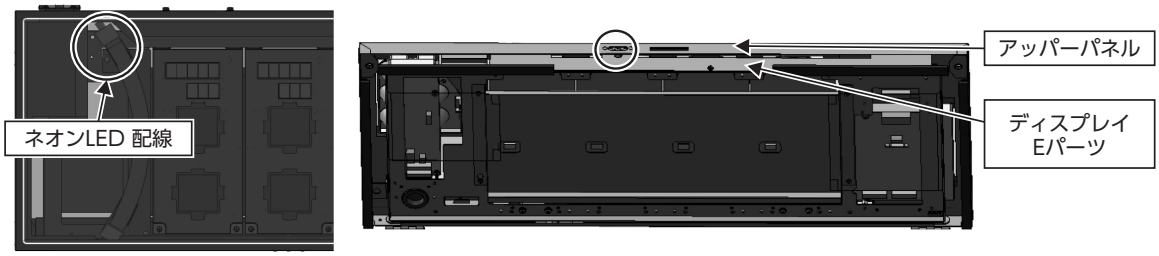


(4) シート取付箇所のツメ3ヵ所にコース名シートを入れて取り付けます。

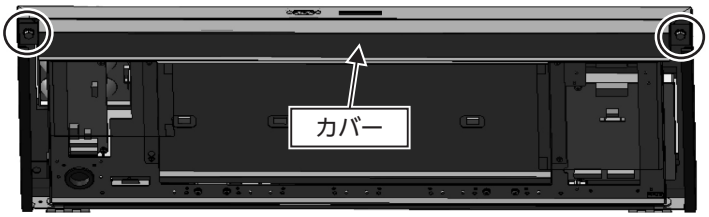


コース名シート(付属品)

(5) ネオンLEDの配線を引っ掛けないよう注意して
アッパーパネルとディスプレイEパーツの取付位置を合わせ、M4×20ネジを締め付けます。



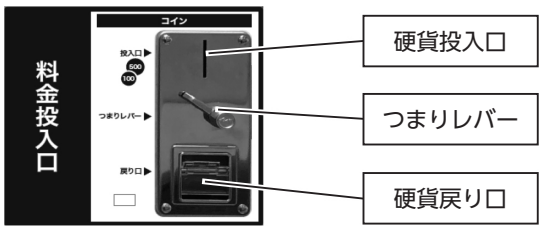
(6) カバーをM6×16ボルト2ヵ所で取り付けます。



④乾燥温度設定パネル

●高温、中温、低温から乾燥温度を選択します。

⑤ コインセレクタ(標準仕様)



●金銭の投入装置で、100円および500円が投入できます。

・コースを選択し、表示している金額分硬貨を投入すると自動的に運転を開始します。
　使用できる硬貨は100円と500円です。

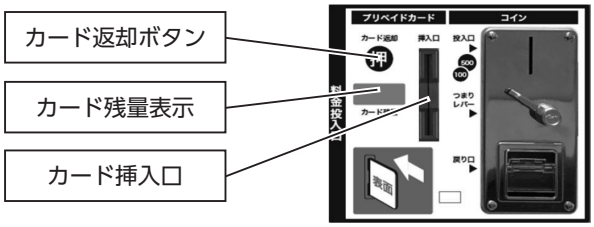
・乾燥コースは100円硬貨のみ使用できます。

・乾燥コースを運転中に100円硬貨を投入すると、100円分乾燥時間が延長します。

例：SF-275C 乾燥コース運転中、100円分追加し、乾燥時間を8分延長した場合
　乾燥時間 15分 (7分+8分延長) + 冷却時間 1分 ＝ 運転時間 16分

※つり銭は出ませんのでご注意ください。

⑥プリペードカード仕様(オプション)



●専用のプリペイドカード投入装置です。

・プリペイドカードを投入すると、自動的にカード残量よりコースの金額分差し引き、運転を開始します。

・カードの返却前にカード残量表示にカードの残額を表示します。

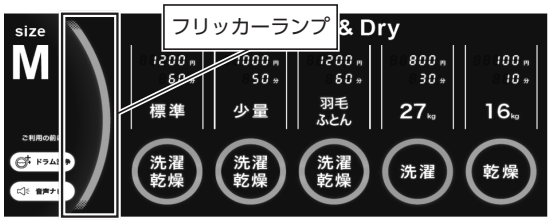
・コインセレクタも並行してご使用できます。

・乾燥コースを運転中にプリペイドカードを投入すると、100円分乾燥時間が延長します。

例：SF-275C 乾燥コース運転中、100円分追加し、乾燥時間を8分延長した場合
　乾燥時間 15分 (7分+8分延長) + 冷却時間 1分 ＝ 運転時間 16分

※使用できるカードは専用のプリペイドカードです。

⑦ コインレス仕様(オプション)

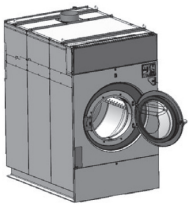


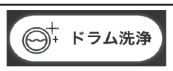
●コインレス仕様の機械については、集中精算機にて料金をお支払いください。

・集中精算機で機械を選択するとフリッカーランプが緑色に点滅します。

（2）お客様の使用方法

1 準備



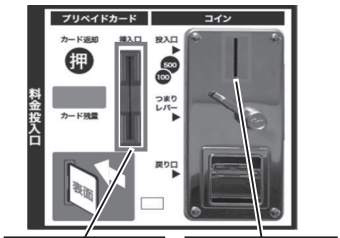


●ドラム内に洗濯物がないことを確認してください。
●ドラム洗浄を行う場合
・ドラム洗浄パネルをタッチすると、洗濯の前に約2分間のドラム洗いを行います。
（ドラム洗浄パネルが点滅）
●ドアを開けてください。
・ドアを開くと「door」、ドアを閉じると「0」を表示します。
・洗濯物をいれてドアを閉めてください。

2 コース選択

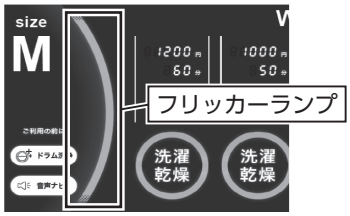
●コースパネルに手をかざすと、コースの金額を表示します。
●選択したコースパネルが点滅し、料金を投入できます。

3-1 料金投入（標準/プリペイドカード仕様）



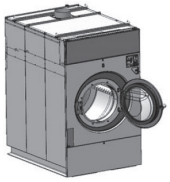
●使用できる硬貨は100円と500円です。
・それ以外の硬貨は返却されます。
・乾燥コースの場合は、100円硬貨のみ使用できます。
●使用できるカードは専用のプリペイドカードです。
・プリペイドカードを投入すると、自動的にカード残量よりコースの金額分を差し引き、運転を開始します。
●硬貨とプリペイドカードは並行してご使用できます。
●投入した料金の合計金額を表示します。
・投入した合計金額より料金が高いコースへは、お支払いの途中にコース変更できます。（乾燥コースを除く）
料金投入中のコース変更についてはP40③ コース選択パネルを参照してください。
●指定金額まで投入しますと自動的に運転を始めます。
・乾燥コース運転中に100円硬貨およびプリペイドカードを投入すると、100円分乾燥時間を延長します。

3-2 料金投入（コインレス仕様）



●コインレス仕様の機械については、集中精算機にて料金をお支払いください。
・集中精算機で機械を選択するとフリッカーランプが緑色に点滅します。

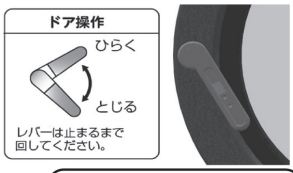
4



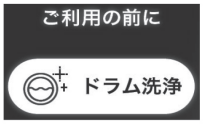
●機械の運転が終了しましたら、「End」を表示し終了音で運転の終了をお知らせします。
・ドアを開いて洗濯物を取り出してください。

（3）ドラム洗浄使用方法

■ ドラム洗浄操作手順



ドアを開け、
再度閉めてください。



『ドラム洗浄』パネルを
タッチします。

ドラム洗浄が
スタートします。

「End」表示

ドラム洗浄終了後、
「End」を表示します。

標準仕様

・ドアを閉めずに『ドラム洗浄』パネルをタッチすると、ドラム洗浄を使用できません。

※ドアが閉まっている場合は、ドアを1度開閉してから『ドラム洗浄』パネルをタッチしてください。

・既に2回ドラム洗浄を行っているときに『ドラム洗浄』パネルをタッチすると、ドラム洗浄を使用できません。

音声ナビ仕様（オプション）

・ドアを閉めずに『ドラム洗浄』パネルをタッチすると、ドラム洗浄を使用できません。

※ドアが閉まっている場合は、ドアを1度開閉してから『ドラム洗浄』パネルをタッチしてください。

・既に2回ドラム洗浄を行っているときに『ドラム洗浄』パネルをタッチすると

音声案内が流れます
「現在ご利用できません」

ドラム洗浄は2回まで使用できます。

※ドラム洗浄の使用可能回数を変更する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

（4）音声ナビ使用方法（オプション）

■ 音声ナビ操作手順（オプション）

『音声ナビ』パネルを
タッチします。

音声案内が流れます
「いらっしゃいませ
洗濯物を入れてドアを
しっかり閉めてください」

音声案内が流れます
「ご希望のコースボタンを
押してください」

待機中は全コースパネルが点灯します。

※コースパネルが点滅する設定に変更する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

点滅

ご希望のコースパネルに
手をかざします。
選択したコースパネルが
点滅します。

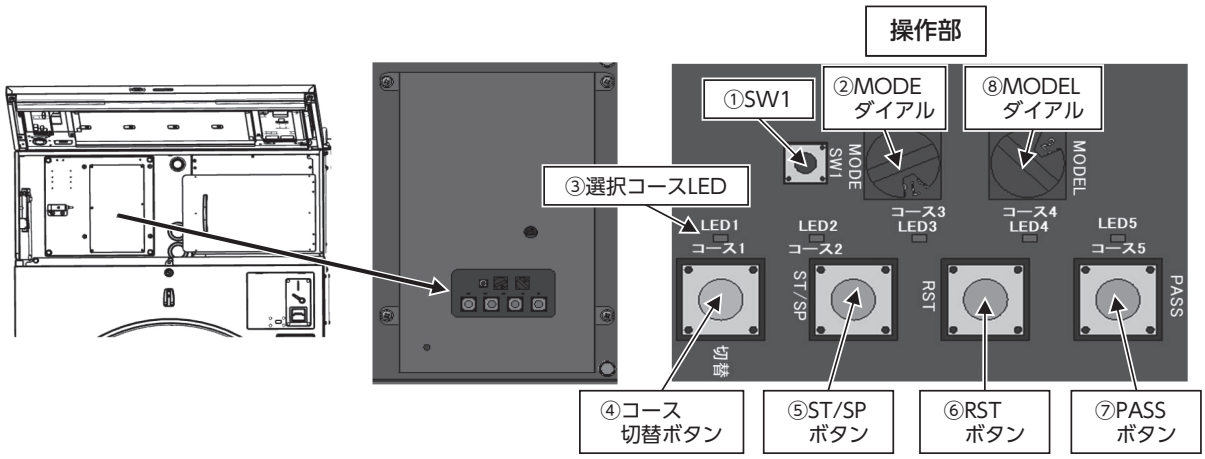
音声案内が流れます
「表示された料金を
いれてください」

指定の料金を投入後、
運転を開始します。
※ 乾燥コースのみ
追加投入が可能です

音声が発生した60秒後に音声を繰り返します。
（2回繰り返します）

※音声繰り返しパターンを変更する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

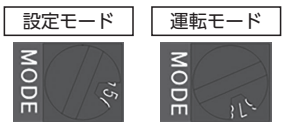
6.2 操作設定方法



①SW1

・操作時の設定ボタンです。
・待機中にMODEダイアルを「7」から「5」に変更し、SW1を2秒間長押しすることで設定モードに入ることができます。
　設定モードは、現在の時刻、コース金額、工程時間、機能の値などを変更できます。
・設定モード中にMODEダイアルを「5」から「7」に変更し、SW1を2秒間長押しすることで設定モードから待機中に戻ります。

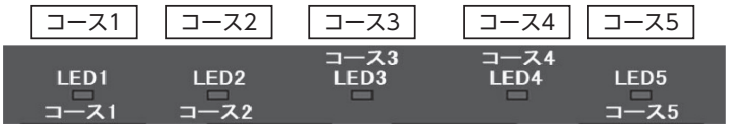
②MODEダイアル



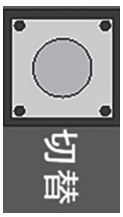
・操作時のMODE変更ダイアルです。
・MODEダイアル「5」:設定モード　　MODEダイアル「7」:運転モード
・待機中にMODEダイアルを「7」から「5」に変更し、SW1を2秒間長押しすることで、設定モードに入ることができます。
・設定モード中にMODEダイアルを「5」から「7」に変更し、SW1を2秒間長押しすることで、設定モードから待機中に戻ります。

③選択コースLED

・コース選択を確認するLEDです。
・待機中は、コース切替ボタンで選択しているコースのLEDが点灯します。
・運転中は、運転しているコースのLEDが点滅します。
・一時停止中は、運転しているコースのLEDが高速点滅します。



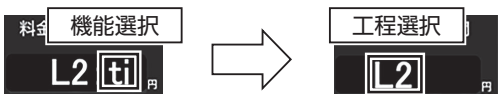
④コース切替ボタン

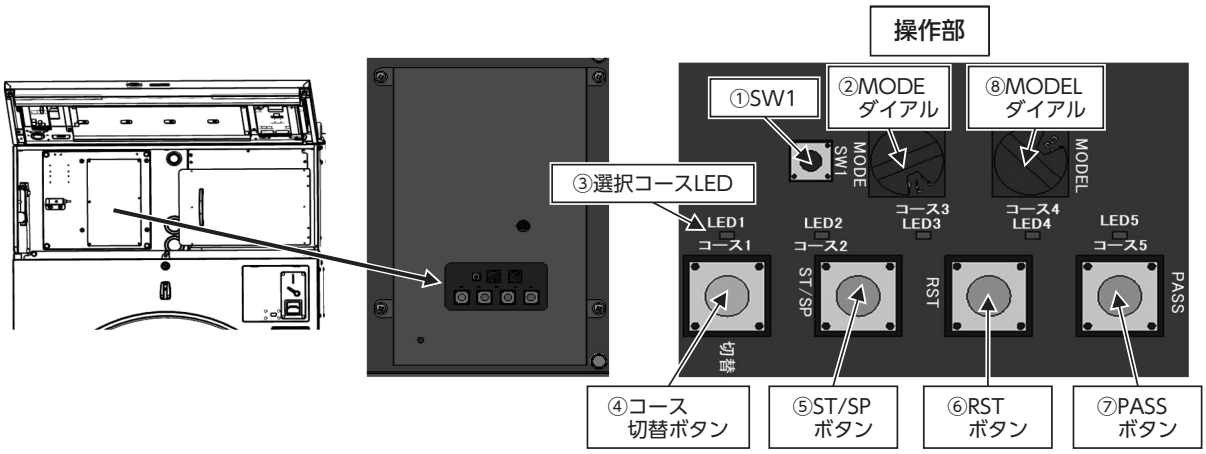


・操作時のコース切替ボタンです。
・待機中にコース切替ボタンを押すごとに1コース～5コースのLEDが点灯し、運転するコースを選択します。

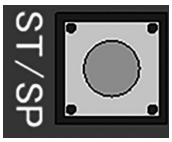
SF-155C	：1コース 洗濯乾燥コース(標準)	2コース 洗濯乾燥コース(少量)
	3コース 洗濯コース	4コース 乾燥コース
SF-275C/355C	：1コース 洗濯乾燥コース(標準)	2コース 洗濯乾燥コース(少量)
	3コース 洗濯乾燥コース(羽毛ふとん)	4コース 洗濯コース
	5コース 乾燥コース	

・設定モード中にコース切替ボタンを押すと、設定する項目が戻ります。





⑤ST/SPボタン



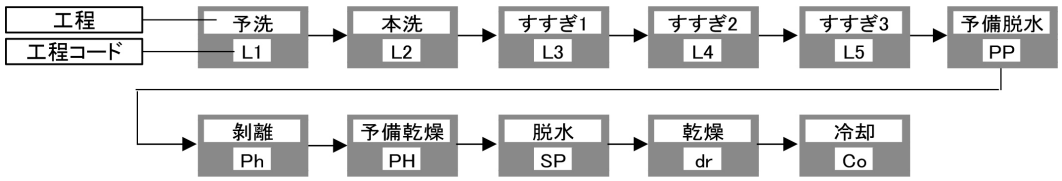
・操作時のスタート/ストップのボタンです。
　待機中にST/SPボタンを押すと、選択しているコースの運転を開始します。
・運転中にST/SPボタンを押すと運転を一時停止します。
・一時停止中にST/SPボタンを押すと運転を再開します。
・設定モード中にST/SPボタンを押すと、設定するコース、工程、機能、設定値の増(+)を行います。

⑥RSTボタン

・操作時のリセットボタンです。
・一時停止中にRSTボタンを押すと、待機中に戻ります。
・設定モード中にRSTボタンを押すと、設定するコース、工程、機能、設定値の減(-)を行います。

⑦PASSボタン

・操作時のパスボタンです。
・待機中にPASSボタンを押すと、選択しているコースの開始工程を切り替えます。
・運転中にPASSボタンを押すと、現在行っている工程を省略しパスされた次の工程を開始します。
・一時停止中にPASSボタンを押して、ST/SPボタンで運転を再開するとパスされた次の工程から運転を再開します。
・設定モード中にPASSボタンを押すと、現在選択している項目を決定し次の項目へ進みます。
　また、設定値の変更が完了してPASSボタンを押すと、変更した設定を保存します。

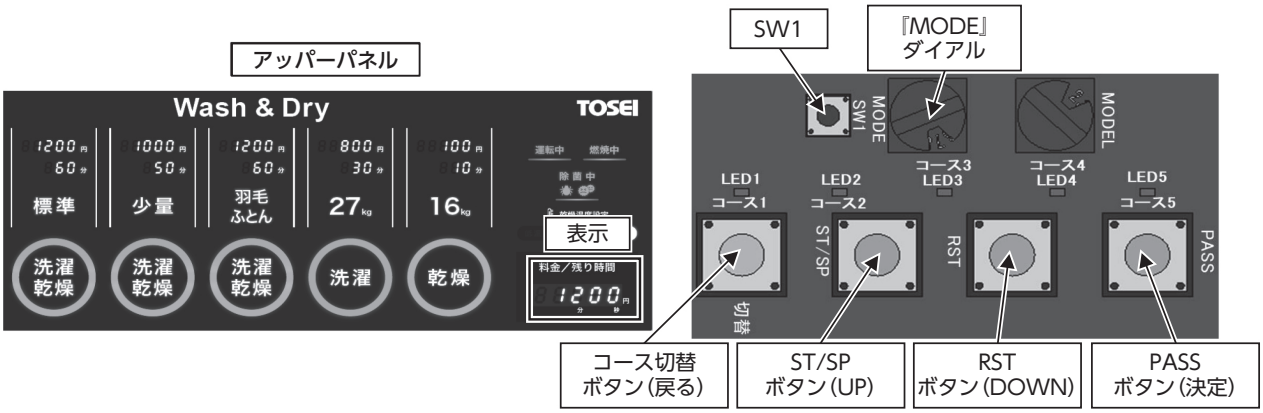


⑧MODELダイアル

・操作時の機種選択ダイアルです。
・MODELダイアル「0」:SF-155C　　MODELダイアル「1」:SF-275C
　MODELダイアル「2」:SF-355C

6.3 日時の設定方法

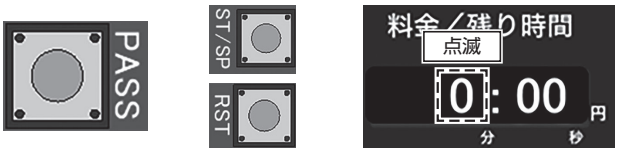
アッパーパネルを開き、操作部で変更します。



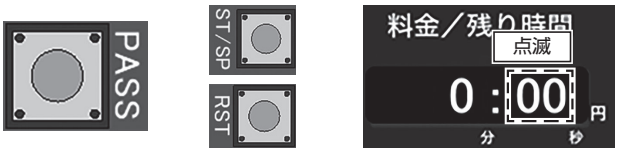
①『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードに入ります。

②料金／残り時間表示にCO SE（コース）を表示します。
『RST』ボタン（DOWN）を押して表示を『Clock』にします。

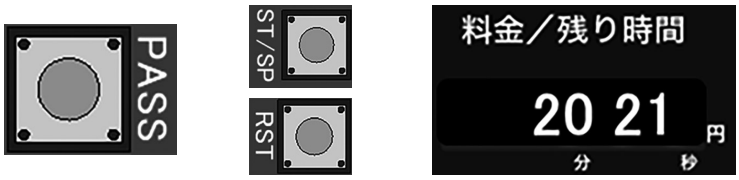
③『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に時刻を表示し、時刻（時）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で時刻（時）を変更します。（0時～23時：24時間制）



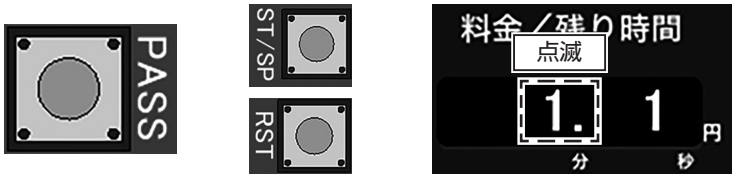
④『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に時刻を表示し、時刻（分）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で時刻（分）を変更します。（0分～59分）



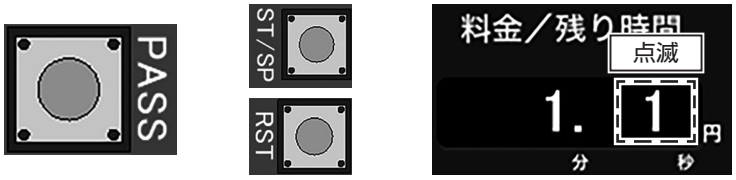
⑤『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に西暦を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で西暦を変更します。（2020年～2099年）



⑥『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に日付を表示し、日付（月）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で日付（月）を変更します。（1月～12月）



⑦『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に日付を表示し、日付（日）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で日付（日）を変更します。（1日～31日）



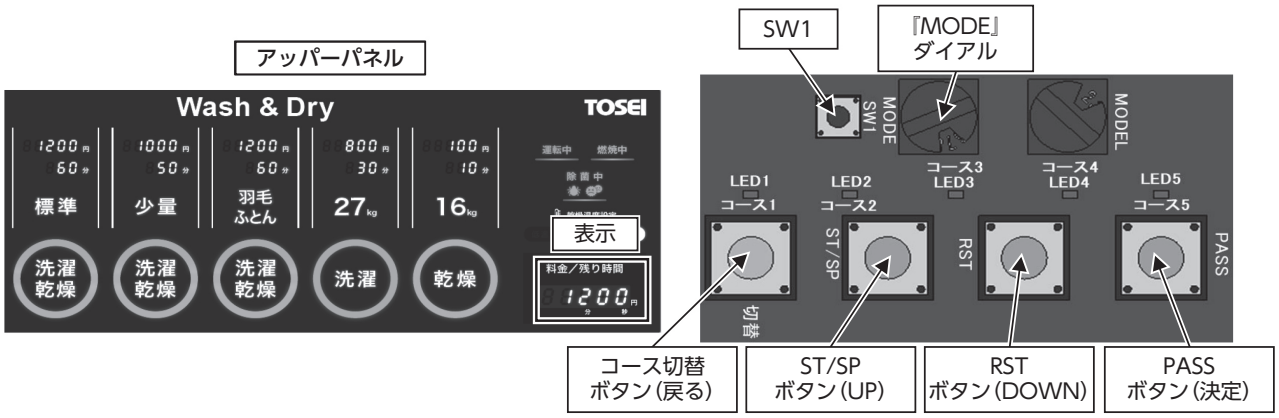
⑧『PASS』ボタンを押し、変更した設定値を保存します。
料金／残り時間表示に〖SAVE〗を表示します。

⑨『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードを終了します。

6.4 コースの金額、運転時間変更方法

各コースパネルにコース金額、運転時間を表示します。
コースの金額、運転時間を変更すると、コースパネルに表示される金額または運転時間が設定した値に変更します。

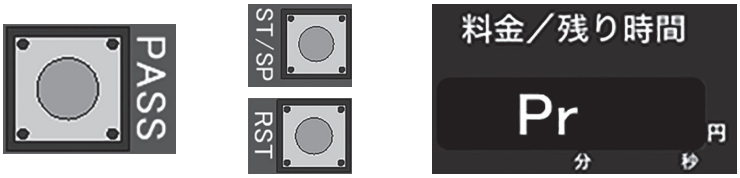
■ コースの金額変更方法



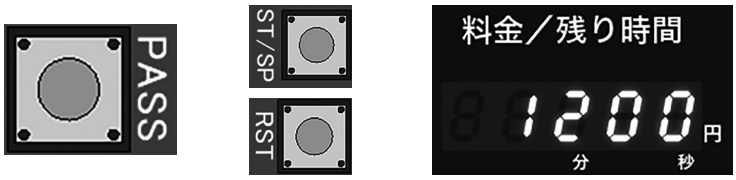
①『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードに入ります。

②料金／残り時間表示にCO SE（コース）を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）でコース金額を変更するコースを選択します。

③『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示にコース金額または工程コードを表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で表示を『Pr』（コース金額）にします。



④『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示にコースの金額を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で金額を変更します。（100円～9900円）



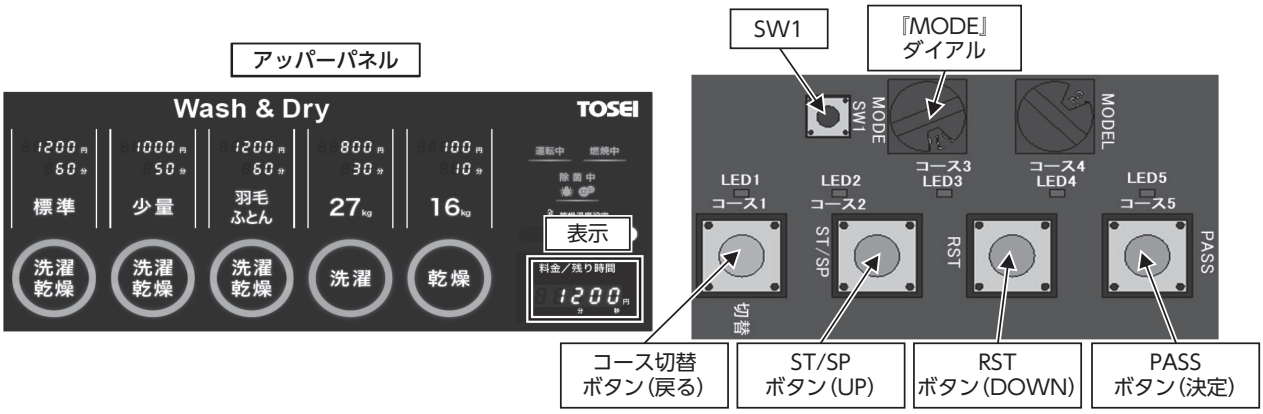
⑤『PASS』ボタンを押し、変更した設定値を保存します。
料金／残り時間表示に『SAVE』を表示します。

⑥『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードを終了します。

⑦コース金額の表示が、設定した金額に変更します。

■ コースの運転時間（工程時間）変更方法

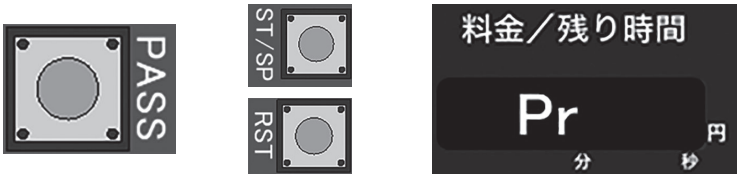
アッパーパネルを開き、操作部で変更します。



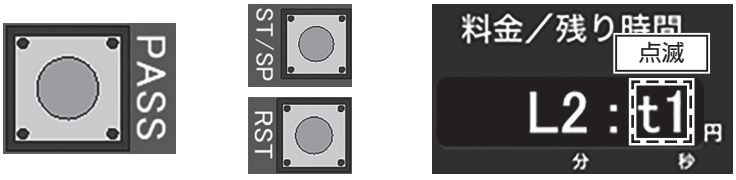
①『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードに入ります。

②料金／残り時間表示にCO SE（コース）を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で運転時間を変更するコースを選択します。

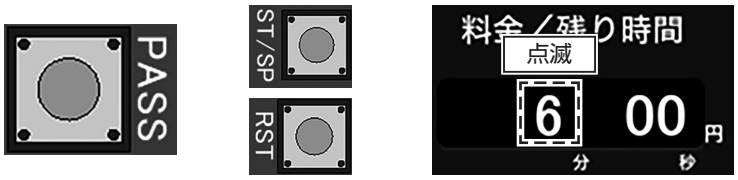
③『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示にコース金額または工程コードを表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で設定を変更する工程L1～Coを選択します。



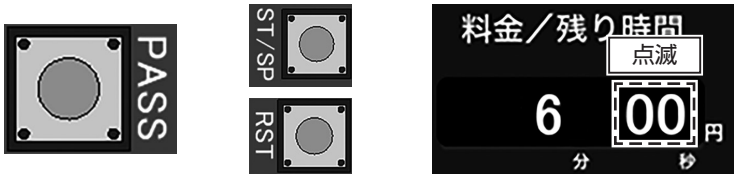
④『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に工程コード、機能コードを表示し、機能コードが点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で表示を『ti』（工程時間）にします。



⑤『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に工程時間を表示し、工程時間（分）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で工程時間（分）を変更します。



⑥『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に工程時間を表示し、工程時間（秒）表示が点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で工程時間（秒）を変更します。

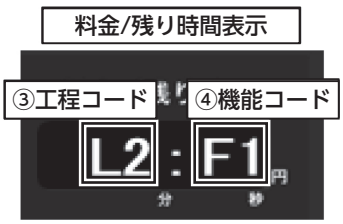


⑦『PASS』ボタンを押し、変更した設定値を保存します。
料金／残り時間表示に『SAVE』を表示します。

⑧『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードを終了します。

⑨コースの運転時間の表示が、設定した時間に変更します。

6.5 機能の設定方法



①『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を2秒間長押しし、設定モードに入ります。
②『ST/SP』ボタンまたは『RST』ボタンでコースを選択し、『PASS』ボタンで決定します。
③料金/残り時間表示に工程コードを表示します。
『ST/SP』ボタンまたは『RST』ボタンで工程L1 ～ Coを選択し、『PASS』ボタンで決定します。
④料金/残り時間表示に機能コードを表示します。
『ST/SP』ボタンまたは『RST』ボタンで機能ti ～ Cdを選択し、『PASS』ボタンで決定します。
⑤『ST/SP』ボタンまたは『RST』ボタンで機能の設定値を変更し、『PASS』ボタンで設定を保存します。
⑥『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を2秒間長押しし、設定モードを終了します。

下記は工程コードと機能コードの一覧表となります。

工程コード ↓　機能コード →

	工程時間 ti	ドラム回転 F1	水位 F2	洗回転 F3	脱回転 F4	温水 F5	温水温度 F6	高温温度 F7	中温温度 F8	低温温度 F9
予洗 L1	2分30秒	普通 5	4	4	遅 1	水 0	50℃ 50	--	--	--
本洗 L2	6分00秒	普通 5	2	2	遅 1	水 0	50℃ 50	--	--	--
すすぎ1 L3	3分00秒	普通 5	中 3	3	遅 1	水 0	50℃ 50	--	--	--
すすぎ2 L4	3分00秒	普通 5	2	2	遅 1	水 0	50℃ 50	--	--	--
すすぎ3 L5	3分00秒	普通 5	2	2	遅 1	水 0	50℃ 50	--	--	--
脱水 SP	8分00秒	--	--	--	速 5	--	--	--	--	--
乾燥 dr	30分00秒	正逆 2	--	3	--	-	--	70℃ 70	60℃ 60	50℃ 50
冷却 Co	1分00秒	正逆 2	--	3	--	--	--	--	--	--
設定範囲	0分0秒～20分0秒 (L1～L5、SP) 0分0秒～99分59秒 (dr、CO)	5 普通 4 一方 3 ソフト 2 正逆 1 停止	5高 4 3中 2 1低	5普通 4 3 2 1低	5速 4 3 2 1遅 0=無し	1温水 0水	水温 1～ 90℃	乾燥 10～ 75℃	乾燥 10～ 75℃	乾燥 10～ 75℃

	排水 FA	ポンプ1 C1(洗剤)	ポンプ2 C2(柔軟剤)	ポンプ3 C3(予備)	ポンプ4 C4	ポンプ5 C5	ポンプ6 C6	ポンプ7 C7	ポンプ8 C8	中間脱水 Cd
予洗 L1	回転 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	60秒 60
本洗 L2	回転 0	7.0秒 70	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	120秒 120
すすぎ1 L3	回転 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	60秒 60
すすぎ2 L4	回転 0	0秒 0	7.0秒 70	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	60秒 60
すすぎ3 L5	回転 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	0秒 0	60秒 60
脱水 SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
乾燥 dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
冷却 Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
設定範囲	1停止 0回転	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	0～59.5秒	1～599秒

※上記表は、SF-275C 1コースの標準プログラムです。
※　　は、パスが設定されている工程となります。
※設定範囲および設定値の詳細についてはP56 ～ P58を参照してください。

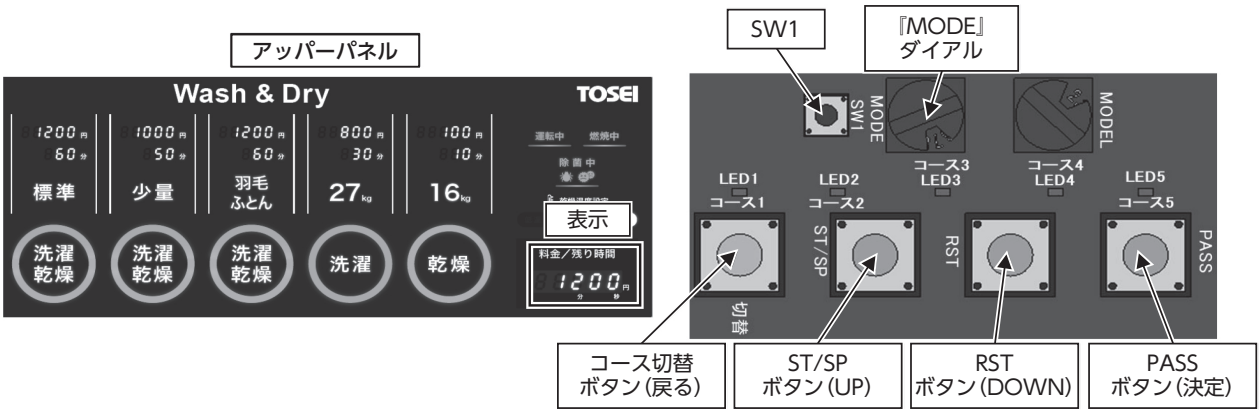
金額　コース金額変更
100円～ 9900円

■ ソフトリンクル(シワ防止機構)について

運転終了後(End表示中)、衣類等のしわ防止や蓄熱による発火のリスクを低減する為、
一定間隔でドラムを回転させるソフトリンクル機能が付いています。ドアを開けると停止します。
※乾燥を終えた衣類は、速やかにドラム内より取り出してください。

■ 機能の設定方法詳細

アッパーパネルを開き、操作部で変更します。

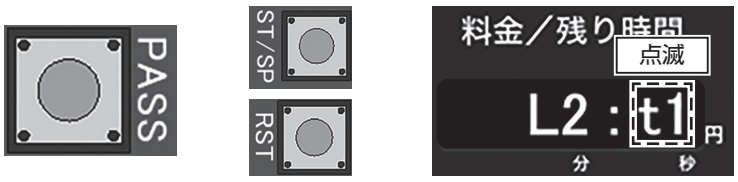


①『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードに入ります。

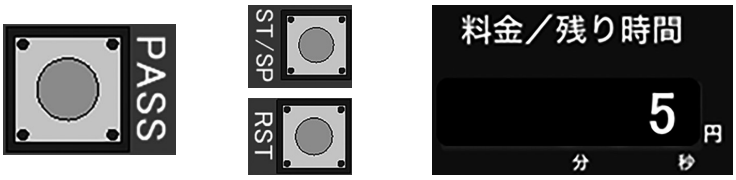
②料金／残り時間表示にCO SE（コース）を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で設定を変更するコースを選択します。

③『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示にコース金額または工程コードを表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で設定を変更する工程L1～Coを選択します。
※－は、パスされている工程となります。

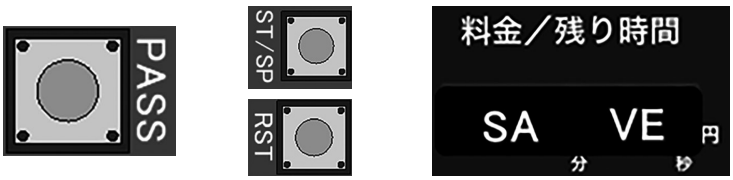
④『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に工程コード、機能コードを表示し、機能コードが点滅します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で設定を変更する機能ti～Cdを選択します。



⑤『PASS』ボタンを１回押します。
料金／残り時間表示に設定値を表示します。
『ST/SP』ボタン（UP）または『RST』ボタン（DOWN）で設定値を変更します。



⑥『PASS』ボタンを押し、変更した設定値を保存します。
料金／残り時間表示に「SAVE」を表示します。



⑦『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を２秒間長押しし、設定モードを終了します。

■ 日時設定の設定範囲

設定項目	設定範囲	設定内容	説明
時刻(時)	0～23	0…0時 23…23時	現在の時刻(時)を設定します。
時刻(分)	0～59	0…0分 59…59分	現在の時刻(分)を設定します。
西暦	2020～2099	2020…2020年 2099…2099年	現在の西暦を設定します。
日付(月)	1～12	1…1月 12…12月	現在の日付(月)を設定します。
日付(日)	1～31	1…1日 31…31日	現在の日付(日)を設定します。

■ コース金額設定の設定範囲

設定項目	表示	設定 (設定範囲)	設定内容	説明
設定金額	Pr	100～9900	100…100円 9900…9900円	コースの金額を設定します。

■ 各工程の内容

工程	工程コード	説明
予洗	L1	洗濯物の予洗いを行う工程です。
本洗	L2	洗濯物の洗いを行う工程です。
すすぎ1	L3	洗濯物のすすぎ(1回目)を行う工程です。
すすぎ2	L4	洗濯物のすすぎ(2回目)を行う工程です。
すすぎ3	L5	洗濯物のすすぎ(3回目)を行う工程です。
予備脱水	PP	脱水前に洗濯物の予備脱水を行う工程です。
剥離	Ph	張り付いた洗濯物を剥離する工程です。
予備乾燥	PH	ドラムを温め、張り付いた洗濯物を 剥離する工程です。
脱水	SP	洗濯物の脱水を行う工程です。
乾燥	dr	洗濯物の乾燥を行う工程です。
冷却	Co	洗濯物の冷却を行う工程です。

■ 各機能設定の設定範囲

設定項目	機能コード	設定（設定範囲）	設定内容	設定内容
工程時間	ti	0:00～20:00（L1～L5、SP）	0:00…0分00秒 99:59…99分59秒	工程の運転時間を設定します。
		0:00～99:59（dr、Co）		
工程 パス	PS	-PASS	工程をパスする	工程をパスする/しないを設定します。
		PASS	工程をパスしない	
ドラム回転	F1	1	停止洗い	ドラムの回転方法を設定します。
		2	正逆回転	
		3	ソフト洗い	
		4	一方回転	
		5	普通洗い	
温水	F5	0	水のみ	温水を使用する/しないを設定します。
		1	水+温水	
温水温度	F6	1～90	1…1℃ 90…90℃	温水の温度を設定します。
乾燥温度 高温	F7	10～75	10…10℃ 75…75℃	乾燥温度設定パネルで「高温」を選択した場合の乾燥温度を設定します。
乾燥温度 中温	F8	10～75	10…10℃ 75…75℃	乾燥温度設定パネルで「中温」を選択した場合の乾燥温度を設定します。
乾燥温度 低温	F9	10～75	10…10℃ 75…75℃	乾燥温度設定パネルで「低温」を選択した場合の乾燥温度を設定します。
排水	FA	0	回転排水	排水方法を設定します。
		1	停止排水	
ポンプ1（ポンプ1）	C1	0～595	0…0秒 595…59.5秒	洗剤投入ポンプ1（洗剤ポンプ）の洗剤投入時間を設定します。
ポンプ2（ポンプ2）	C2	0～595	0…0秒 595…59.5秒	洗剤投入ポンプ2（柔軟剤ポンプ）の洗剤投入時間を設定します。
ポンプ3（ポンプ3）	C3	0～595	0…0秒 595…59.5秒	洗剤投入ポンプ3（予備ポンプ）の洗剤投入時間を設定します。
ポンプ4	C4	0～595	0…0秒 595…59.5秒	現在使用していない機能となります。
ポンプ5	C5	0～595	0…0秒 595…59.5秒	現在使用していない機能となります。
ポンプ6	C6	0～595	0…0秒 595…59.5秒	現在使用していない機能となります。
ポンプ7	C7	0～595	0…0秒 595…59.5秒	現在使用していない機能となります。
ポンプ8	C8	0～595	0…0秒 595…59.5秒	現在使用していない機能となります。
中間脱水	Cd	0～599	0…0秒 599…599秒	各工程の間の中間脱水を行う時間を設定します。

■ 各機能設定の設定範囲（機種ごとに設定内容が異なる機能）

設定項目	機能コード	設定（設定範囲）	設定内容			説明
			SF-155C	SF-275C	SF-355C	
水位（水量）	F2	1	80mm(約24ℓ)	100mm(約39ℓ)	110mm(約51ℓ)	ドラム内の水位（水量）を設定します。
		2	115mm(約35ℓ)	135mm(約55ℓ)	150mm(約73ℓ)	
		3	150mm(約48ℓ)	170mm(約71ℓ)	190mm(約96ℓ)	
		4	185mm(約62ℓ)	205mm(約89ℓ)	230mm(約121ℓ)	
		5	220mm(約75ℓ)	240mm(約109ℓ)	270mm(約148ℓ)	
洗濯回転（乾燥回転）	F3	1	44rpm(53rpm)	37rpm(45rpm)	39rpm(45rpm)	洗濯（L1～L5）および乾燥（dr、Co）の回転数を設定します。
		2	46rpm(55rpm)	39rpm(47rpm)	41rpm(47rpm)	
		3	48rpm(57rpm)	41rpm(49rpm)	43rpm(49rpm)	
		4	50rpm(59rpm)	43rpm(51rpm)	47rpm(51rpm)	
		5	52rpm(61rpm)	45rpm(53rpm)	49rpm(53rpm)	
脱水回転	F4	0	中間脱水なし（L1～L5のみ）			脱水工程（SP）および中間脱水（L1～L5）の回転数を設定します。
		1	550rpm	550rpm	500rpm	
		2	700rpm	650rpm	600rpm	
		3	750rpm	680rpm	650rpm	
		4	800rpm	730rpm	700rpm	
		5	850rpm	770rpm	730rpm	

6.6 プログラム設定方法

■ 1コースに予洗工程の追加

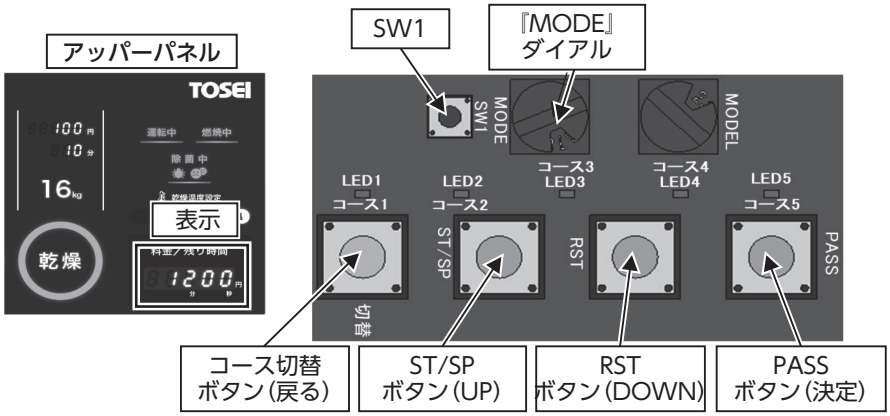
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
予洗工程 追加	L1	PS	工程の追加（パスの解除）

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)でコースを〖1COSE〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖L1〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → -L1:
④	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖PS〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます -L1 : ti → -L1 : PS
⑤	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で設定値を〖PASS〗(パスしない)にします	ST/SP RST	設定値を変更します -PASS → PASS
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 本洗時間の変更

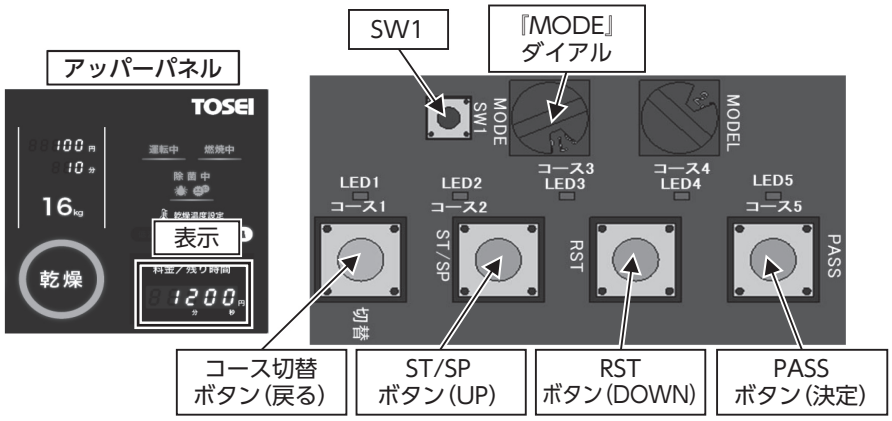
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
本洗時間	L2	ti	6分00秒 → 7分30秒

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)でコースを〖1COSE〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖L2〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → L2 :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖ti〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます L2 : ti
⑤	工程時間(分)の変更をします (分)表示が点滅します **『ST/SP』ボタン(UP)、** **『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	工程時間(分)を変更します 6 : 00 → 7 : 00
⑥	『PASS』ボタンを押します 工程時間(秒)の変更をします (秒)表示が点滅します **『ST/SP』ボタン(UP)、** **『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	PASS ST/SP RST	工程時間(秒)を変更します 7 : 00 → 7 : 30
⑦	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑧	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 水位の変更

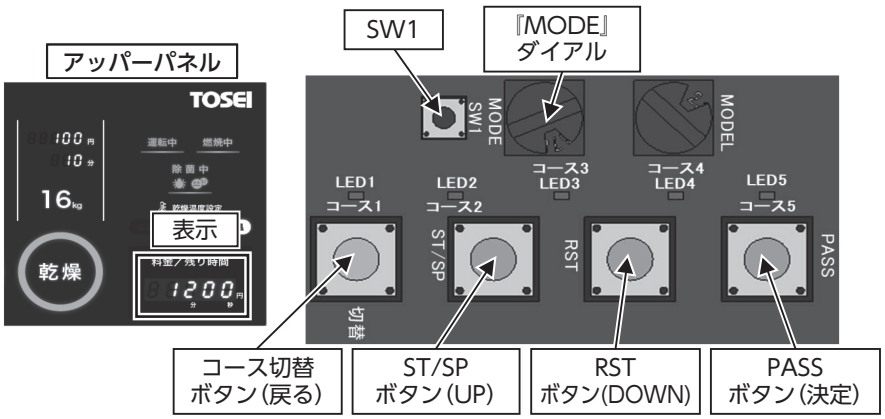
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
すすぎ１水位	L3	F2	3 → 2

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)でコースを〖1COSE〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖L3〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → L3 :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖F2〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます L3 : ti → L3 : F2
⑤	水位の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 3 → 2
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ ソフト剤(№2ポンプ)投入時間の変更

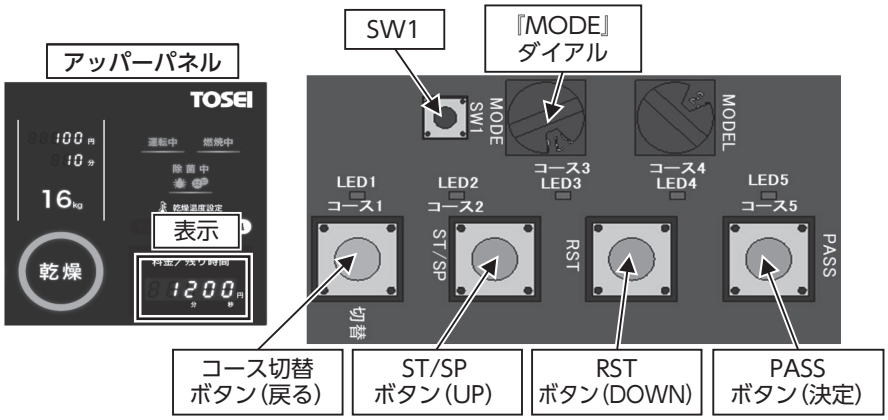
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
すすぎ2 ソフト剤(ポンプ②)投入時間	L4	C2	7.0秒 → 8.5秒

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で コースを〖1COSE〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖L4〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → L4 :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖C2〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます L4 : ti → L4 : C2
⑤	ソフト剤投入時間の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、** **『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 70 → 85
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 1コースにすすぎ3工程の追加

■ ポンプ3(№3ポンプ)投入の追加

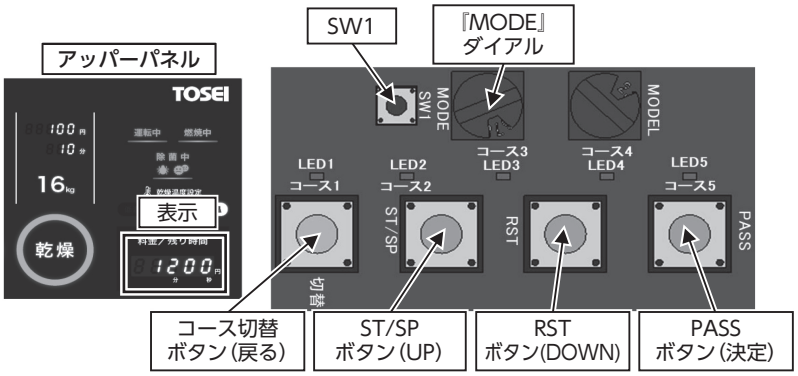
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
すすぎ3工程 追加	L5	PS	工程の追加（パスの解除）
すすぎ3 ポンプ3　(ポンプ③)追加	L5	C3	0.00秒 → 2.50秒

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1CO SE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で コースを〖1COSE〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1CO SE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖L5〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → -L5
④	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖PS〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます -L5 ti → -L5 : PS
⑤	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で 設定値を〖PASS〗(パスしない)にします	ST/SP RST	設定値を変更します -PA SS → PA SS
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SA VE
⑦	『コース切替』ボタンを**1回**押し、 機能の選択に戻ります	切替	機能の選択に戻ります SA VE → L5 : PS
⑧	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖C3〗にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます L5 : PS → L5 : C3
⑨	ソープ投入時間の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、 『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 0 → 25
⑩	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑪	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 脱水回転の変更

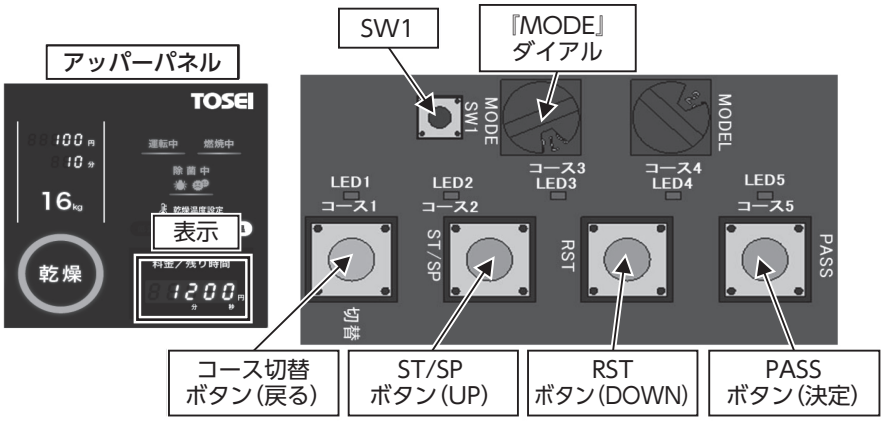
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
脱水 脱水回転	SP	F4	5 → 3

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で コースを『1COSE』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で工程を『SP』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → SP :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で機能を『F4』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます SP : ti → SP : F4
⑤	脱水回転の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、** **『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 5 → 3
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 高温乾燥温度の変更

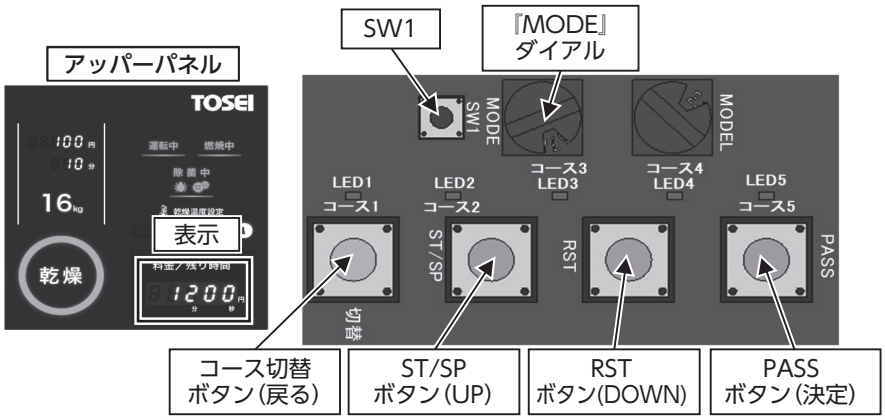
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
乾燥 高温乾燥温度	dr	F7	70 → 75

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)でコースを〖1COSE〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で工程を〖dr〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → dr :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または『RST』ボタン(DOWN)で機能を〖F7〗にし、『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます dr : ti → dr : F7
⑤	高温乾燥温度の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 70 → 75
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

■ 洗い回転の変更

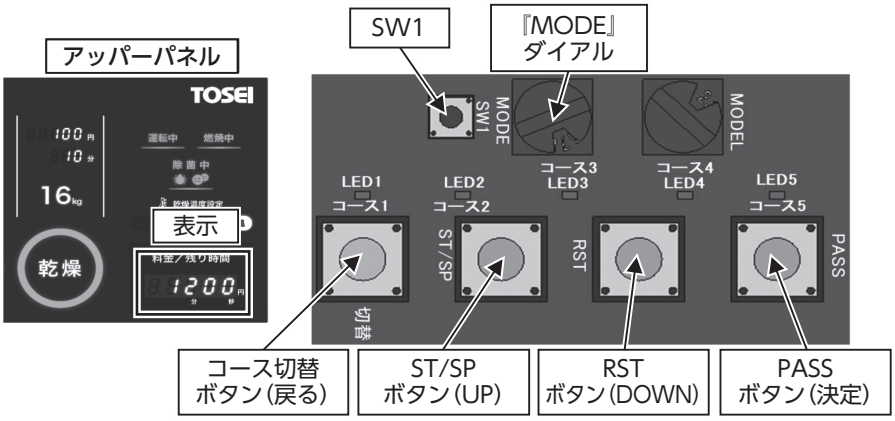
変更工程	工程表	機能コード表	変更値
冷却 洗い回転	Co	F3	3 → 5

工程表

表示	内容
L1	予洗
L2	本洗
L3～L5	すすぎ
SP	脱水
dr	乾燥
Co	冷却

機能コード表

表示	内容
ti	工程時間
F1	モード
F2	水位
F3	洗い回転
F4	脱水回転
F5	温水
F6～F9	温度
FA	排水
C1～C8	ポンプ
Cd	中脱時間
PS	工程 パス



	操作方法	ボタン操作	表示内容
①	『MODE』ダイアルを「7」から「5」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします	MODE → MODE SW1	コースを表示します 1COSE
②	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で コースを『1COSE』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更するコースを選びます 1COSE
③	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で工程を『Co』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する工程を選びます Pr → Co :
④	『ST/SP』ボタン(UP)または 『RST』ボタン(DOWN)で機能を『F3』にし、 『PASS』ボタンで決定します	ST/SP RST PASS	変更する機能を選びます Co : ti → Co : F3
⑤	洗い回転の変更をします **『ST/SP』ボタン(UP)、** **『RST』ボタン(DOWN)で数値変更します**	ST/SP RST	数値を変更します 3 → 5
⑥	『PASS』ボタンを押します 変更した設定値を保存します	PASS	設定を保存します SAVE
⑦	『MODE』ダイアルを「5」から「7」にして 『SW1』を**2秒間**長押しします 設定終了です	MODE → MODE SW1	設定終了です 0

7 標準プログラム

工場出荷時には、あらかじめ標準プログラムを設定しています。
各プログラムの設定内容を変更するときは、P59 [6.6] プログラム設定方法を参照してください。

7.1 標準プログラム（SF-155C）

機能コード →

工程コード ↓

1コース:洗濯乾燥コース（標準）　　全工程時間＝60分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1（洗剤）	C2（柔軟剤）	C3（予備）	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1200
本洗	L2	0	55	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	55	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

2コース:洗濯乾燥コース（少量）　　全工程時間＝50分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	22分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1（洗剤）	C2（柔軟剤）	C3（予備）	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1000
本洗	L2	0	55	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	55	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・■は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

機能コード →

工程コード ↓

3コース:洗濯コース　　全工程時間＝30分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	4分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分30秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	800
本洗	L2	0	70	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	70	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

4コース:乾燥コース　　全工程時間＝10分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
乾燥	dr	9分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	100
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・□は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

7.2 標準プログラム(SF-275C)

機能コード →

工程コード ↓

1コース:洗濯乾燥コース(標準)　　全工程時間＝60分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1500
本洗	L2	0	70	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	70	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

2コース:洗濯乾燥コース(少量)　　全工程時間＝50分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	22分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1300
本洗	L2	0	70	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	70	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・■は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

機能コード →

工程コード ↓

3コース:洗濯乾燥コース(羽毛ふとん)　　全工程時間＝55分30秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1500
本洗	L2	0	70	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	70	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

4コース:洗濯コース　　全工程時間＝30分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	4分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分30秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1100
本洗	L2	0	85	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	85	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

5コース:乾燥コース　　全工程時間＝8分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
乾燥	dr	7分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	100
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・■は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

7.3 標準プログラム(SF-355C)

機能コード →

工程コード ↓

1コース:洗濯乾燥コース(標準)　　全工程時間＝60分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1800
本洗	L2	0	95	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	95	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

2コース:洗濯乾燥コース(少量)　　全工程時間＝50分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	2分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	22分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1(洗剤)	C2(柔軟剤)	C3(予備)	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1600
本洗	L2	0	95	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	95	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・■は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

機能コード →

工程コード ↓

3コース:洗濯乾燥コース（羽毛ふとん）　全工程時間＝55分30秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	4	4	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	3分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分00秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1（洗剤）	C2（柔軟剤）	C3（予備）	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1800
本洗	L2	0	95	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	95	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

4コース:洗濯コース　全工程時間＝30分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
予洗	L1	2分30秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
本洗	L2	6分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ1	L3	4分00秒	5	3	3	1	0	50	--	--	--
すすぎ2	L4	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
すすぎ3	L5	3分00秒	5	2	2	1	0	50	--	--	--
脱水	SP	8分30秒	--	--	--	5	--	--	--	--	--
乾燥	dr	30分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1（洗剤）	C2（柔軟剤）	C3（予備）	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
予洗	L1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	1400
本洗	L2	0	95	0	0	0	0	0	0	0	120	
すすぎ1	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ2	L4	0	0	95	0	0	0	0	0	0	60	
すすぎ3	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	
脱水	SP	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

5コース:乾燥コース　全工程時間＝6分00秒

		時　間	ドラム回転	水位	洗回転	脱回転	温水	温水温度	乾燥温度高温	乾燥温度中温	乾燥温度低温
		ti	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
乾燥	dr	5分00秒	2	--	3	--	--	--	70	60	50
冷却	Co	1分00秒	2	--	3	--	--	--	--	--	--

		排水	ポンプ1	ポンプ2	ポンプ3	ポンプ4	ポンプ5	ポンプ6	ポンプ7	ポンプ8	中脱	金　額
		FA	C1（洗剤）	C2（柔軟剤）	C3（予備）	C4	C5	C6	C7	C8	Cd	Pr
乾燥	dr	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	100
冷却	Co	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	

補 足

・■は、パスが設定されている工程です。
・ソフトリンクル制御
　乾燥工程または冷却工程終了後にソフトリンクル回転をします。
　ただし乾燥工程がある場合のみ行います。
　ドアを開けるとソフトリンクルを終了します。

ソフトリンクル制御		
ソフトリンクル時間		無制限
ファン		出口温度50℃で停止
ドラム回転	ファン動作中	57秒停止－3秒回転
	ファン停止後	15分停止－3秒回転
右回転から行い交互に回転します		

8 トラブル表示について

8.1 トラブルモニター表示

●オーナー様が下記をチェックしてください。
●「オーナー対処」でも解除しない場合は「販売店またはメーカ」に連絡してください。

8.2 エラーの内容と解除方法

※運転中「トラブル」が発生した場合、機械が停止して発信音が鳴ります。

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカ
Er 1	水位エラー	・15分経っても設定水位に到達しない	・給水用（給湯）のバルブが作動していることを確認 ・給水用配管の水圧、サイズ、水漏れを確認 ・排水弁が閉じていることを確認	・給水用電磁弁（給湯用電磁弁）が正常に動作しているか確認 ・水位用圧力センサ異常（ホースのねじれ・外れ等） ・排水弁が正常に動作しているか確認
Er 2	水温エラー	・95℃以上の水温を5秒以上検知した	・温水ボイラ等の給湯の温度を確認	・給水用電磁弁（給湯用電磁弁）が正常に動作しているか確認 ・温度センサが正常に感知しているか確認
Er 4	排水エラー	・8分経過しても排水レベル以下に到達しない	・ドラム内に水、泡が残ってるかを確認 ・排水弁の動作を確認（ゴミ詰りなど） ・ソープ投入時間の見直し（泡ギレ）	・排水弁の動作確認（動作、ゴミ詰り） ・ソープ投入時間の見直し（泡ギレ） ・給水弁確認 ・排水溝点検 ・排水回路確認、水位計確認
Er 5	ドアオープン	・運転中にドアが開いた	・ドアをしっかり閉めて再度スタートボタンを押す	・ドアロックの確認 ・ドアスイッチの点検、交換 ・ドアパッキンのあたり調整
Er 6	アンバランスエラー	・アンバランスセンサによる脱水のリトライでX回数を行っても検知した	・洗濯物の片寄りを修正（修正後再スタートする） ・洗濯してはいけない物が入っていないか、ドラムの中を確認	・アンバランススイッチの確認
Er 7	ファンINVエラー	・ファンモータに過負荷がかり、インバータでINVエラーを検知した	・リアEカバーを開け、ファンインバータ表示を確認 ・本機の元電源スイッチ（NFB）を入れなおす	・ファンモータのゴミ詰り確認 ・ファンモータ点検 ・インバータの点検、交換 ・インバータの故障
Er 8	ドラムINVエラー	・ドラムモータに過負荷がかり、インバータでINVエラーを検知した	・リアEカバーを開け、ドラム用インバータの表示を確認 ・本機の元電源スイッチを入れなおす	・ドラム点検、インバータ配線 ・インバータ点検(モータ含む) ・インバータの故障
Er 9	風量エラー（※1）	・ファンINVの周波数を70Hzにしても風量センサが2秒以上OFF状態を検知した（※2）	・リントフィルタの掃除 ・ファンが回転しているか確認 ・排気筒が詰っていないか確認	・ファンインバータの調整 ・ファンモータの故障 ・排気筒点検、掃除
Er 10	出口温度エラー	・出口温度が20秒以上設定温度+15℃を検知した ・出口温度が85℃以上検知した ・出口温度センサが故障した	・入口温度の設定温度の確認（高すぎないか） ・出口温度の設定温度の確認（低すぎないか）	・ガスバーナ電磁弁、配線 ・設定温度の確認 ・センサの確認

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカ
Er 11	不着火エラー	・乾燥工程中に着火動作を4回リトライしても着火せず不着火信号を検知した	・ガス残量の確認 ・ガス元栓の開閉確認	・バーナーケースの点検（電磁弁等） ・風量確認(インバータ) ・マイコンの信号確認
Er 13	水位センサオープン	・水位センサが断線している ・水位センサのコネクタおよび線が外れている	・水位センサのコネクタおよび線を確認	・水位センサの点検、交換
Er 14	水位センサショート	・水位センサが接触不良または故障している	・水位センサがショートしている	・水位センサの点検、交換
Er 15	水温計オープン	・水温計センサが断線している ・水温計センサのコネクタおよび線が外れている	・水温計のコネクタおよび線を確認	・水温計の点検、交換
Er 16	水温計ショート	・水温計センサが接触不良または故障している	・水温計がショートしている	・水温計の点検、交換
Er 17	入口温度計オープン	・入口温度計センサが断線している ・入口温度計センサのコネクタおよび線が外れている	・入口温度計のコネクタおよび線を確認	・入口温度計の点検、交換
Er 18	入口温度計ショート	・入口温度計センサが接触不良または故障している	・入口温度計がショートしている	・入口温度計の点検、交換
Er 19	出口温度計オープン	・出口温度計センサが断線している ・出口温度計センサのコネクタおよび線が外れている	・出口温度計のコネクタおよび線を確認	・出口温度計の点検、交換
Er 20	出口温度計ショート	・出口温度計センサが接触不良または故障している	・出口温度計がショートしている	・出口温度計の点検、交換
Er 21	ファン動作中水位エラー	・ファン運転中に水位3以上を検知した	・給水弁/リレーの確認 ・給湯弁/リレーの確認	・給水弁の点検、交換 ・給湯弁の点検、交換
Er 22	ドアロック施錠エラー	・運転中にドアロックOFFを3秒以上検知した	・ドアハンドルの開閉の確認	・ドアハンドルの動作確認 ・ドアロックの確認、交換修理
Er 26	着火リレーエラー	・I/O基板上にある着火リレーに異常が発生している	・元電源を入れ直す(OFF/ON)	・I/O基板の交換
Er 27	機械間通信エラー	・CPU基板とシステムコントローラー間の通信異常が発生している	・元電源を入れ直す(OFF/ON)	・機械間の接続を確認
Er 28	バーナー電源エラー	・CPU基板でバーナーONしているにも関わらず、I/O基板側でバーナー電源が3秒以上OFFになっている。	・元電源を入れ直す(OFF/ON)	・I/O基板の交換
Er 34	アンバランスセンサ異常	・待機中にアンバランスセンサが60秒間働いた	・センサ感知棒の位置確認 ・センサの配線(コネクタ)確認	・アンバランスセンサの点検、交換
door	ドアオープン	・待機中にドアが開いた	・ドア開閉の確認	・ドアロックの確認、交換修理
FC	風量センサエラー	・動作完全停止中に風量センサを15秒以上検知した ・風量センサの調整不良	・風量センサの状態を確認 ・風量センサの清掃	・リミットスイッチの点検、交換

表示	エラー名	原因	オーナー対処	販売店 or メーカ
CE	コインセレクタエラー	・コインセレクタまたはプリペイドカードリーダの異常	・元電源を入れ直す(OFF/ON)	・コインセレクタの掃除、点検 ・コインセレクタの交換修理
F-oP	リントボックスオープン	・待機中または運転中にリントボックスが開いた	・扉の閉忘れ確認	・センサ/配線(コネクタ)の確認、交換
CLr	EEPROM故障	・設定データの破損	・RSTボタンを押す（※3）	–
bAt	CPU基板電池異常	・CPU基板の電池切れ、または電池の電圧不足（設定保存用）	・RSTボタンを押す	・CPU基板の電池（設定保存用)を交換し、RSTスイッチを押す（※4）
Hclr	設定範囲外発生	・設定データの破損	・RSTボタンを押す（※3）	–
Er 53	機種選択ミスエラー	・機種選択が設定されていない番号を選択した	・機種選択が設定されてない番号を選択してしまった（番号確認）	–
Er 80	停電エラー	・運転中に停電が発生した ・運転中に動力電源電圧が170V以下に降下した	・自動復帰‥停電復帰後、停電が発生した所から再スタート ・手動復帰‥停電復帰後、スタートボタンを押して再スタート、リセットボタンを押すと待機状態へ戻る	・ブレーカーチェック(漏電等) ・元電源測定 AC200V ・電源ケーブルが外れていないか確認
Er 81	高水位エラー	・水位が異常に高くなった	・給水弁/リレーの確認 ・給湯弁/リレーの確認 ・ドラム内に水、泡が残ってるかを確認 ・排水弁の動作を確認(ゴミ詰りなど) ・ソープ投入時間の見直し(泡ギレ)	・給水用電磁弁(給湯用電磁弁)が正常に動作しているか確認 ・水位用圧力センサ異常(ホースのねじれ・外れ等) ・排水弁が正常に動作しているか確認
Er 82	ドアロック開錠エラー	・待機中にドアロックONを3秒以上検知した	・元電源を入れ直す(OFF/ON)	・ドアロックの確認、交換修理
Er 83	給水弁エラー	・待機中に、水位が排水位よりも高い状態を8秒以上検知した	・給水弁/リレーの確認 ・給湯弁/リレーの確認	・給水用電磁弁(給湯用電磁弁)が正常に動作しているか確認 ・水位用圧力センサ異常(ホースのねじれ・外れ等) ・排水弁が正常に動作しているか確認
Er ※5（その他エラー）	CPUエラー	・CPUの損傷、ノイズによるCPU処理の誤作動	–	・CPU基板の信号確認 ・CPU基板の交換

※１風量エラーに関しては、風量不足を検知してもコース終了時のエラーとなります。
※２風量エラーの発生条件については、ファン多段速制御が設定されていない場合は適用されません。
※３工場出荷時の設定に戻ります。再度プログラム、日時の設定を行ってください。
※４日時のずれが発生してしまうため、再度日時の設定を行ってください。
※５上記表に記載のないエラーコードを表示した場合は、CPUエラーとなります。

注意

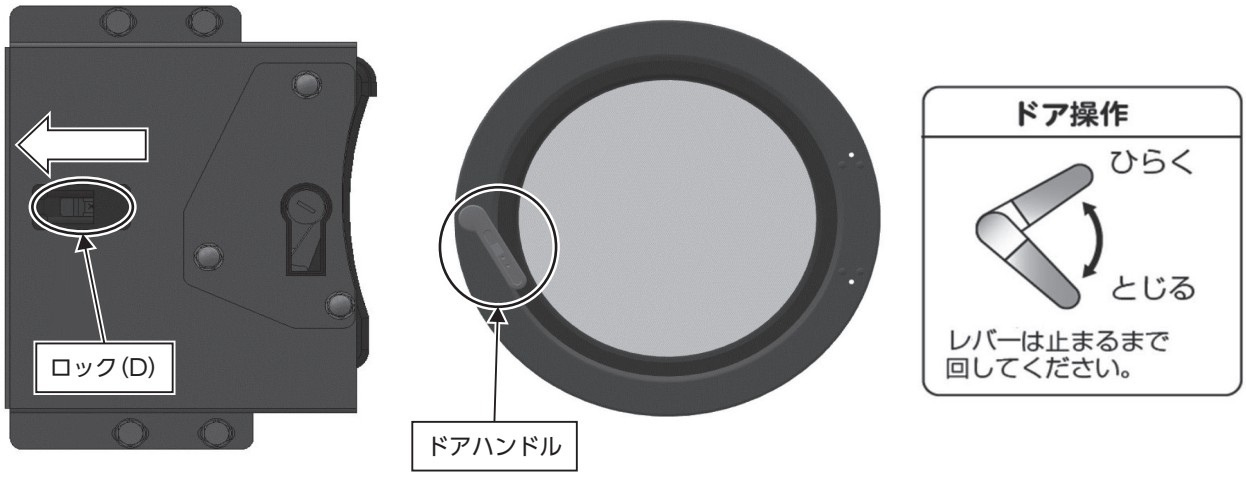
処置を行っても「エラー」が解除にならない場合はお買上げの販売店までお問い合わせください。

原因究明

8.3 停電時の処置

・運転中に停電になった場合、運転を停止し排水弁は動作しません。また、ドアはロックされたまま開きません。
・洗濯物を取り出すときは、ドラムが回転していない状態で、水位がドアの最下部より低いとき(ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ない状態)のみ、ドアを開けてください。

①ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ないことを確認してください。
②ロック(D)を外側へ押してドアロックを解除し、ハンドルを回してドアを開けてください。
※停電後、本体に通電されると、運転を続きから行います。
※運転を途中で中止するときは、ST/SPボタンで運転を一時停止し、RSTボタンを押してください。



警告	**◆ドラムが完全に止まるまでは、ドアロックを解除しないでください。** ドラムの回転中にドラムの中に手を入れると、衣類が手などに巻きついて、ケガをするおそれがあります。	禁止

警告	**◆停止中でもドラム内に水(湯)がたまっているときは、ドアを開けないでください。** ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。 また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。	禁止

9 点検・整備

⚠注意	**◆日常点検は毎日の始業前に点検してください。** 日常点検また、ガス漏れ、異常振動、音などの異常を確認してください。 放置すると火災、爆発、ガス中毒の危険性があります。	点検実施
	◆点検や整備は元電源を切ってから行ってください。 感電、やけど、けがのおそれがあります。	電源を切る

いつも安心してご使用いただくため、つぎの点検を行ってください。

9.1 日常点検

⚠警告	**◆乾燥工程運転中はリントボックスの開閉はお止めください。** エラーの発生または機械が故障するおそれがあります。 **◆リントフィルタの掃除は温度が十分下がってから行ってください。** 乾燥運転後はリントフィルタの温度が高くなっています。 温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。	禁止

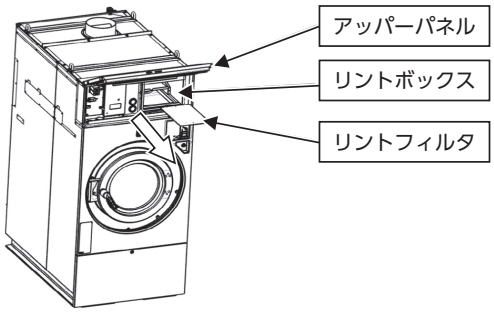
(1) 機械本体の点検

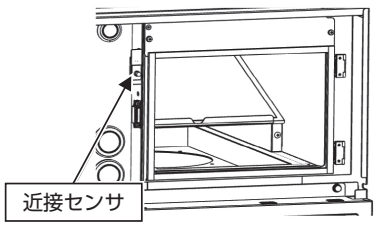
・機械本体の各パネル、操作パネル、ドアなどを乾いた柔らかい布で清掃してください。
　汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を布に浸してから清掃してください。

※ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用すると機械が損傷するおそれがあります。

(2) リントフィルタの点検

・リントボックスの扉を開き、リントフィルタを取り外してください。
　リントボックスの扉部に近接センサがあります。運転中に扉を開けるとドラムが停止し、閉めると運転開始します。
・リントフィルタを手前に引き、フィルタに付着している「ゴミ、ほこり」等を清掃してください。
・リントフィルタのセットは、枠内へ確実に装着してください。
・リントボックスの扉を確実に閉めてください。（操作パネル表示部F-oPが消えたことを必ず確認してください）





(3) ドラム内の点検

・ドラム内に釘や硬貨など異物がないか

(4) ドアパッキンの点検

・ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか
・ドアパッキンの外れがないか

(5) 水漏れの点検

・ドア、または各ホース類から水漏れがないか

(6) 異常音、異常振動の点検

・異常音、異常振動がないか確認

(7) ガス漏れの点検

・ガス配管の接続部の緩みの確認

(8) ガスバーナの燃焼状態点検

・バーナの炎が浮き上がったり、長く赤色がかった炎になっていないか確認してください。

完全燃焼	空気不足	空気過多
外炎と内炎の区別がはっきりして、炎の色は淡青色と淡黄色です。	炎が長く赤色がかり、内炎と外炎の区別が見分けにくい。	炎が安定して燃えず、消火の際音をたてる。

・燃焼の異常と処置方法

ガスバーナの炎が正常に燃焼していない場合、下表に従って処置してください。

現象	原因	処置
イエローチップ（黄炎） 内炎の先端赤黄色になり、すすが発生する	・一次空気の不足による不完全燃焼 ・炎孔内部に異物付着	・専門の業者に依頼して一次空気量を調整する ・異物除去
リフティング 炎が炎口から離れて飛ぶように燃える	・二次空気の供給不足 ・二次空気の供給過多 ・燃焼排気の排出が不完全 ・ガス供給過多 ・炎孔先端の温度が低い	・フィルタ、排気筒など詰まりはないか確認する ・燃焼排気通路の点検（フィルタ排気筒等） ・専門の業者に依頼して供給ガス圧力を調整する ・燃焼中、炎孔が暖まると直る場合あり（冬場に多い現象）
フラッシュバック（逆火） 異常燃焼音と共に炎がノズルの部分で燃える	・ガスが十分に出ていない	・ガスコックは全開かどうか点検する ・専門の業者に依頼してガスコックなどに異物が詰っていないか点検する ・専門の業者に依頼して供給ガス圧が低すぎないか点検する ・プロパンの場合、専門業者に依頼して残ガス量を点検する
火移り	・ガスが十分に出ていない ・一次空気過多	・ノズルのすすなどが、詰まっていないか点検する ・専門の業者に依頼して一次空気量を調整する
消火	・ガスが十分に出ていない ・ガスが供給されていない	・専門の業者に依頼して電磁弁を点検する ・専門の業者に依頼してボンベ、メータを点検する
燃焼中の異常音 ・ノズルからの噴出音 ・点火音、消火音、吸気と混合による音	・ガスの設定圧力が高い ・ガスの供給過多	・専門の業者に依頼してガスボンベに付属のガバナが正常か点検する。（LPガスの場合） ・専門の業者に依頼して供給圧力を調整する LPG:2.8kPa（286mmH$_2$O） 12A/13A:2.0kPa（204mmH$_2$O）

注意

◆処置を行っても炎が正常にならない場合は、

お買上げの販売店までお問い合わせください。

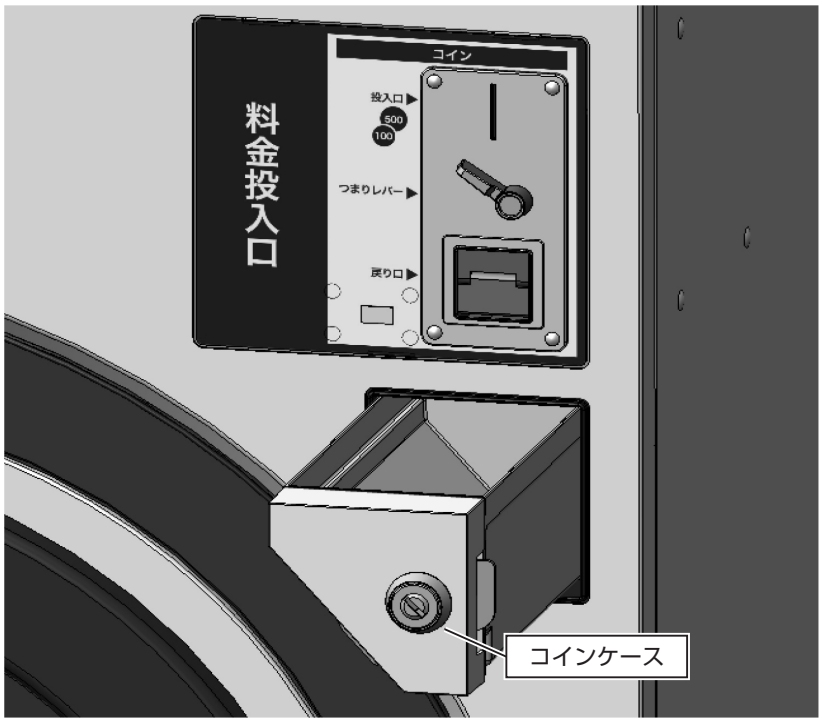
火災、爆発、ガス中毒の危険性があります。

販売店に連絡

(9) コイン回収

・前面のコインケースは専用の鍵で開きます。

・コインケースを手前に引き出し、コインケース内のコインを回収してください。



9.2 定期点検

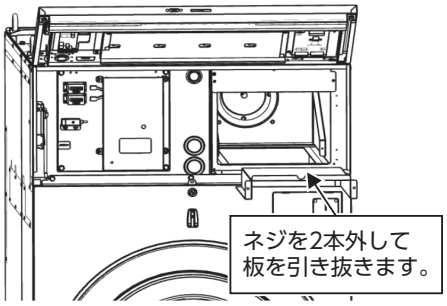
■ 1週間点検

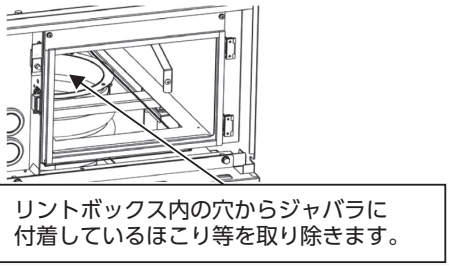
(1) 洗剤、柔軟剤の点検
・洗剤および柔軟剤が空になっていないか
(2) 操作ボタン、操作パネルの点検
・操作ボタン割れ等の破損がないか
・操作ボタン、操作パネルが動作するか
(3) フリッカーランプの点検
・集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか
(4) ノンリセットカウンタの点検（オプション）
・コインセレクタに100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか
(5) コインセレクタの動作/点検
・100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか
(6) カードリーダの動作/点検（オプション）
・カードを投入しカード残高が表示されるか
・クリーナー（別売）にてカードリーダを清掃

■ 1年点検

⚠警告	**◆定期点検はお買い上げの販売店へ依頼してください。** 機械を安全にご使用いただくため、また故障や火災予防のため定期点検はお買い上げの販売店へ依頼してください。	販売店に連絡

(7) 設置状態の点検
・本体にガタつきがないか
・本体内部から異常音がないか
・アンカーボルトの緩みがないか
(8) パネルストッパの点検
・可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか
(9) リントボックスとシェル間にあるジャバラの点検
・ジャバラに付着しているほこり等の清掃





(10) アンバランスSWの点検
・アンバランスSWの感知棒が正常に動作するか、破損してないか
・アンバランスSWブラケットの中央位置に感知棒があるか
※ アンバランスSW調整の詳細は、P12(5) アンバランス検出スイッチの調整を参照してください。

(11) コインセレクタの清掃
・コインセレクタを分解し、清掃
(12) サーミスタなどのセンサ部の点検
・センサにほこりがついていないか
(13) アブソーバの点検
・オイル漏れがないか
(14) 給水の点検
・給水(給湯)弁が正常に動作するか
・ウォーターハンマー現象が発生しないこと
(15) チャッキダンパの点検
・ほこりの付着がないか
・正常に動作しているか
(16) 排気筒の点検
・接続部の緩み、外れおよび排気筒トップの破損がないか
・排気筒内部、周辺および排気筒トップのほこりがないか
(17) ファン/ファンケースの点検
・ファンモータから異音がないか
・ファン/ファンケース内清掃
(18) 風量センサの点検
・正常に動作するか
・ほこりの付着がないか
(19) ガスバーナの点検
・ガス漏れがないか
・ガスバーナの燃焼状態確認
・バーナおよび加熱室周辺のほこりの清掃
(20) オイルシール部の給油
・オートグリスの交換
※オートグリスの取り付け詳細は、P28「2.9 オートグリス取付方法」を参照してください。

(21) ベアリング部の給油

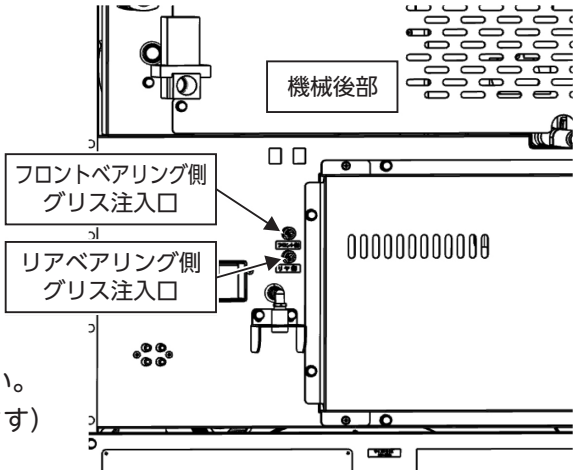
・1 年に 1 度、メインシャフトのベアリングにグリスを注入してください。
指定グリスは下記の通りです。

昭和シェル石油	出光石油	JX 日鉱 日石エネルギー	コスモ石油 ルブリカンツ	エクソン モービル
アルバニア EP-2	ダフニー エボネックス EP №2	JOMO リゾニック EP-2	ダイナマックス EP №2	モービラックス EP-2

※工場出荷の際は昭和シェル石油「アルバニア EP-2」が入っています。

①注入量について

機種名	フロントベアリング側 注入量(g)	リアベアリング側 注入量(g)
SF-155C	8	8
SF-275C	15	15
SF-355C	30	30



② 注入方法

本機のグリス注入口は、機械後部に 2 ヵ所あります。

・ドラムを回転（機械を運転）させ、グリス注入口へ
ポンプのノズルを差し込み、グリスを注入してください。
（フロントベアリング / リアベアリングの 2 ヵ所あります）

※指定グリスを注入してください。

※グリス注入回数は、使用するグリスポンプによって異なります。

※グリスポンプは付属されません。

・グリスポンプ小 (KH-120) 注入回数

※1 ストローク : 0.55g 注入

機種名	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
SF-155C	14 ～ 18	14 ～ 18
SF-275C	28 ～ 32	28 ～ 32
SF-355C	58 ～ 62	58 ～ 62

・グリスポンプ大 (CH-400) 注入回数

※1 ストローク : 0.9g 注入

機種名	フロントベアリング側 注入回数	リアベアリング側 注入回数
SF-155C	8 ～ 11	8 ～ 11
SF-275C	15 ～ 18	15 ～ 18
SF-355C	31 ～ 35	31 ～ 35

(22) 駆動部の点検

・V ベルトの摩耗、損傷がないか

(23) 洗剤投入ポンプの点検

・洗剤投入ポンプから液漏れはないか
・各ホースに詰りはないか
・洗剤投入ポンプが動作するか

(24) 排水口の点検

・排水弁動作確認
・排水配管のつまりがないか
・ドラム下部のエアトラップ部につまりがないか

(25) 給気口の点検

・給気口にほこり等でつまりがないか

(26) 機械の清掃

・機械の外観、内部フレーム、シェル等機械全体を清掃

(27) 各部コネクタ／ネジ／ホースの点検

・各部のコネクタに外れ、破損がないか
・各部のネジに緩み、外れがないか
・各部のホースに外れがないか、ホースバンドに緩み、外れがないか

保守・点検項目（日常点検）

No.	点検項目	点検内容	期間
1	機械本体	・機械本体の汚れの清掃	1日/1回
2	リントフィルタ	・フィルタに付着しているほこり等を清掃	1日/数回
3	ドラム内	・ドラム内に釘や硬貨など異物がないこと	1日/1回
4	ドアパッキン	・ドア内側のパッキンにほこりが付着していないか ・ドアパッキンの外れがないか	1日/1回
5	水漏れ	・ドア、または各ホース類から水漏れがないか	1日/1回
6	異常音、異常振動	・異常音、異常振動がないか	1日/1回
7	ガス漏れ	・ガス配管の接続部の緩みの確認	1日/1回
8	ガスバーナの燃焼状態	・完全燃焼しているか、炎の状態を確認	1日/1回
9	コイン回収	・コインケースを開け、コインの回収を実施	1日/1回

保守・点検項目（定期点検）

No.	点検項目	点検内容	期間
1	洗剤、柔軟剤	・洗剤および柔軟剤の有無を確認	1週間/1回
2	操作ボタン	・ボタン割れ等の破損がないか	1週間/1回
3	フリッカーランプ	・集中精算機で機械を選択し、フリッカーランプが動作するか	1週間/1回
4	ノンリセットカウンタ(オプション)	・コインセレクタに100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか	1週間/1回
5	コインセレクタ動作	・コインセレクタに100円または500円硬貨を入れ、カウントされるか	1週間/1回
6	カードリーダ(オプション)	・カードを投入しカード残高が表示されるか ・クリーナー(別売)にて清掃	1週間/1回
7	設置状態	・本体にガタつきがないか ・本体内部から異常音がないか ・アンカーボルトの緩みがないか	1年/1回
8	パネルストッパ	・可動部の割れ、ひび、ネジの緩みがないか	1年/1回
9	リントボックスとシェル間にある ジャバラ	・ジャバラに付着しているほこり等の清掃	1年/1回
10	アンバランスSW	・アンバランスSWの感知棒が正常に動作するか、破損してないか ・アンバランスSWブラケットの中央位置に感知棒があるか	1年/1回
11	コインセレクタの清掃	・コインセレクタを分解し、清掃	1年/1回
12	サーミスタなどのセンサ部	・センサにほこりがついていないか	1年/1回
13	アブソーバ	・オイル漏れがないか	1年/1回
14	給水	・給水（給湯）弁が正常に動作するか ・ウォーターハンマー現象が発生しないこと	1年/1回
15	チャッキダンパ	・ほこりの付着がないか ・正常に作動しているか	1年/1回
16	排気筒	・接続部の緩み、外れおよび排気筒トップの破損がないか ・排気筒内部、周辺および排気筒トップのほこりがないか	1年/1回
17	ファン/ファンケース	・ファンモータから異音がないか ・ファン/ファンケース内清掃	1年/1回
18	風量センサ	・正常に動作するか ・ほこりの付着がないか	1年/1回
19	ガスバーナ	・ガス漏れがないか ・ガスバーナの燃焼状態確認 ・バーナおよび加熱室周辺のほこりの清掃	1年/1回
20	オイルシール部の給油	・オートグリスの交換	1年/1回
21	ベアリング部の給油	・メインシャフトのベアリングにグリスを注入する	1年/1回
22	駆動部	・ベルトの摩耗、損傷がないか ・モータ周辺にほこりがないか	1年/1回
23	洗剤投入ポンプ	・洗剤投入ポンプから液漏れはないか ・各ホースに詰りはないか ・洗剤投入ポンプが動作するか	1年/1回
24	排水口	・排水弁動作確認 ・排水配管のつまりがないか ・ドラム下部のエアトラップ部につまりがないか	1年/1回
25	給気口	・給気口にほこり等でつまりがないか	1年/1回
26	機械の清掃	・機械の外観、内部フレーム、シェル等機械全体を清掃	1年/1回
27	各部コネクタ/ネジ/ホース	・各部のコネクタに外れ、破損がないか ・各部のネジに緩み、外れがないか ・各部のホースに外れがないか、ホースバンドの緩み、外れがないか	1年/1回

10 保証とアフターサービス

●ご不明な点や修理に関するご相談
・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い、お手入れに関するご不明な点は
　お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証書（別添）
・保証書は別途添付しております。
・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、
　販売店から受け取って頂き、内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から１年です。
　その他、詳しくは保証書をご覧ください。

●補修用性能部品の保有期間
・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「13年」です。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは
・異常があるときはお使いになるのをやめ、電源を切りましてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中の修理について
・保証書の規定に従って、販売店が修理させて頂きます。
　なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間経過後の修理について
・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
　修理によって製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させて頂きます。

《免責事項について》
・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件
　下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は
　一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。

《労働安全衛生法・火災予防条例について》
・本機は労働安全衛生法の「遠心機械」および「乾燥設備」に該当します。
　「1年に1回の自主定期検査」が必要です。
　また、その記録を3年間保管するよう義務付けられております。
　（労働安全衛生法　第45条1項、労働安全衛生規則　第141条3項、第299条）
・本機は『火災予防条例準則第44条、第6号』に該当します。
　所管の消防署に届出をしてください。

《お願い》
・機械を安全に操作し良好な状態に保つため、適切に使用し、適時清掃、点検を行ってください。
　付きましては、サービスマンの定期保守点検サービス（有償）をご利用くださるようお勧めします。

11 アフターサービスについて

●ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
なお、その際に洗濯乾燥機の型式名、製造№およびお買い上げ時期をお知らせください。

販売店様名：

TEL:(　　)　　－　　購入年月日：　　年　　月　　日

8T112340000

本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、
株式会社TOSEI(以下当社といいます)に帰属しています。
著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、
本取扱説明書の掲載内容(文章、画像、映像、プログラムなど)の一部および すべてについて、
事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、
著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。
このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、
第三者の利用に供することを禁止します。

株式会社 TOSEI

静岡事業所	〒410-2325	静岡県伊豆の国市中島244	0120-557-338
東 京 支 社	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-24-2	(03)6422-7290(代)
中 部 支 店	〒465-0032	愛知県名古屋市名東区藤が丘141	(052)772-3988(代)
関 西 支 店	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町30-28	(06)6338-9601(代)
九 州 支 店	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-3	(092)482-6613(代)

東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所

ホームページのアドレス　https://www.tosei-corporation.co.jp/

Rev.211201B